

CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection
ebook

X63n1252

禪林疏語考證

明元賢集

目次

- [編輯說明](#)
- [章節目次](#)
 - [No. _1252-A 禪林疏語小引](#)
 - [禪林疏語考證目次](#)
 - [彝典門](#)
 - [聖節祝釐](#)
 - [佛生日\(四月八日\)](#)
 - [佛成道日\(臘月八日\)](#)
 - [佛涅槃日\(二月十五\)](#)
 - [涅槃日念誦白文](#)
 - [阿彌陀佛誕日\(十一月十七\)](#)
 - [觀音大士誕日\(二月十九\)](#)
 - [地藏誕日\(七月三十\)](#)
 - [元日禮千佛](#)
 - [合坊上元](#)
 - [中元](#)
 - [下元](#)
 - [辭歲](#)
 - [結制](#)
 - [解制](#)
 - [結制禱韋天](#)
 - [解制白韋天](#)
 - [入關](#)
 - [出關](#)
 - [新入院住](#)
 - [常住朔望諸節設齋施食通用](#)
 - [修因門](#)
 - [平安修懺](#)
 - [僧用](#)
 - [俗用](#)
 - [平安啟經\(僧俗男女通用\)](#)
 - [誦經中期](#)
 - [誦經完滿](#)
 - [慶生](#)

- [俗用](#)
- [僧用](#)
- [完報母齋](#)
- [修造謝土](#)
 - [俗用](#)
 - [又](#)
- [寺院修造後謝土](#)
- [造像開光](#)
- [施茶完滿](#)
- [齋僧](#)
- [念佛會](#)
- [放生](#)
- [新剃度施食](#)
- [水懺表](#)
 - [上卷](#)
 - [中卷](#)
 - [下卷](#)
- [梁皇懺表](#)
 - [一卷](#)
 - [二卷](#)
 - [三卷](#)
 - [四卷](#)
 - [五卷](#)
 - [六卷](#)
 - [七卷](#)
 - [八卷](#)
 - [九卷](#)
 - [十卷](#)
- [弭災門](#)
 - [春祈雨](#)
 - [夏祈雨](#)
 - [秋祈雨](#)
 - [得雨小再祈](#)
 - [謝雨](#)
 - [謝雨](#)
 - [又](#)
 - [祈晴](#)
 - [秋祈晴](#)

- 謝晴
- 迎神保苗
- 禳蝗蟲
- 禳火
 - 禳火
 - 又
- 火後還愿
- 客中遇火後還愿
- 禳瘟
- 一家禳瘟
- 禳牛瘟
- 保瘟病
- 祈恩門
 - 祈嗣
 - 得嗣還願
 - 保胎
 - 產後得男還愿
 - 產後生女還愿
 - 嬰兒祈安(寄姓立愿等通用)
 - 祈入學立愿
 - 入學還愿
 - 秋科立愿
 - 秋捷還愿
 - 春科立愿
 - 登第還愿
 - 官員赴任祈安
 - 官員赴任祈安後還愿
 - 客商出外祈安
 - 商歸還愿
 - 商遇風浪立愿後還
 - 商遇風浪後還愿
 - 又(販遇風浪)
 - 妻為夫作商不歸立愿
 - 因訟祈安
 - 橫遭官事祈安
 - 官事受杆祈脫
 - 官事息還愿
 - 保重病

- [保長病](#)
- [保身弱多病](#)
- [病後還愿](#)
 - [病後還愿](#)
 - [又](#)
- [保嬰兒病](#)
- [嬰病愈還愿](#)
- [保痲痘](#)
- [痘後還愿](#)
- [薦悼門](#)
 - [薦父](#)
 - [首七](#)
 - [二七](#)
 - [三七](#)
 - [四七](#)
 - [五七](#)
 - [六七](#)
 - [七七](#)
 - [六旬](#)
 - [小祥](#)
 - [大祥](#)
 - [忌日](#)
 - [安葬](#)
 - [薦父通用](#)
 - [薦母](#)
 - [首七](#)
 - [二七](#)
 - [三七](#)
 - [四七](#)
 - [五七](#)
 - [六七](#)
 - [七七](#)
 - [六旬](#)
 - [小祥](#)
 - [大祥](#)
 - [忌日](#)
 - [安葬](#)
 - [薦母通用](#)

- 雙薦父母
- 薦祖父
 - 薦祖父
 - 又
- 薦祖母
 - 薦祖母
 - 又
- 薦伯叔父
 - 薦伯叔父
 - 又
- 薦伯叔母
 - 薦伯叔母
 - 又
- 薦兄弟
 - 薦兄弟
 - 又
- 薦姊妹
 - 薦姊妹
 - 又
- 薦夫
 - 薦夫
 - 又
- 薦妻
 - 薦妻
 - 又
- 薦產厄
- 薦子
 - 薦子
 - 又
- 薦女
 - 薦女
 - 又
- 薦岳父
 - 薦岳父
 - 又
- 薦岳母
 - 薦岳母
 - 又

- [薦婿](#)
 - [薦女婿](#)
 - [又](#)
- [薦大沙門](#)
- [入塔](#)
- [生忌](#)
- [禪僧薦師](#)
 - [薦師\(禪僧用\)](#)
 - [又\(禪僧用\)](#)
- [薦徒\(禪僧用\)](#)
- [薦赴應僧行](#)
 - [薦寺院赴應僧師徒通用](#)
 - [又](#)
- [薦出家居士有齋戒者](#)
- [和尚誕日](#)
- [附錄](#)
 - [大藏恭聞](#)
 - [法華經恭聞](#)
 - [華嚴經恭聞](#)
 - [金剛經恭聞](#)
 - [藥師經恭聞](#)
 - [盂蘭盆經恭聞](#)
 - [心經恭聞](#)
 - [五大部經恭聞](#)
 - [預修通用恭聞](#)
 - [道場大榜結尾](#)
 - [平安道場大榜結尾](#)
 - [又](#)
 - [薦亡道場大榜結尾](#)
 - [活用榜](#)
 - [平安活用榜](#)
 - [薦亡活用榜](#)
 - [禮懺誠眾榜文](#)
 - [大施食榜](#)
 - [大施食榜](#)
 - [又](#)
 - [小施食榜](#)
 - [小施食榜](#)

- 又
- 禪教平安修懺佛事
- 禪教薦亡修懺佛事
- 道場聯
 - 門聯
 - 挽靈
 - 眾會
 - 慶壽
 - 禮千佛
 - 上元
 - 中元
 - 完報母齋
 - 華嚴堂諷經
 - 薦亡
 - 浴佛
 - 佛成道日
 - 祈嗣
 - 保官事
 - 客商出外
 - 官員赴任保安
 - 謝雨
 - 禳火
 - 結制
 - 諷經通用
 - 丈室
 - 客堂
 - 十方堂
 - 佛殿
 - 淨業堂
 - 觀音閣
 - 三門
 - 祖師堂
 - 伽藍堂
 - 韋陀祠
 - 雲堂
- 續錄
 - 崇禎皇帝遐升禮懺表
 - 又上佛疏

- [聞賊勢猖獗諷經護國疏](#)
- [中元普度疏為顧兵憲作](#)
- [卷目次](#)
 - [1.](#)
 - [2.](#)
 - [3.](#)
 - [4.](#)
- [贊助資訊](#)

編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2023. Q1」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

No. 1252-A 禪林疏語小引

禪林之有疏語。非佛制也。亦非祖制也。但此土有僧以來。引群生以歸佛海。其間表事陳情則必有藉于疏。故疏之為用其來已久。在唐宋時叢林中特重是職。非才學兼優者莫與其選。入明以來僧中堪此職者實鮮。但因襲陳文腐語苟且應酬而已。予昔在眾日每任是職。苦于無舊可因。故率多杜撰應酬。積之既久不覺成帙。有好事者謬相珍重抄錄以傳。蓋三十餘年矣。近見俞君時篤乃為鏤板于武林。而泉南諸善友亦復繼武林而殺青焉。不過謂其事雖細而用實難廢。辭雖鄙而意亦可達。此諸君流通之意也。若諸大叢林中必有奇傑之士。啟口盡珠玑。揮筆成風雲。又安用此哉。漫題數語以引其首。

石鼓主人 釋元賢 題

禪林疏語考證目次

- 卷之一
 - 彝典門
 - 聖節祝釐
 - 佛生日
 - 佛成道日
 - 佛涅槃日
 - 涅槃日(念誦白文)
 - 彌陀誕日
 - 觀音誕日
 - 地藏誕日
 - 元旦禮千佛
 - 上元
 - 中元
 - 下元
 - 辭季
 - 結制
 - 解制

- 結制禱韋天
- 解制白韋天
- 入關
- 出關
- 新住持入院
- 住持設齋施食
- 修因門
 - 平安修懺(二)
 - 平安啟經
 - 亘經
 - 完經
 - 慶生(二)
 - 完報母齋
 - 修造謝土(二)
 - 寺院修造謝土
 - 造像開光
 - 施茶完滿
 - 齋僧
 - 念佛會
 - 放生
 - 新剃度施食
 - 水懺表(三)
 - 梁皇懺表(十)
- 卷之二
 - 弭災門
 - 春祈雨
 - 夏祈雨
 - 秋祈雨
 - 得雨小更祈
 - 謝雨(二)
 - 祈晴
 - 秋祈晴
 - 謝晴
 - 迎神保苗
 - 禳蝗蟲
 - 禳火(二)
 - 火後還愿
 - 客中遇火後還愿

- 禳瘟
- 一家禳瘟
- 禳牛瘟
- 保瘟病
- 祈恩門
 - 祈嗣
 - 得子還愿
 - 保胎
 - 產後得男還愿
 - 產後得女還愿
 - 嬰兒祈安
 - 祈入學立愿
 - 入學還愿
 - 秋科立愿
 - 秋捷還愿
 - 春科立愿
 - 登第還愿
 - 官員赴任祈安
 - 赴任後還愿
 - 客商出外祈安
 - 商歸還愿
 - 商遇風浪立愿後還(二)
 - 妻為夫作商不歸立愿
 - 因訟祈安
 - 橫遭官事祈安
 - 官事受枉祈脫
 - 官事息還愿
 - 保重病
 - 保長病
 - 保身弱多病
 - 病後還愿(二)
 - 保嬰兒病
 - 嬰病愈還愿
 - 保痘疹
 - 痘後還愿
- 卷之三
 - 薦悼門
 - 薦父

- 六旬
- 小祥
- 大祥
- 忌日
- 安葬
- 薦父通用
- 薦母
- 六旬
- 小祥
- 大祥
- 忌日
- 安葬
- 薦母通用
- 雙薦父母
- 薦祖父(二)
- 薦祖母(二)
- 薦伯叔父(二)
- 薦伯叔母(二)
- 薦兄弟(二)
- 薦姊妹(二)
- 薦夫(二)
- 薦妻(二)
- 薦產厄
- 薦子(二)
- 薦女(二)
- 薦岳父(二)
- 薦岳母(二)
- 薦壻(二)
- 薦大沙門
- 入塔
- 生忌
- 禪僧薦師(二)
- 禪僧薦徒
- 薦赴應僧行(二)
- 薦出家居士有齋戒者
- 和尚誕日
- 卷之四
 - 附錄

- 大藏恭聞
- 法華恭聞
- 華嚴恭聞
- 金剛恭聞
- 藥師恭聞
- 蘭盆恭聞
- 心經恭聞
- 五部恭聞
- 預修通用恭聞
- 道場大榜結尾(三)
- 活用榜(二)
- 禮懺誠眾榜文
- 大施食榜(二)
- 小施食榜(二)
- 禪教平安修懺佛事
- 禪教薦亡佛事
- 道場各聯
- 續錄
 - 先帝遐昇修懺上表
 - 又上佛疏
 - 聞賊勢猖獗諷仁王護國經疏
 - 顧兵憲中元普度疏

禪林疏語考證目次(終)

No. 1252

禪林疏語考證卷之一

彙典門

聖節祝釐

○聖節

統紀通塞志曰。北魏太武始光二年常誕節詔於佛寺建祝壽道場。
註。聖節道場之始。

○祝釐

史記孝文本紀曰。祠官祝釐。註。如淳曰釐福也。賈誼傳曰受釐坐宣室。索隱曰音禧福也。

伏以九霄垂象馭。普瞻舜日之休明。大地統金輪。率慶堯天之浩蕩。莫伸燕賀。敢後嵩。呼切念(某)等誕躬盛世寄跡空門。素食緇衣。滴水悉濡于聖澤。岩居穴處。寸土並覆于天庥。快覩虹流之辰。益深雀躍之喜。雲趨聖殿。雷誦秘章。聊展蘋藻之誠。仰酌高厚之廕。伏願皇仁益溥睿筭彌堅。八紘共躋于雍熙。萬世永綏于寧謐。再祈天眷常荷寵光。帝臣默孚簡在。寸土蒙潤莖草沾輝。

○九霄

潘岳詩。思託身於九霄。又沈休文詩。託慕九霄中。

○象馭

易係辭曰。天垂象。見吉凶。聖人象之。

○堯舜

謂堯唐帝名。舜虞帝名。

○金輪

見事苑。

○燕賀

淮南子曰。大廈成而燕雀相賀。註。廈大屋也。燕雀喜大屋之成而得安。

○嵩呼

前武帝紀。朕親登嵩山。乘屬在後。吏卒咸聞呼萬歲者三。

○岩居穴處

韓詩外傳曰。岩居穴處而王侯不能與爭名。

○寸土

僧清順十竹詩。城中寸土如寸金。

○虹流

世紀曰。少昊母曰女節。有星如虹下流。意感而遂生少昊。

○雀躍

莊子註曰。拊脾雀躍。形容其跳躍自樂意。

○蘋藻

詩采蘋曰。于以采蘋南澗之濱。于以采藻于彼行潦。

○高厚

詩正月曰。謂天蓋高不敢不局。謂地蓋厚不敢不踣。

○八紘

淮南子曰。九州之外乃有八殞。八殞之外有八紘。謂八紘與八荒同。猶言八方。

○簡在

書湯誥曰。惟簡在上帝之心。註簡閱也。

佛生日(四月八日)

伏以麥秀兩岐。正炎帝乘離之日。奠敷八筴。喜摩耶毓震之辰。虔守常儀。特勤皈依。切念(某)等居五濁鄉。處三衣下。借潤于玉毫之彩。頂踵難酬。蒙耀于金臂之光。涓埃莫報。欣逢聖誕。恭

集僧伽。掬香水以浴金軀。摘澗芹而修菲供。舉揚 聖號。課誦真乘。庶幾傾蟻困之情於以答鴻休之庇。伏願金軀再現法浪重流。轉堪忍之凡倫盡成法忍。滅有生之苦器悉證無生。蕩開積劫之埃塵。洗出本來之面目。

○麥秀兩岐

後漢張堪傳曰。堪為漁陽太守。勸民農桑以致殷富。民歌曰。桑無附枝。麥秀兩岐。張君為政。樂不可支。

○炎帝乘離

魏相傳曰。炎帝乘離。執衡司夏。

○蓂敷八筴

帝王世紀曰。帝堯時有草夾階而生。每月朔日生一筴。至月半則生十五筴。至十六日後日落一筴。至月晦而盡。若月小餘乾而不落一筴。

○摩耶

西域記曰。唐言大術或云大幻。晉華嚴摩耶夫人答善財言。我已成就大願智幻法門。得此法門故為盧舍那如來母。於閻浮提迦毗羅城淨飯王宮。從右脇生悉達太子。顯現不可思議自在神力。

○毓震

易震卦本義曰。震動也。其象為雷。其屬為長子。

○玉毫

見事苑。

○頂踵

孟子曰。墨子兼愛。摩頂放踵利天下為之。註放至也。

○涓埃

杜甫望野詩。唯將遲暮供多病。未有涓埃答聖朝。

○僧伽

大論曰。秦言眾。多比丘一處和合是名僧伽。譬如大樹叢林是名為林。

○金軀

輔行曰。如來黃金色身。口業所說故也。

○澗芹

呂氏春秋曰。野人美芹願獻之至尊。註至尊天子也。言野人惟有芹。以為美。欲將以獻之天子。其可乎。

○蟻囿

東陽元凝齊諧記曰。董昭之過江見蟻冢。一短蘆昭之救之。後繫獄。蟻領群蟻穴獄。昭之遂得免。

○鴻休

鴻洪相通。大也。休美也。

○本來面目

傳燈錄曰。道明求法于六祖。六祖曰那個是明上座本來面目。

佛成道日(臘月八日)

伏以瑞啟商正璇宇光昭于八日。祥符梵化雪山行滿于三祇。謹襲清規爰昭丹悃。切念(某)等永居黑夜長背覺城。荏苒迷津。覩明星而莫悟。崎嶇險道。望雪嶺而難齊。幸大覺示成道之期。斯凡愚開自新之路。敬設伊蒲之供。恭繙貝葉之章。庶竭鄙誠。少酌慈廕。伏願法螺永震魔胃潛開。禪河濬萬派之波。覺樹敷塵劫之秀。同皈悟剎。共暢玄猷。

○商正

左註曰。夏正建子。商正建丑。周正建寅。

○璇宇

書舜典曰。璇璣玉衡以齊七政。註璇美玉也。旋轉而衡平。以玉為璣衡謂渾天儀也。

○三祇

事苑曰。僧祇此言無量。謂世尊經三僧祇修行。自十信初發心至世第一名初僧祇。從見道至第七地末名第二僧祇。從第八地至解脫道名第三僧祇。此三祇外方得成佛。

○清規

百丈山大智海禪師初立叢林儀軌名曰清規。

○荏苒

別傳註曰。遲留貌。又展轉義。

○覩明星

曉星也。修行本起經云。菩薩自知已棄惡本。無婬怒癡。生死已除。五陰諸種悉斷。無餘栽孽。所作已成智慧已了。明星出時廓然大悟。得無上正真為最正覺。

○崎嶇

皈去來辭註。崎嶇險也。

○伊蒲

齋供食曰伊蒲饌。後漢楚王映詣闕以縑贖罪。詔報曰。王好黃老之言。尚浮屠之教。還其贖以助伊蒲塞桑門之饌。註伊蒲塞即優婆塞。此言近住。言受戒行甚近僧住也。

○貝葉

名義集曰。多羅舊名貝多。此翻岸。形如此方棕櫚直而且高。極高長八九十尺。華如黃米子。有人云一多羅樹高七仞。七尺曰仞。是則樹高四十九尺。西域記云。南印建那補羅國北不遠有多羅樹林三十餘里。其葉長廣。其色光潤。諸國書寫莫不採用。

佛涅槃日(二月十五)

東震丁壯陽之候魄滿孤輪。西乾示終化之區輝潛雙樹。深增孺慕。敬展梵儀。切念(某)等沉幻化海。昧涅槃天。逐有執無未識皈真之竅。出生入死孰為永寂之元。惟我佛示大寂滅之場。作眾生真皈依之主。感恩若此。報德何從。茲當涅槃之辰。特陳清淨之供。(隨入功德)伏願曇花再現金足雙彰。常闡圓音。開諸佛最後之秘藏。重炳慧焰。破眾生無始之迷關。十方普映慈輝。九界同沾法喜。

○東震

事苑曰。或云震旦。或云真丹。或旃丹。或指難。皆梵音訛轉。並翻漢地。西域記翻摩訶支那為大漢國。或謂日出東隅其色如丹故云震旦真丹者。此皆訛說。

○魄

月躰黑者謂之魄。死魄朔也。生魄望也。

○西乾

事苑曰。西乾即天竺國五印土或云西天。

○雙樹

見名義集。

○孺慕

詩棠棣註。孺小兒親慕父母之意也。

○涅槃

梵語涅槃。此云滅度。謂除煩惱度過生死故也。又涅槃而不生。槃而不滅。不生不滅故名涅槃。

○曇花

名義集曰。此云瑞應。般泥洹經云。閻浮提內有尊樹王名優曇鉢。有實無華。優曇鉢樹有金華者。世乃有佛。

○金足

通載曰。佛告諸大弟子。迦葉來時可令宣揚正法眼藏。爾時迦葉在耆闍崛山寶鉢羅窟。覩勝光明即入三昧。以淨天眼觀見世尊於熙連河側入般涅槃。乃告其徒曰。如來涅槃也何其駛哉。即至雙樹間。悲戀號泣。佛於金棺內現雙足。

○九界

要覽曰。一五趣雜居地。二離生喜樂地。三定生喜樂地。四離生妙樂地。五捨念清淨地。六空處地。七識處地。八無所有處地。九非想非非想處地。地有四義。謂住處攝治。

涅槃日念誦白文(維那出班白)

恭聞能仁應世。寂默證真。廓千界以居尊。撫四生而為子。形隨物現元同非相之身。教逐機興詎異無言之道。爰自法輪載轉化迹彌隆。半字初談譬擊蒙而靡倦。百金後寄猶贖命以惟勤。普令煩惱之儔安往如來之藏。四心告滿三德云圓。是故人于涅槃。不可得而思議。我等鶴林既遠。痛失于前緣。像法猶存。忝遵乎遺訓。今值中春之日。緬懷北首之儀。澗藻谿蘋聊表薦羞之禮。巴歌里咏少陳哀歎之誠。惟願洪慈俯垂昭鑒。

○能仁寂默

名義集曰。摭華云釋迦牟尼。此云能仁寂默。寂默故不住生死。能仁故不住涅槃。悲智兼運立此嘉稱。

○四生

金剛經十七家註。王日休曰。若卵生者。如大而金翅鳥。細而蟣虱是也。若胎生者。如大而獅象。中而人。小而貓鼠是也。若濕生者。如魚鼈黿鼉以至水中極細虫是也。若化生者。如上而天人。下而地獄。中而人間米麥菓實等所生之虫皆是也。上四種謂欲界眾生。

○法輪

統紀曰。輪以摧碾為義。如來說法化轉物心。於法自在。如輪王輪寶運轉無碍。又如來三輪不思議。謂身輪現通。口輪說法。意輪鑑機。能與眾生摧碾一切惑累。

○半字

涅槃經云。半字義者皆是煩惱言說之根本。故名半字。滿字者乃是一切善法言說之根本也。譬如世間為惡之者名為半人。修善者名為

滿人。故西秦曇無讖三藏依涅槃此經。以了義大乘為滿字教。不了義小乘為半字教。立半滿之教。曇無讖始也。

○四心

法界次第曰。一慈無量心。二悲無量心。三喜無量心。四捨無量心。

○三德

金光明經玄義曰。一法身德。二般若德。三解脫德。

○鶴林

事苑曰。世尊臨般涅槃。其娑羅林垂覆寶牀。時即慘然變白。猶如白鶴。故曰鶴林。

○薦羞

周天官曰。庖人以共王之膳與其薦羞。及后世子之膳羞以共祭祀之好羞。又禮天官。薦羞皆進也。未飲食曰薦。既飲食曰羞。

○巴歌

西漢註曰。巴。巴人也。當高祖初為漢王。得巴俞人並趨捷善鬪。與之定三秦滅楚。因存其武樂也。即今之巴州俞州。宋玉所謂下俚巴歌。國中屬而和者數千人矣。趨。丘沃切。

阿彌陀佛誕日(十一月十七)

伏以五花梅綻乃王正建子之時。兩筴莫飄正皇覺誕辰之會。幸逢聖降。恭罄賀誠。切念(某)等愛纏濁國業繫凡區。得值真乘。聞花輪而矢志專修淨念。望寶地以馳神欲酌母憶之悲。敬藉聖生之吉。虔修淨供。懇薦心香。持萬德之洪名。宣三藏之秘典。預修微善小

嚴淨因。伏願紺眸垂炤金臂流光。寶樹林中常聽梵音談般若。金繩界內仰瞻妙相記菩提。

○建子○奠颺

並見上。

○母憶之悲

稜嚴勢至圓通章曰。十方如來憐念眾生。如母憶子。若子逃逝。雖憶何為。

○三藏

名義集曰。一修多羅藏。四阿含等經。二阿毗曇藏。俱舍· 婆沙等論。三毗尼藏。五部律。

○金繩

法華授記品云。國界嚴飾。無有高下坑坎堆阜。瑠璃為地。寶樹行列。黃金為繩以界道側。散諸寶華周遍清淨。

觀音大士誕日(二月十九)

月屆仲春曇花現圓通之瑞。奠凋四筴水月彰自在之形。昔傳聖降之期。今修燕賀之悃。切念(某)泛塵勞海羈熱惱鄉。六根橫流徒有奔塵之失。三慧長翳未施聞性之功。倘非彼岸之大悲。孰拯此方之劇苦。適逢穀旦用表葵誠。(敘佛事)伏願甘露永濡潮音恒震。黑風浪息同登般若之舟。毒火煙消共入清涼之境。

○奠筴○燕賀

並見上。

○三慧

成實論曰。一聞慧。二思慧。三修慧。

○穀旦

毛詩曰。穀旦。註穀善也。

○葵誠

魂曹植表曰。葵誠之傾葉。太陽雖不回光。然向之者誠也。

地藏誕日(七月三十)

金風載發適丁晦魄之期。玉露將濡特示降神之旦。既懼忤以戴德。益肅恭以輸誠。切念(某)等身居聖世。罪結冥司。冀脫苦輪必藉仁風之披拂。欲登覺苑全依慧日之炤臨。思曝獻而無從。幸河清之可值。爰遵梵軌。特薦心香。(敘佛事)伏願金錫垂光。明珠流焰。癡狂頓歇開無始之鐵城。熱惱驟除滅眼前之火獄。幽明咸利。水陸均資。

○晦魄

謂晦者月之三十日也。言其月盡晦暗也。月之初生曰魄。月為陰精故曰魄。

○披拂

莊子曰。風起北方一西一東。有上彷徨孰噓吸是。孰居無事而披拂是。註披拂搖蕩也。

○炤臨

毛詩曰。日居月諸。照臨下土。

○曝獻

列子曰。昔者宋國有田夫。常衣緼[鹿/貝]僅以過冬。暨春東作自曝於日。不知天下之有廣廈隩室綿纊狐貉。顧其妻曰。負日之暄人莫知者。以獻吾君將有重賞。

○河清

王子年拾遺記曰。丹丘千年一燒。黃河千年一清。又史。黃河清而聖人出。

○金錫

見事苑。

元旦禮千佛

新頒鳳曆開景運于芳辰。肅啟龍函萃繁禧于勝域。佛隨機現。道以時行。切念(某)等迷幻化中。墮凡夫地。虛妄成相若靈臺書一刻之雲。流逸奔塵如春雨漲千江之浪。韶華日邁。罪垢年深。乃于今歲更新之候。遂起方來自濯之思。爰淨梵壇。聿修清軌。禮三千之聖號。皈萬德之慈尊。專效僕僕之勞。庶表乾乾之敬。伏願障隨寒盡福逐春生。億萬生靈同遊妙莊嚴海。三千調御共放不思議光。

○鳳曆

左傳曰。少皞摯之立也。鳳鳥適至。故紀于鳥曆。鳥氏曆正也。昭鳳知天時。故正名鳳正之官。

○芳辰

梁元帝纂要曰。春辰曰良辰嘉辰芳辰。

○龍函

晉書。雷煥為豐城令。煥到縣。掘獄基得石函。中有雙劍並刻題。一曰龍泉。一曰太阿。

○一刻之雲

左僖五年辛亥朔日南至公既視朔。遂登觀臺以望而書禮也。凡分至啟閉必書雲物為備故也。

○僕僕

孟子曰。子思以為鼎肉。使己僕僕爾亟拜也。註僕僕煩猥貌。

○乾乾

易乾卦。君子終日乾乾。夕惕若。

合坊上元

節屆傳柑喜結鰲山之綵。心勤獻曝誠皈狴座之尊。謹以心聲。陳之筆舌。切念(某)等蝸居苟活。燕處偷安。貪嗔癡慢疑之根榛蕪心路。色受想行識之滓渭濁性源。非藉廈屋之帡幪。安冀春祺之至止。(入佛事)伏願粉榆有慶井巷無虞。千家簾幙捲祥風。十里樓臺添瑞氣。出而作。入而息。永享淳物之休。老者安。少者懷。長沐雍熙之化。

○傳柑

唐開元遺事曰。元夜貴戚宮人以黃柑賜近臣。謂傳柑宴。

○鰲山

謂鰲山灯山也。結五綵為之。故古詞云。御樓烟暖鰲山綵結。鳳輦初回宮闕。千門灯火九街風月。又見列子。

○獻曝

見上。

○猊座

見事苑。

○心聲

楊子曰。言。心聲也。書。心畫也。

○蝸居

魏志曰。焦先。字孝然。結草廬於河間。號蝸牛廬。

○榛蕪

宋傳。亮表曰。伊洛榛蕪。津塗久廢。

○涓濁

詩。谷風曰。涇以涓濁。

○幘幪

楊子曰。震風陵雨然後廈屋之為幘幪也。註在旁曰幘。在上曰幪。

○粉榆

同鄉里曰粉榆同契。通典曰。漢高祖初起。禱於豐粉榆社。四年詔御史治粉榆。

○出作入息

古擊壤歌曰。日出而作。日入而息。

○老安少懷

語。公冶長子曰。老者安之。朋友信之。少者懷之。

中元

桂花初秀月當少昊之司權。奠筵齊開日際日連之設供。恭修象教。恪達蟻誠。切念(業)等業風震動智月昏迷。思父母之劬勞何以報德。念幽冥之痛苦無以超生。幸逢諸佛懽喜之辰。乃為眾僧自恣之日。(入佛事)伏願親恩普報子願無違。在堂者福祉彌堅。已化者罪花早謝。六道障融於十方。三乘惑盡於一心。

○少昊

記。月令曰。孟秋之月日在翼昏。建星中旦。畢中其日庚辛。其帝少昊。

○奠筵

見上。

○日連

見孟蘭盆經。

○象教

杜詩。方知象教力。言象教者。如來既化。諸大弟子想慕不已。遂刻木為佛瞻敬之。以形象教人也。

○蟻誠

見上。

○劬勞

詩。蓼莪曰。哀哀父母。生我劬勞。

○懽喜○自恣。

並見孟蘭盆經。

○十力

智度論曰。一知是處非處智力。二知過現未來業報智力。三知諸禪解脫三昧智力。四知諸根勝劣智力。五知種種解智力。六知種種界智力。七知一切至處道智力。八知天眼無碍智力。九知宿命無漏智力。十知永斷習氣智力。

下元

北帝司權方紀小陽之月。水官考籍載臨正望之辰。謹遵教儀。肅修善果。切念(某)等靈源汨沒識浪滔淫。苦海無涯悞失回頭之岸。愛河有漏昏迷駐足之津。須憑道筏以乘危。斯得慈航而濟險。(人佛事)伏願福涌川增。澤滋河潤。經之營之自有有常之吉。優爾游爾永無無妄之災。

○北帝司權

事文前集曰。天神之大者曰昊天上帝。即耀魄寶也。亦曰天皇大帝。亦曰太一。其佐曰五帝。東方青帝威靈仰。南方赤帝赤熛怒。西方白帝白招拒。北方黑帝計光紀。中央黃帝含樞紐。

○水官考籍

事文曰。下元日。九江水帝十二河源溪谷大神與暘谷神主水府靈官。同下人間校定生人罪福。又下元三品解厄。水官主祿。百司檢察人間善惡。上詣天闕進呈。

○汨沒

山谷詩。隨俗易汨沒。從公常糾紛。

○慈航

清涼禪師云。夫般若者苦海之慈航。

○川增

詩。天保曰。如川之方至以莫不增。

○經營

詩。靈臺曰。經營靈臺。經之營之。

○無妄之災

易曰。無妄之災。謂不測之禍也。我本無妄為而忽有不測之禍。尤難防也。

辭歲

仰觀璿曆漸屆更新之辰。俯演金科小修送故之典。兢兢謝過。翼翼承恩。切念(某)等虛度浮光浪淹幻世。三百六十略無一善之微長。一十二時數起十纏之重障。幸喜歲華之結局。洵承韶景之問津。靜思據舊之非。盍盡自新之德。謹邀緇流恭達素悃。(入佛事)伏願既往之愆自今以雪。方來之祉與時俱新。半點陽春暢作和風之披拂。萬間廣廈永依慈蔭之帡幪。

○璿曆

見上。

○金科

楊雄劇秦美新曰。懿律嘉量。金科玉條。註法令也。

○兢兢

詩。小旻。註兢兢戒也。

○翼翼

詩。大明。註翼翼恭慎之貌。

○緇流

見要覽。

○十纏

名義集曰。忿恚曰嗔。隱藏自罪曰覆。意識昏迷曰睡。五情暗冥曰眠。嬉游曰戲。三業躁動曰掉。屏處起罪不自羞曰無慚。露處起罪不羞他曰無愧。財法不能惠施曰慳。他禁心生熱惱曰嫉。

○披拂○幘幪

並見上。

結制

禁足安居乃我佛之清軌。識心達本斯釋子之徽猷。道以人行。功由日進。切念(某)等叨生末運忝入空門。四事扶身逐光陰而蹭蹬。六根吸影馳幻惑以蹉跎。不仗禪那之功。安趨究竟之果。(講期改云。不明貝葉之文。安趨菩提之果)。今擇(某)月(某)日廣延法侶結制聖期。脫盡廉纖直取少林之髓。何勞指註單窮雪嶺之心。(講期改云。出示家珍直闡一乘之妙。打開秘藏頓窮五教之歸)。誓明己事。冀報佛恩。伏願慈光廣被聖力冥加。般若靈苗藉真風而暢茂。菩提妙果資法雨以圓成。更祈僧行安和。檀那迪吉。業山翻為福海。魔障轉作善緣。

○安居

見要覽。

○徽猷

詩。角弓曰。君子有徽猷。小人與屬。註徽美猷道也。

○四事

增一阿含經云。一衣被。二飲食。三臥具。四醫藥。

○光陰

晉陶侃常語人曰。大禹聖者乃惜寸陰。至於眾人常惜分陰。

○躑躅

事苑曰。失道也。

○蹉跎

韓文曰。嗚呼吾意其蹉跎。言不遂其意。

○禪那

名義集曰。此云靜慮。智論云。秦言思惟修。言禪波羅蜜一切皆攝。

○究竟

見般若心經。

○廉纖

事苑曰。廉纖猶檢斂細微也。

○少林髓

傳燈錄達磨傳云。達磨已欲西返天竺。乃命門人曰。時將至矣。汝等盍各言所得呼。時門人道副對曰。如我所見。不執文字不離文字而為道用。師曰汝得吾皮。乃至最後惠可禮拜後依位而立。師曰汝得吾髓。

○指註

碧岩云。胡亂指注。

○檀那

梵語陀那鉢底。唐言施主。

○迪吉

尚書。禹曰。惠迪吉從。逆凶惟影響。註惠順迪道也。

解制

三月安居尚歉及泉之力。四緣無缺徒懷顧影之慚。謹以丹衷。陳之白楮。切念(某)等忝與僧倫。徒遵聖制。辜恩莫報慨大道之無聞。補過何從愧寸功之未效。已逢解制敢不輸誠。雲集僧伽雷宣密典。仍陳法供普結善緣。伏願克滅前愆。尚需後效。掀翻幻網。契頭陀之破顏。廓徹真如。同慧可之出拜。更祈檀那萃慶。僧行承休。佛日長耀于域中。魔風永緝于化表。

○及泉

孟子曰。有為者譬若掘井。掘井九仞而不及泉。猶為棄井也。註八尺曰仞。言鑿井雖深。然未及泉而止。猶為自棄其井也。

○四緣

智度論云。一因緣。謂六根為因六塵為緣也。如眼根對於色塵時。識即隨生。餘根亦然。是名因緣。二次第緣。謂心心所法次第無間相續而起。名次第緣。三緣緣。謂心心所法由託緣而生。還是自心之所緣慮。名為緣緣。四增上緣。謂六根能照境發識。有增上力用。諸法生時不生障礙。名增上緣。

○寸功

杜甫詩。從軍十年餘。能無分寸功。

○頭陀破顏

宗門雜錄曰。舒王問蔣山佛惠泉禪師曰。禪家所謂世尊拈華出自何典。泉曰大藏經所不載。王曰余頃在翰苑。偶見大梵王問佛決疑經三卷。因閱之。經中所載甚詳曰。梵王至靈山會上。以金色波羅華獻佛。捨身為床座。請佛為群生說法。世尊登床拈華示眾。人天百萬悉皆罔措。獨有金色頭陀破顏微笑。世尊曰。吾有正法眼藏。涅槃妙心。實相無相法門。分付摩訶大迦葉。此經多談帝王事。所以秘藏。世無聞者。佛惠泉嘆其博究。

○惠可出拜

見上。

結制禱韋天

切念生逢末運法弱魔強。跡囿凡區僧多行寡。不蒙護衛之力。曷保安寧之休。今擇(某)年(某)月(某)日結制禪期求佛心印。(禪期改云結制。講期敷宣妙義)。慮異魔之作障。恐勝事之難成。雲集僧伽恭詣祠下。舉揚嘉號諷演秘章。端伸虔禱之儀。願賜感通之力。為功德主。作法輪王。允釋子之憑依。肅清魔黨。遵覺皇之囑累。廣轉食輪。僧海常安。檀門襲慶。

○安寧

詩。棠棣曰。喪乱既平。既安既寧。

○食輪

傳灯錄云。法輪未轉。食輪先轉。

解制白韋天

切念安居三月。圓滿一期。未奏進修之功。捫心多愧。叨蒙衛護之力。戴德難忘。謹按清規。暫解聖制。爰集緇侶共摠赤誠。諷演秘章。舉揚嘉號。少酌覆育之德。仍丐資成之恩。伏願法化常流魔風永緝。若施若受均沾勝利于無窮。或見或聞並植良因于有永。

○捫心

謝玄暉齊敬皇后哀策。想驚輅而撫心。註銑曰捫心哀甚也。

入關

掩關息慮單窮向上之機。作梵陳詞特表由衷之敬。懇祈恩祐加被進修。切念(某)獲比丘相。失菩提心。六賊塵紛未見稍寧之日。十纏膠固孰為獨露之時。儻非緊把繩頭。安冀豁開正眼。是以(入佛事)伏願正受常得現前。魔軍無由伺隙。四病俱遣默遊自在之天。一念不生頓入光明之藏。更祈色力永健障緣弗侵。僧海享靖安之休。檀門沐清泰之祉。

○由衷

左僖。信不由衷。質無益也。

○六賊

稜嚴曰。眼耳鼻舌及與身心六為賊。媒劫家寶。劫。強取也奪去也。

○十纏

見上。

○膠固

唐馬周傳曰。君宰間不膠漆而固。

○四病

圓覺經疏曰。一作病。二任病。三止病。四滅病。

出關

祖關難通心冥而原無出入。禪制有限期滿而似有始終。爰將非木非煙之香。用展克誠克敬之禮。切念(某)質同樗櫟。名列苾芻。掩關一室期傳摩竭之心。攝念三秋欲徹少林之髓。雖大願未滿。幸此期告圓。既荷覆幬之休。敢後昭報之悃。(入佛事)伏願破是非關。開煩惱鎖。檀門協慶永結般若之緣。僧海咸安坦遊楞伽之岸。

○樗櫟

莊子。惠子曰。吾有大樹人謂樗。其大本擁腫而不中繩墨。卷曲而不中規矩。註樗惡木也。櫟似樗木也。

○苾芻

要覽云。苾芻梵語也。是西天草名。具五德。故將喻出家人。

○摩竭之心

事苑曰。梵云摩竭陀。此云文物國。拵室言。世尊禪定於普光法堂也。西域記云。昔如來於摩竭陀國初成正覺。梵王建七寶堂。帝釋建七寶座。佛坐其上。於七日中思惟是事。義同拵室也。

○少林之髓

見上。

○覆幬

中庸曰。譬如天地之無不持載。無不覆幬。

○楞伽

名義集云。正言駿[登*力]迦。佛住南海濱入楞伽國摩羅耶山而說此經。梵語楞伽。此云不可往。唯神通人方能到也。阿跋多羅。此云入。謂入此山中而說此寶。或翻無上。謂此經法是無上寶。

新入院住

切念(某)謬瀆僧倫初權院事。力之弗逮。戰戰如蚊之負山。才之靡長。遑遑似鼠之度谷。倘非覆護于十力。曷紓兢業於寸心。敬於是日營設午供一堂。上奉三寶下暨萬靈。夜放甘露法食一壇。普濟幽魂同沾法喜。伏願法雨沛於四境。祥光賁於萬年。魔之胃。仇之淵。皈聖化而並釋。福之基。命之運。藉慈蔭而彌隆。

○戰戰

詩小旻。註恐也。

○蚊之負山

莊子曰。其於治天下也。猶涉海鑿河而使蚊負山。

○遑遑

孟子。註有求而弗得之意也。

○鼠之度谷

荀子曰。鼯鼠五技。能飛不能上屋。能緣不能窮木。能浮不能渡谷。能穴不能掩身。能先不能先人。

○十力

見上。

○兢業

尚書。註兢兢戒謹也。業業危懼也。

○寸心

列子曰。文摯謂然叔曰。子方寸之地虛矣。幾聖人也。李白詩。長劍一盃酒。男兒方寸心。

常住朔望諸節設齋施食通用

切念(某)濫廁空門忝權院事。三尊覆育。思結草而奚從。四事資成。愧素飧而無補。不崇善利曷報慈仁。茲者恭遇(某節)之辰。(人事)伏願加護念心垂正覺眼。魔障氷釋。僧園永絕於非殃。善緣日增。清眾同安於法化。

○三尊

會古通今記云。三尊即目佛法僧寶。世所仰重故名為尊。

○結草

左傳曰。普魏顆。武子之子。初武子有嬖妾無子。武子疾命顆曰必嫁是。疾病則曰必以為殉。及卒。顆嫁之。曰疾病則亂。吾從其治也。及敗秦師于輔氏。獲杜回。秦之力人也。顆見老人結草以亢杜回。杜回躡而顛故獲之。夜夢之曰。余而所嫁婦人之父也。爾用先人之治命。余是以報。

○四事

見上。

○素飧

詩伐檀曰。彼君子兮不素飧。註素空。餐食也。又孟子註。無功而食祿謂之素飧。

修因門

平安修懺(僧用)

伏以法典弘開。援眾生於塵勞海上。心精邃格。禱諸佛於大寂光中。冀消宿垢於生前。用植正因於身後。切念(某)濫受田衣慚窺剎影。耽人著我縱三毒以成愆。背覺合塵恣六根而起業。必浣衣方堪染色。如漏器曷貯醍醐。不憑懺悔之門。難達菩提之路。是以延集同袍就于本菴大殿頂禮(某)懺法(幾)部。諷演秘章淨嚴懺室。旋寶旛而皈敬。歌梵唄以讚揚。叩普賢之願王下臨象馭。祈韋將之冥力俯鎮魔軍。萬德洪名極一心而頂禮。多生罪相罄卅卷以敷宣。酌水焚檀少彰盈缶之敬。摘葵烹茗聊陳及物之儀。既畢懺摩之功。仍修瑜珈之典。甘露雨注息徹熱而清涼。法食雲屯止饑虛而飫足。以茲微善少植淨因。伏願寶掌放光蓮眸垂鑒。罪花凋謝恒長覺樹之根。愆海乾枯早沾法流之水。魔軍遠遁。色力彌堅。誓轉不退之輪。竟成極樂之果。

○田衣

見要覽。

○同袍

白孔六帖曰。兄弟曰同袍。

○梵唄

謂梵音曰梵唄。梵語云唄者。華言止斷外事。外事止斷時任為佛事。唄者讚詠之聲也。若曹子建遊魚山。忽聞空中梵天之音清響哀惋。獨聽良久。乃舉其節寫為梵唄。自此始也。

○象馭

見上。

○盈缶之敬

易比卦曰。有孚盈缶。終來有他吉。傳誠信充實於內。若物之盈滿於缶中也。

又(俗用)

大悲愍俗權垂救過之方。淨德難成特修自新之法。冀祛宿障。謹露心章。切念(某)爰居爰處不識不知。行寡悔。言寡尤。弗慎厥德。縱敗度。欲敗禮。速戾于躬。靜言思之。何所禱也。幸有懺摩之典可為解脫之門。(入佛事全前)伏願五眼洞彰。六通廣攝。罪山摧滅消點雪于紅爐。道岸允登度片舟于黑海。萃盈門之茂祉。篤歷世之繁禧。

官家改。切念(某)濫沾聖澤忝列儒紳。身心意知未能克明其德。祖聽言動猶恐數違於仁。女流改。切念(某)三從劣品五障微軀。愚而無知安能察理而動。懦而弗立何以守仁而居。

○爰居爰處

見詩擊鼓。

○不識不知

見詩皇矣。

○行寡悔言寡尤

論語。子曰多聞闕疑。慎言其餘則寡尤。多見闕殆。慎行其餘則寡悔。言寡尤。行寡悔。祿在其中矣。

○縱敗度欲敗禮

書。太甲曰。王拜手稽首曰。予小子。不明于德。自底不類。欲敗度。縱敗禮。以速戾于厥躬。註速召之急也。戾罪也。

○五眼

大智度論云。一肉眼。二天眼。三慧眼。四法眼。五佛眼。

○六通

法界次第云。一天眼通。二天耳通。三知他心通。四宿命通。五身如意通。六漏盡通。

○點雪紅爐

圓覺經講義云。當知圓覺寂照如紅爐一點雪。豈容暫住。

○盈門

後漢孔融性寬容好士。及退閑。賓客日盈其門。

○儒紳

論語曰。子張書諸紳。註紳大帶之垂者也。書之欲其不忘也。

○三從

記。緇衣曰。婦人幼從父。嫁從夫。夫死從子。是故有三從之義。

○五障

法華云。一不得作梵天王。二不得作帝釋。三不得作魔王。四不得作轉輪聖王。五不得作佛。

平安啟經(僧俗男女通用)

大教遠流示一乘皈元之路。神功叵測開眾生方便之門。謁蟻困以皈依。冀鴻休之加被。切念(某)忝處人倫濫沾聖化。無明內障日增有漏之因。妄境外搖愈積無央之垢。踟躕于崎嶇道上那得皈來。耽着于敗朽宅中難求出離。欣逢聖教敢不傾心。是以虔向今年(某)月(某)日就于(某)庵免僧啟誦(某)經。首建啟經植福道場。修禮慈悲三昧水懺一堂。(敘佛事全前)伏願毫光遠暨將暗室而重光。法雨普沾使枯枝而再潤。頓出塵勞之海。高登正覺之場。再祈諸難不侵百祥備應。盡幽明而咸利。普恩有而同資。

○蟻困○鴻休

並見上。

○踟躕

謂行不正也。

誦經中期

繙了義之詮。功不容於中止。設慈悲之典。誠豈暫于再修。重展赤衷。特伸素楮。切念(某)癡負皮囊苦居火宅。身語意業之未淨遠背覺城。識根塵垢之日滋久封幻殼。飄零他國仰故鄉而何期。局繫凡籠喜聖言之未泯。是以先於(某)年(某)月(某)日啟誦(某)經。屆今閱誦將半。再伸讚揚。仗僧特建讚經植福道場。修禮三昧懺法(幾)部。(敘佛事)伏願集功德財秉智慧炬。滔天浪裡橫度般若之舟。黑地林中竟達菩提之路。更祈三災霧散。五福川增。六道並耀于慈光。四恩普資于玄化。

○皮囊

析玄記。觀身五種不淨第四外相不淨。謂觀此身現見外相皆是不淨。九孔常流種種穢惡。如破皮囊滿盛不淨。

○火宅

法華云。三界無安獨如火宅。

○三災

法苑珠林云。一饑饉災。二疾疫災。三刀兵災。

○五福

尚書曰。一曰壽。二曰富。三曰康寧。四曰攸好德。五曰考終命。

○四恩

大乘本經註。恩有四種。一父母。二師長。三國王。四施主。

誦經完滿

恭轉契經幸成圓滿之行。虔陳法務庶作究竟之功。抒誠已竭于一心。昭告敢辭于三瀆。切念(某)是名凡夫未離業網。黑愆滋于識浪寡之未能。白法障于迷關成之弗逮。幸逢聖典獲竭鄙誠。是以先於(某)年(某)月(某)日啟誦(某)經。迄今諷誦告完。敬涓(某)月(某)日啟建完經植福道場。修禮梁皇慈悲道場懺法(幾)部。(敘佛事)伏願入不二門。遊莊嚴海。娑婆穢土潛消五濁之根。極樂淨邦早下九蓮之種。更祈介爾景福錫之天年。釀作一門之休。衍為奕世之慶。

○契經

名義集云。梵語修多羅。此云契經。謂契理合機之教。

○三瀆

易。蒙卦曰。蒙亨。匪我求童蒙。童蒙求我。初筮告。再三瀆。瀆則不告。利貞。

○梁皇懺法

統紀云。梁帝初為雍州刺史時。夫人郗氏性酷妬。既亡。至是化為巨蟒。入後宮通夢於帝求拯拔。帝閱佛經為製慈悲道場懺法十卷。請僧懺禮。夫人化為天人。空中謝帝而去。

○介爾景福

毛詩曰。神之聽之介爾景福。註介景皆大也。

○奕世

後楊秉傳曰。臣奕世受恩。註奕重也。

慶生(俗用)

生緣有節喜添海上之籌。至道無聞深懼岸邊之樹。爰皈聖典。用報親恩。切念(某)陶質乾坤鑄形父母。眇茲壽命幾同井上之藤。紛爾根塵大似鏡中之影。韶光迅而弗待。善行缺而未修。倏臨(某)十之辰。爰效三皈之悃。(敘佛事)伏願福慧上嚴于二親。悔尤下消于一己。曰富曰壽祉茂集于盈門。爾熾爾昌善慶流之奕世。

○海上之籌

昔有人隱海上。聞海中有人語曰。每逢一紀則添一籌。今不覺滿屋矣。註一紀十年也。籌已滿屋不知幾多年。

○岸邊之樹

涅槃經壽命品云。是易壞。猶如河岸臨峻大樹。

○井上之藤

賓頭盧為優陀延王說法經云。我今為王略說譬喻。王志心聽。昔日有人行在曠路。逢大惡象為象所逐。狂懼走突無所依怙。見一丘井

即尋樹根入井中藏。上有黑白二鼠牙齧樹根。此井四邊有四毒蛇欲螫其人。而此井下有三大毒龍。旁畏四蛇。下畏毒龍。所攀之樹其根動搖。樹上有蜜三兩滴墮其口中。于時動樹敲壞蜂窠。眾蜂散飛咬螫其人。有野火起復來燒樹。大王當知。彼人苦惱不可稱計。而彼人得味甚少苦患甚多。

○鏡中之影

前定錄曰。表叔遇異人得書云。每受一命即開一幅。累任皆驗。一日晨起巾櫛一物墮鏡中。如蛇而有四足。驚而疾。數日卒。留書尚多。妻開視之。皆空紙也。最後一幅畫蛇盤鏡中而已。

○奕世

見上。

又(僧用)

世壽倏臨已屆懸弧之旦。親恩未報聊陳用禱之儀。特露微誠。端申片楮。切念(某)受形二親皈命三寶。浮光隙影莫識常住之天。圓頂方袍濫廁伽藍之地。奚啻罔極之慈恩。惟賴大悲之正典。(入佛事)伏願得金剛身。續佛慧命。二親普報咸覲無量壽如來。九有同資共逢消災障菩薩。

○懸弧之旦

記。內則曰。男子生。桑弧蓬矢六以射天地四方。天地四方男子所有事也。故必先有志於其所有事也。

○用禱之儀

易。既濟卦。東鄰殺牛。不如西鄰之禱祭。實受其福。

○圓頂方袍

日用小清規云。出塵離俗。圓頂方袍。

完報母齋

母兮育我。深同地載之恩。子之報親。端藉佛慈之力。已滿三年之素食。恭昭一日之赤誠。切念(某)身非我有。形藉親生。即捐我肢躄髮膚似大海難酌一滴。雖竭吾精神志慮豈寸草可答三春。惟我佛啟方便之門。乃人子竭孝思之路。是以先于(某)年(某)月(某)日白佛持齋。屆今三載已滿。延僧閱誦妙法蓮華經(凡)部。孟蘭盆經五千四十八卷。誦功告畢。謹涓(某)月(某)日仍延僧于家啟建完齋報母道場。(入佛事)伏願母(某)血海翻作金池。罪山化為福聚。北堂日永長娛萊子之衣。西國蓮生獲繼韋提之跡(母亡者改云。瑞光浮碧沼。菡萏花中禮聖容。天樂出寶林。瑠璃地上聞清楚)。

○育我

詩曰。父兮生我。母兮鞠我長我育我。

○地載

孝經曰。覆而無外者天也。是德無不在焉。載而無棄者地也。其物莫不殖焉。

○寸草三春

孟郊遊子吟云。慈母手中線。遊子身上衣。臨行密密縫。意恐遲遲畝。難將寸草心。報得三春輝。

○北堂

詩。伯兮曰。焉得諼草言樹之背。註背北堂也。

○萊子之衣

高士傳云。老萊子孝養親。年七十父母猶存。身着五色煊衣。為嬰兒戲於親前。取食上堂詐跌臥地為兒啼。欲親之喜。

修造後謝土(俗用)

燕廈落成幸遂萬間之庇。龍神擁護實資三寶之功。俯陳玉楮露心詞。仰叩金蓮敷妙相。切念(某)草茅賤品蓬葦微生。兔守舊居似匪蓋頭之所。鳩工新室欲為容膝之安。豈無冒禁之虞。喜值落成之日。爰就蝸宇特建道場。(入佛事)修茲寸善。答龍神之私庇。酌天地之恩光。伏願預慶戶牖之綢繆。永協室家之和好。若去若來若坐臥俱賴帡幪。曰壽曰富曰康寧多所饒益。

○落成

左襄。楚子成章華之宮。願與諸侯落之。註宮室始成祭之曰落。

○萬間之庇

杜甫詩。安得廣廈千萬間。大庇天下寒士俱歡顏。

○蓬葦

記。儒行曰。儒有一畝之宮環堵之室。葦門圭竇蓬戶甕牖。

○兔守

韓非子曰。宋有耕者。兔走觸株折頸死。因釋耕。守株冀復得兔。

○蓋頭

傳灯錄云。德山後到瀋山。山謂眾曰。是子將來有把茅蓋頭。罵佛罵祖去。

○鳩工

尚書驩兜曰。都共工方鳩僝功。註鳩聚也。

○容膝之安

韓詩外傳曰。楚莊王聘北郭。先生曰。臣有箕帚之婦願入計之。即謂婦。楚欲以我為相如何。婦曰。結駟列騎所安不過容膝。食前方丈所甘不過一肉之味。而殉楚國之憂可乎。於是遂不應聘。

○肩禁

韓非子曰。儒以文亂法。俠以武犯禁。而人主兼理之。此所以亂也。

○蝸宇

見上。

○戶牖綢繆

詩。鴟鴞曰。徹彼桑土綢繆牖戶。註徹取也。桑土桑根也。綢繆纏綿也。

○若去若來若坐臥

見金剛經。

○壽富康寧○帡幪

並見上。

又

昔不堪其憂因啟更新之役。今得安所適實依覆燾之恩。謹卜良辰。特陳謝悃。切念(某)肯堂念切築室計疎。歷涉星霜可奈否傾之險。帡幪風雨欲為革故之圖。乃闢舊基載營新宅。既遂落成之喜。

尤深犯禁之虞。乃延僧眾恭修釋典。(入佛事)以茲寸善。仰答天慈俯酬地德。安方隅之禁。謝龍神之休。伏願金帛恒足門閭有光。俾壽俾昌益衍莊椿之筭。以嗣以續更新燕桂之榮。

○覆幬

見上。

○肯堂

書大誥曰。若考作室既底法厥子乃弗肯堂矧肯構。

○築室

詩斯干曰。築室百堵西南其戶。

○否傾

易否卦。傾否。先否後喜。傳。上九否之終也。物理極而必反。

○革故

易革卦。傳曰革者變其故也。

○落成○犯禁

並見上。

○金帛

晉王戎曰。計筭金帛有如不足。

○莊椿

莊子曰。上古有大椿者。以八千歲為春。八千歲為秋。

○以嗣以續

見詩良耜。

○燕桂

竇禹鈞五子儀儷侃偁僖。五代末相繼登科。時謂竇氏五龍。馮道詩云。燕山竇十郎。教子以義方。靈椿一株老。丹桂五枝香。

寺院修造後謝土

伽藍地上偶葺蓋頭之所。善逝座下庸申稽首之恭。俯露丹誠。仰塵紺鑿。切念(某)塵寰擾擾世路孜孜。幸就般若緣中普資眾力。便向菩提場裡立豎把茅。既遂落成之功。敢後報德之典。(入佛事)以茲寸善。仰答三寶之帡幪。廣酌萬靈之護衛。伏願皇圖永固帝壽益堅。居者以安共遊三摩之域。施者蒙利同成解脫之因。合境而共沐殊休。有生而咸沾至澤。

○蓋頭

見上。

○善逝

謂如來十號之一也。

○把茅○帡幪

並見上。

○三摩

智論云。一切禪定攝心皆名三摩提。

造像開光

相好莊嚴已盡葵傾之懇。齋饑肅列爰申曝獻之恭。顯若有孚。儼然如在。切念(某)受下劣身乏大人相。覩紫磨之色曷勝祇承。望白毫之光徒切悲仰。是以敬于(某)寺施造(某)像一尊。造功既畢仍延僧建開光植福道場。(入佛事)俯修微善仰答洪休。伏願悟真空相。獲法性身。備二嚴之資遍遊覺苑。消五濁之穢恒處淨邦。

○葵傾○曝獻

並見上。

○顯若

易觀卦。有孚顯若。

○二嚴

涅槃經云。一智慧莊嚴。二福德莊嚴。

施茶完滿

烹茗途次已濡渴者之甘。修齋穀辰願薦凡夫之困。俯遵梵典。仰叩皇覺。切念(某)片善未聞寸陰空過。驅馳逆旅似渴鹿逐陽焰之光。窮困他鄉如涸魚思海波之潤。欲求善緣之克就。必須檀度之早修。是以就于(某處)施茶三載。今已告完。謹擇(某)年(某)月(某)日延請緇流宣揚洪典。(入佛事)伏願入清涼池。得甘露味。頓消三障常離苦海之波。廣備二嚴永滋盈門之慶。

○寸陰

見上。

○逆旅

左傳杜註。逆旅客舍也。正義云。逆迎也。旅客也。迎止賓客之處也。

○渴鹿

楞伽云。譬如群鹿為渴所逼。見春時燄而作水想。迷亂馳趣不知非水。

○涸魚

莊子曰。泉涸魚相與處於陸。相呴以濕相濡以沫。不如相忘於江湖。

○三障

華嚴孔目云。一皮煩惱障。二肉煩惱障。三心煩惱障。

○二嚴

見上。

齋僧

超娑婆之苦海須憑僧力共携。結般若之善緣必藉食輪先轉。蓋僧為福田之最而食為供養之先。不設潢汙之饑。曷表糞土之困。(人事)
伏願長菩提芽碎煩惱殼。福雲來集人無鳴豫之凶。魔胃潛開家有傾否之利。

○潢汙之饑

左隱三年曰。苟有明信澗谿沼沚之毛。蘋蘩蕒藻之菜。筐筥錡釜之器。潢汙行潦之水。可薦於鬼神。可羞於王公。

○鳴豫

易豫卦初六。鳴豫凶。傳曰。初六以陰柔居下。四豫之主也。而應之。是不中正之小人處豫而為上所寵。其志意滿極。不勝其豫。至發於聲音輕淺如是。必至於凶也。鳴。發於聲也。

○傾否○藿葵

並見上。

念佛會

切念(某)等長居穢土久困迷途。五欲內馳那下菩提之種。六塵外闕難長功德之林。嗟度苦而何期。幸超生之有筏。依如來之弘願。修淨土之微因。(人事)伏願穢障潛消福基永固。八德池上花開九品之蓮。七寶堦前佛援一生之記。廣資含識。同證菩提。

○五欲

天台四教儀云。一色。二聲。三香。四味。五觸欲也。

○八德池

稱贊淨土經云。一澄淨。二清冷。三甘美。四輕軟。五潤澤。六安和。七除患。八增益。

放生

聞其聲。食其肉。豈君子之忍心。放之山。畜之池。乃仁人之厚德。蓋有知必為同躰而血屬皆我宗親。夫豈望報于持環。實將興仁于解網。(人事)伏願悟無生之旨。證不壞之身。世壽益堅長趨菩提之路。色身常健益弘普濟之舟。更祈所放生命。入林密。入山深。各得其所。在囿伏。在沼躍。惟適之安。同登解脫之門。共入安養之國。

○聞其聲食其肉

孟子曰。聞其聲不忍食其肉。是以君子遠庖廚也。

○持環

後漢楊寶年七歲行於華陰山。見一黃雀被瘡。為螻蟻所傷。哀而憐之收巾箱中。採黃花餵之。經十餘日瘡愈。旦去暮來。一旦變為黃衣童子。與玉環一雙報之曰。好掌此環。子孫累生為三公。

○解網

殷湯王出野見獵人張網四面。祝曰。從天降從地出。從四方來者皆罹吾網。湯嘆曰。盡之矣。乃去其三面。改祝曰。欲左左。欲右右。不用命者入吾網。諸侯聞之曰。湯德至矣盡矣。以及禽獸。

○得其所○在囿伏在沼躍

並見孟子。

新剃度施食

切念(某)叨居人道。久絆世緣。名韁利鎖長為禁錮之因。慾海愛河永作沉溺之苦。思解脫而何由。幸皈依之有在。得逢善友遂入緇流。草長佛殿前既從茲而芟去。華開寶池內願自此而培成。謹於是日恭設淨供一堂奉佛及僧。夜設甘露法食普資凡聖。同殮法食各獲超昇者。伏願(云云)。

○名韁利鎖

前敘傳曰。貫仁義之羈絆。繫名聲之利鎖。

○禁錮

前武帝紀曰。諸禁錮及有過者咸蒙厚賞。

水讖上卷(薦亡通用。但疏內用亡者名)

切念(某)覺明既晦。煩惱斯興。如雲障空而莫窺妙躰。似垢蒙境而弗露元明。作苦輪之根株。為黑業之種子。乃于今辰仗僧修禮三昧水懺上卷。假茲妙典罄我鄙誠。一卷功週少申回向。伏願(某)悟一乘之玄猷。破三惑之重翳。能所弗立分別之念不生。心境俱融憎愛之情立盡。

○黑業

智論曰。黑業者。不善業果報地獄等受苦惱處。是中眾生以大苦惱悶極故名為黑。受善果報處所謂諸天。以其受樂隨意自在明了。故名為白業。是業是三界天。

○一乘

法華曰。一乘者佛乘也。乘即運載之義。佛說一乘之法。為令眾生依此修行。出離生死苦海。運至涅槃彼岸。

○三惑

天台四教儀集註云。一見思惑。二塵沙惑。三無明惑。

水懺中卷

切念(某)全因煩惱遂造業端。識根塵而熾然是非。妄起身口意之紛若。過惡橫生。似密網之難逃。如黑風之漂墮。乃于今辰仗僧修禮三昧水懺中卷。假茲妙典罄我鄙誠。中卷功週少申回向。伏願(某)成二嚴因。銷三業罪。或隱或顯咸覩光明之天。若重若輕迄臻粹白之域。

○黑風漂墮

見普門品。

○二嚴

見上。

水懺下卷

切念(某)等全因業網遂受報緣。苦樂殊途同為繫縛之果。升沉異致咸非解脫之區。嗟爾六道之循環。痛哉三途之苦惱。乃于今辰仗僧修禮三昧水懺下卷。假茲妙典罄我鄙誠。下卷功週少申回向。伏願(某)高超三界徹證三空。現身乃至後身悉獲清淨。正報以及依報並妙莊嚴。

○三途

見要覽。

○循環

謂環圓物也。以其過而復始旋轉不停故曰循環。

○三空

刊定記曰。一我空。二法空。三俱空也。

梁皇懺一卷(薦亡通用。但中用亡者名)

切念(某)遠背一真自違三寶。因果全昧而長墮疑城。懺悔不聞而久居業網。嗟罪山之既聳。憂苦海之莫窮。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法一卷。假茲妙典罄我鄙誠。一卷功週少申回向。伏願(某)入三寶之信門。皈一乘之正路。疑根永斷頓窮一翳之空花。業障速清竟滅一漚之幻影。

○一真

華嚴演義鈔云。無二曰一。不妄曰真。

○一翳空花

見圓覺經。

二卷

切念(某)煩惱根深。菩提種瘁。不發大心安能立無邊之弘願。全局劣見何以成回向之殊因。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法二卷。假茲妙典罄我鄙誠。二卷功週少申回向。伏願(某)覺心不昧願力益弘。增長二嚴合怨親而普利。成就二行盡恩有而咸資。

○二嚴

見上。

○二行

華嚴經疏云。一頓成諸行。二徧成諸行。

三卷

切念(某)恣逞邪思橫起妄業。墮鬼鄉沉地獄若響之應聲。居人道入旁生如形之有影。苦劇而無可告。緣會而弗容逃。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法三卷。假茲妙典罄我鄙誠。三卷功週少申回向。伏願(某)除三毒根。裂三業網。依止俱淨長屏災橫之憂。自他兩忘永消障礙之苦。

四卷

切念(某)眾生之業力無窮。地獄之火輪偏熾。非諸佛垂光何以遽息其熱惱。非一念改悔莫由頓沃于清涼。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法第四卷。假茲妙典罄我鄙誠。四卷功週少申回向。伏願火

城焰熄刀樹鋒摧。金地全彰微風動寶林之韻。鐵圍弗現甘露流碧沼之波。

五卷

切念(某)妄起三毒恣縱六根。觸惱之情既結而弗釋。怨恨之業愈增而不休。六道因之以循環。三途由之而沉墮。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法第五卷。假茲妙典罄我鄙誠。五卷功週少申回向。伏願(某)施報俱忘自他兩利。歡喜如初地同遊不諍之天。無碍若太虛共入真空之境。

六卷

切念(某)由貪嗔癡動身口意。出乎爾反乎爾。往復之勢必然。朝如斯夕如斯。報施之情何已。一事而懷終身之恨。片時而結萬世之冤。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法第六卷。假茲妙典罄我鄙誠。六卷功週少申回向。伏願(某)怨同霧釋疑若冰融。不二之門坦然共入。皈元之路廓爾同趨。

○出乎爾反乎爾

見孟子。

七卷

切念(某)欣逢大教時念聖恩。喜眾力以同修實非浪舉。發弘願于無盡乃暢本懷。感天恩而思酌。荷僂力而起敬。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法第七卷。假茲妙典罄我鄙誠。七卷功週少申回向。伏願(某)不虛一期之慶。堪報三寶之恩。悟法界性而本圓。永滅七情之漏。入金剛心而不壞。頓圓七覺之功。

○七情

群書拾唾曰。喜怒愛苦哀惡欲也。

○七覺

法界次第云。一擇法覺分。二精進覺分。三喜覺分。四除覺分。五捨覺分。六定覺分。七念覺分。

八卷

切念(某)處大造間居凡夫地。若修羅若魔屬咸沾覆護之功。若人道若龍神並荷陶成之德。倘非皈佛之忱。曷展報恩之勤。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法第八卷。假茲妙典罄我鄙誠。八卷功週少申回向。伏願(某)度業障海出塵勞鄉。八邪並銷剪盡參天之荊棘。八識俱破永亡滿眼之空花。

○八邪

補註云。一邪見。二邪思惟。三邪語。四邪業。五邪精進。六邪定。七邪念。八邪命。

○八識

宗鏡錄。一眼識。二耳識。三鼻識。四舌識。五身識。六意識。七末那識。八阿賴耶識。

○空花

見上。

九卷

切念(某)三途未可異觀。六道俱為一躰。無常迅速寧肯遲留。有為非堅豈容貪着。賴茲運力執勞之眾。克成修因感果之資。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法第九卷。假茲妙典罄我鄙誠。九卷功週

少申回向。伏願(某)除有漏網出無常坑。九結頓亡迥登解脫之域。九界不滯直取菩提之場。

○九結

阿毗達磨集論云。一愛結。二恚結。三慢結。四無明結。五見結。六取結。七疑結。八嫉結。九慳結。

○九界

見于上。

十卷

切念(某)忍苦披誠捍勞修懺。善根所集詎可局于一人。善願所弘必當廣為六道。且法化之流深恐或絕。則囑累之托何敢不誠。乃于今辰仗僧(代為亡某)修禮梁皇懺法第十卷。假茲妙典罄我鄙誠。十卷功週少申回向。伏願(某)修究竟之行。獲圓滿之功。十號俱彰克成無上之妙果。十身並顯廣度無邊之眾生。

○十號

見要覽。

○十身

華嚴教門指掌云。如來十身。一菩提身。二願身。三化身。四力持身。五相好莊嚴身。六威勢身。七意生身。八福德身。九法身。十智身。

禪林疏語考證卷之一

弭災門

春祈雨

元運方回巳際發生之候。春膏未沛莫施栽植之功。惟俟來蘇。敢忘虔禱。切念(某)等服勤東作効計西成。適逢青帝之司時。忽致旱魃之為虐。病綠悴漲波之麥。敗黃枯出水之秧。春耕之際如斯。秋稔之期何若。謹修梵典用懇聖慈。(入佛事)伏願風伯効靈。雨師供職。洒彌天之潤澤。沛然而施洋然而流。回易地之歡聲。憂者以樂病者以愈。

○來蘇

尚書曰。徯予后。后來其蘇。註蘇復生也。

○東作西成

尚書註。東作者。春月歲功方興。所當作起之事也。西成者。秋月物成之時。所當成就之事也。

○青帝

見上。

○旱魃

詩雲漢曰。旱既大甚。滌滌山川旱魃為虐。註。魃旱神也。

○風伯雨師

風俗通云。周禮以柳燎祀風師。風師者箕星也。箕主簸揚能致風氣。又以檮燎祀雨師。雨師者畢星也。詩曰。月離于畢俾滂沱矣。註。離月所宿也。畢星名。月離畢。將雨之驗也。

○沛然

孟子註。雨盛貌。

○洋然

謂盛大貌。

○憂者樂病者愈

見子瞻喜雨亭記。

夏祈雨

日熾朱光孰禦流金之苦。田焦青稼將無炊玉之期。仰禱獅臺。願憐蟻困。切念(某)等衡茅苟活稼穡知艱。欣然畢力于春耕。忽爾驚心于夏旱。維禾穞穞漸悴豳野之黃。彼黍離離將稿周原之白。至所極矣。何苦如之。謹率群氓特皈三寶。(入佛事)伏願起蛟龍之蟄。震雷電之威。沛然下。洋然流。撲滅紅爐之焰。出而作。入而息。挽回綠野之和。

○流金

莊子曰。大旱。金石流。土山焦。

○炊玉

戰國策曰。蘇秦之楚三日乃得見王曰。楚國之食貴於玉。薪貴於桂。今使臣食玉炊桂。山谷詩。張侯窘炊玉。僦屋得空墟。

○蟻困

見上。

○維禾穞穞豳野之黃

詩生民曰。禾役穉穉。註穉穉苗美好之貌也。又曰。萑厥豐草種之黃茂。註黃茂嘉穀也。又豳風題註。豳國名。在禹貢雍州岐山之北。原隰之野。公劉能復修后稷之業。民以富。實乃相土地之宜而立國於豳之谷焉。

○彼黍離離周原之白

詩黍離註離離垂貌。詩綿曰。周原膴膴。註周地名。在岐山之南。廣平曰原。膴膴肥美貌。

○蛟龍之蟄

易係辭曰。龍蛇之蟄所以存身也。

○雷電之威

杜詩。蜂蠆終懷毒。雷電可震威。

○沛然洋然

見上。

○撲滅

書盤庚曰。若火之燎于原。不可嚮邇。其猶可撲滅。

○出而作入而息

見上。

秋祈雨

農夫望稔喜逢秋月之臨。旱魃為殃憂甚春冰之履。俯殫愚悃。仰禱聖慈。切念(某)等禹甸謀生周原活計。豈意收成之候。尚餘炎赫之威。雲屏屏兮風使之醜。日皜皜兮雨無以至。則種稻翻成畫餅。

而療饑那可蒸沙。乃籲覺皇。敬陳佛事。(入佛事)伏願傾甘露泉。注大悲水。油然作。沛然下。飛揚銀竹之沾濡。耕者悅。憂者欣。醞釀金穰之嘉瑞。

○旱魃

見上。

○春水

書君牙曰。心之憂危。若蹈虎尾。涉于春水。註若涉春水畏其陷也。

○禹甸

毛詩曰。信彼南山維禹甸之。註甸治也。

○周原

見上。

○雲屏屏

楚辭後語曰。風伯之怒兮誰使。雲屏屏兮吹使醜之。

○日皜皜

孟子曰。秋陽以暴之。皜皜乎不可尚已。

○畫餅

魏紀明帝詔盧毓曰。選舉莫取有名士。如畫地為餅不可啖食。

○蒸沙

稜嚴云。若不斷姪修禪定者。如蒸沙石欲其成飯。經千百劫只名熱沙。

○油然作沛然下

孟子曰。天油然作雲。沛然下雨。

○銀竹

李白詩。白雨映寒山。森森似銀竹。

○沾濡

樂天詩。風雲皆會合。雨露各沾濡。

○醞釀

淮南本經曰。斟酌萬殊。旁薄眾宜。以相嘔咐醞釀而成育群生。

得雨小再祈

畜雲西密不堪惜雨之憂。微雨東來僅應望雲之禱。再陳蟻困。共徯鴻私。切念(某)等處彼衡茅務茲稼穡。奈爾蒼天瘖我以旱。俾之赤地維眾之憂。雖感而遂通已得浥塵之喜。然旱之云久必需破塊之恩。謹摠再瀆之誠。用希三尊之聽。(入佛事)伏願震霹靂雷域中驚起龍眠之蟄。俾滂沱雨天下沾濡龜坼之疇。既渥既優。乃慰乃止。

○畜雲西密

易曰。小畜亨。密雲不雨。自我西郊。傳。雲陰陽之氣。二氣交而和則相畜固而成雨。陽倡而陰和順也故和。若陰先陽倡不順也故不和。不和則不能成雨。雲之畜聚雖密而不成雨者。自西郊故也。東北陽方。西南陰方。自陰倡故不和而不能成雨。

○望雲

孟子曰。若大旱之望雲霓。

○蟻悃

見上。

○瘖我以旱

詩雲漢曰。胡寧瘖我以旱。註瘖病也。

○破塊

監鉄論曰。太平之時雨不破塊。旬而一雨必以夜。

○再瀆

見上。

○霹靂

郭璞曰。雷之急激者曰霹靂。

○龍蟄○滂沱○沾濡

並見上。

○龜坼

謂土乾裂如龜紋也。

○既渥既優

見詩信南山。

謝雨

伏念旱之云甚如遭坐甑之炊。感而遂通隨沐傾盆之澤。回焦枯于生育。轉愁歎于謳歌。俯殫蟻報之誠。仰答鴻休之賜。(人佛事伏願)三日以往為霖雨已知至至之深恩。五穀皆熟曰有年尚冀終終之厚惠。

○坐甑

諱文曰。自從五月困暑溫。如坐深甑遭蒸炊。

○蟻報

見上。

○霖雨

書說命曰。若歲大旱。用汝作霖雨。

○有年

左宣十六年冬大有年。

○終終

律曆志曰。天終數九。地終數十。合終終以紀閏餘。

又

伏念嘆其乾矣苦憂心之如熏。雨以潤之喜應聲之若響。田隴有收成之望。郊原見春色之回。雖大聖不自以為功。而下情敢忘于酌德。乃陳象教用昭蟻誠。(入佛事)既沾既足既優既渥且沐前恩。實發實秀實好實堅尚祈後獲。

○嘆其乾矣

毛詩曰。中谷有蓷嘆其乾矣。註嘆燥也。

○憂心如熏

詩雲漢曰。我心憚暑。憂心如熏。註熏灼也。

○象教○蟻誠

並見上。

○既沾既足既優既渥

見詩信南山。

○實發實秀實好實堅

見詩生民。

祈晴

淫雨謂之霖實妨農務慧。日破諸暗庸叩佛慈。陳象教以歸依。冀烏輪之助耀。切念(某)等樂歲止期于田稼。兼旬奈苦于簷花。夜息蓬居厭聽滴堦之韻。朝耕禾隴忍觀衝岸之流。可勝大過之憂。爰啟中孚之信。(入佛事)伏願縱諸陽閉諸陰暫補蒼天之漏。宣其光豁其翳融為易地之和。

○象教

見上。

○樂歲

孟子曰。樂歲終身飽。

○簷花

杜甫醉時歌曰。灯前細雨簷花落。又古文大全曰。微雨簷溜成花而落。杜詩千家註。趙云。近乎簷邊之花也。劉邈詩。簷花初照月。學者多以簷雨之細如花。遂為簷雨之名。非也。

○大過

易大過卦。本義曰。大陽四陽居中過盛故為大過。

○中孚

易中孚卦。中孚豚魚吉。利涉大川。利貞。傳豚噪魚冥物之難感者也。孚信能感於豚魚則無不至矣。所以吉也。忠信可以蹈水火。況涉川乎。守信之道在堅正。故利於貞也。

○縱諸陽閉諸陰

董仲舒傳曰。仲舒推陰陽所錯行。故止雨閉諸陰縱諸陽。求雨反是。註師古曰。若閉南門禁舉火。及開北門水洒人之類也。

○蒼天之漏

朱子語類曰。如蜀有漏天。以其西北陰盛。常雨如天之漏也。故杜詩鼓角漏天東。後人不曉其義。

秋祈晴

雲稼浮黃喜有收成之侯。雨花垂白乃無休息之時。爰攄丹衷。敬呈白楮。切念(某)等銀竹增愁。簷花作妬。淚滴翻雲之黑奚啻十寒。眼穿披霧之青難希一暴。穀垂成而轉壞。蔬向瘁而難榮。欲回大造之權。必假大雄之力。(入佛事)伏願鼓動釋風掃彼昏蒙之翳。升騰慧日暢為清淨之光。

○銀竹○簷花

並見上。

○十寒一暴

孟子曰。雖有天下易生之物也。一日暴之十日寒之。未有能生者。註暴溫之也。

○披霧

晉衛瓘見樂廣。奇之命子弟造焉曰。此人若冰壺。見之瑩然。若披雲霧而覩青天。

○向瘁難榮

班孟堅賓戲曰。朝為榮華夕而焦瘁。

謝晴

雨霖霑而為害。小民惟日怨咨。日荏苒以騰晶。我佛不可思議。萬物荷當天之炤。群生瞻特地之明。如是蒙恩云何報德。(入佛事)伏願有始則有其終。自此三登而樂歲。無過亦無不及。繼茲庶徵以若時。

○荏苒

見上。

○三登

前食貨志曰。三考黜陟餘三年食。進業曰登。再登曰平。餘六年食。三登曰泰平。二十七歲遺九年食。然後王德流洽禮樂成焉。

迎神保苗

不稂不莠雖資坤元之功。實方實苞尤藉聖庇之力。仰投皇覺。俯瀝丹誠。切念(某)等珍米如珠。以稼為寶。出入云為之際實切知艱。耘鋤播植之間且忘助長。於焉從事舍是何求。然非悃禱於先時。安得萬千于後日。(入佛事)伏願夢魚應兆。覆斗呈祥。事于西疇俾得萬農之地利。安彼南畝永無一點之天災。

○不稂不莠

詩大田曰。不稂不莠。註稂童梁莠似苗。皆害苗之草也。

○實方實苞

詩生民曰。實方實苞。註方房也。苞甲而未拆也。

○云為

易係辭曰。變化云為。吉事有祥。

○助長

見孟子。

○夢魚

詩無羊曰。牧人乃夢。眾維魚矣。旃維旃矣。大人占之。眾維魚矣。實維豐年。旃維旃矣。室家溱溱。

○覆斗

晉天文志曰。斗覆歲穰。

○西疇

見歸去來辭。

○南畝

見詩七月。

禳蝗蟲

稼穡將成忽致蝗螟之害。鼓桴有應庸申螻蟻之誠。祛彼蠹戕。俾之堅好。切念(某)等貴五穀于貴金玉。護寸苗如護圭璋。豈期育秀之時。忽致戕生之害。傷稼曰蝻。傷葉曰蝻。慘如木蠹之傷。食心曰螟。食根曰蝗。酷似桑蠶之食。至斯極矣。孰能禦之。乃禱覺皇

敬修梵典。(入佛事)伏願驅之境外掃之域中。寧食吾肺腸何待唐宗之祝。無害我田穰冀歌周室之詩。

○鼓桴有應

前漢李尋傳曰。猶抱鼓之相應也。

○螻蟻之誠○堅好

並見上。

○貴五穀

前食貨志曰。是故明君貴五穀而賤金玉。

○伐生

齊桓公曰。吾欲藉于樹木。管子即對曰此伐生也。吾欲藉于六畜。管子對曰此殺生。

○唐宗之祝

唐貞觀間京畿旱蝗食稼。太宗在苑中掇蝗吞之曰。但當食朕無害百姓。是歲蝗不為患。

○周室之詩

詩大田曰。去其螟螣。及其蠹賊。無害我田穰田祖。有神秉卑炎火。

禳火

桑梓為鄰既失未然之慮。粉榆結社敢忘將熾之憂。率連壤以修齋。合一心而申禱。切念(某)等蟻聚而處。鱗次以居。載觀燎原之災。實驚赭室之禍。況火自家人之出。當效先知。而患宜君子之

防。且貽後慮。爰殫螻蟻之敬。用叩天人之師。(入佛事)伏願鑒我葵藿之悃。錫予蓬葦之休。乾澤混涵潛弭飛煙之烈燄。離明炤耀散為瑞日之祥光。

○禳火

左昭十八年曰。鄭子產使司馬司寇列居火道行火所燃。城下之人五列登城禳火于玄冥回祿。註玄冥水神。回祿火神也。

○桑梓

詩小弁曰。維桑與梓。必恭敬止。註桑梓二木。古者五畝之宅樹之墻下。以遺子孫。給蠶食具器用者也。

○粉榆○燎原

並見上。

○家人君子

易家人。象曰。風自火出。家人。君子以言有物而行有恒。傳正家之本在正其身。正身之道一言一動不可易也。君子觀風自火出之象。知事之由內而出。故所言必有物。所行必有恒也。

○螻蟻○葵藿○蓬葦

並見上。

又

居必求安實切徙薪之慮。患思豫杜庸申盈缶之孚。特卜剛辰。用遵大教。切念(某)等心炎益盛。欲熾彌張。近瞻熒惑之呈輝。深恐祝融之煽禍。載念積薪之上妄謂之安。因惟執爨之餘或發于密。爰

致鷲峰之禱。用陳鹿苑之科。(人佛事)伏願池魚無殃。社鳥斂跡。收赫赫煌煌之焰散作恩光。錫穰穰簡簡之休敷為陰隲。

○徙薪之慮

事文續集曰。初霍氏奢侈。茂陵徐福言其泰盛。三上書輒報罷。後霍氏誅滅。告者皆封。人為徐生上書曰。客有過主人者。見其竈直突傍有積薪。客曰。子為曲突遠徙其薪。不者且有大患。主人不應。俄其家失火。鄰里共救之。幸而得息。於是殺牛置酒謝其鄰人。灼爛者在於上行。而不錄言曲突者。或謂主人曰。鄉使聽客之言。不費牛酒終亡火患。今論功而請賓。曲突徙薪亡恩澤。焦頭爛額為上客耶。主人悞而請之。宣帝召福為郎。

○盈缶

見上。

○熒惑

前天文志曰。火星也。

○祝融

記月令曰。其神祝融。陳註顓頊氏之子。名黎。火官之臣。

○積薪

賈誼傳曰。厝火於積薪之下而寢其上。火未及然因謂之安。

○執爨

詩楚茨曰。執爨蹠蹠。註爨竈也。

○鷲峯

見名義。

○鹿苑

見要覽。

○池魚

事文續集。俗云城門失火殃及池魚。舊說宋城門失火。自汲取池中之水而空竭魚池也。

○赫煌

詩註赫赫高明顯盛白。煌煌大明白。

○穰簡

詩執競曰。降福穰穰。降福簡簡。註穰多也。簡大也。

○陰隲

書洪範曰。惟天陰隲下民。註隲定也。

火後還愿

祝融煽虐將見池魚之殃。皇覺垂慈載安廈燕之喜。董陳法務用報殊休。切念(某)寄跡塵寰置身火宅。頃以燭天之焰。遽彰徹地之光。飛廉加助虐之威殆將燬我。顯帝失救焚之力實切徹予。爰殫哀籲之誠。用叩慈悲之主。盟言方啟。烈燄隨消。萬間之庇難忘。一瓣之香敢後。(入佛事)伏願巍巍蓮座現月明水上之光。永永蓬居絕煙滅灰飛之幻。出入咸沾于優渥。鄉閭同賴其帡幪。

○祝融○池魚○廈燕

並見上。

○飛廉

風俗通曰。風伯也。

○顓頊

謂顓頊高陽氏黃帝孫也。以水德都帝丘。

○萬間之庇

見上。

○一瓣香

宋陳思道。字無已。號后山。詩曰。向來一瓣香。敬為曾南豐。

○巍巍

語註高大之貌。

○優渥○旻幪

並見上。

○哀籲之誠

見書召誥。

客中遇火後還愿

羈旅營謀方重浮萍之嘆。鬱攸震怒遽為行李之驚。雖厘撲滅之勞。爰致籲呼之請。感德迄安于廈屋。酌恩寧愧于魯臯。謹竭方寸之心。少效銖銜之報。(入佛事)伏願玄冥效職。熒惑潛輝。思患預防常願滅未然之禍。遇災知懼尚冀建方至之休。

○浮萍

王勃滕王閣序曰。萍水相逢盡是他鄉之客名文殊璣註曰。浮萍與水相逢。皆是奔走他鄉名利客也。

○鬱攸

左註火氣也。

○行李

左傳曰。亦不使一介行李告于寡君。註行李行人也。

○撲滅

見上。

○魯臯

左哀二十一年及齊侯盟于顧。齊人責稽首。因歌曰。魯人之臯數年。不覺使我高蹈。

○方寸心

見上。

○銖銜

禮記曰。分國如銜銖。註八兩為銜銖。權分十黍之重也。

○玄冥○熒惑

並見上。

禳瘟

瘴疫風行實切粉榆之慮。精誠露布敢仗苾芻之虔。恭禱對大覺之皇皇。謹修竭小心之翼翼。切念(某)等莫非橫目之民。孰是檢身之

士。近觀六沴之害。實厪群氓之夏。寡過未能恐取皇穹之譴。作孽難追懼增黑簿之愆。欲謝罪于瘟司。特投誠於聖典。(人佛事)伏願轉哭聲為歌韻。化疫氣為祥風。一曰壽。二曰福。三曰寧。均賴箕疇之敷錫。十為連。五為比。四為族。相安周井之優游。

○粉榆○苾荔

並見上。

○小心

詩大明曰。維此文王小心翼翼。註翼翼敬也。

○橫目民

莊子曰。苑風曰夫子無意于橫目之民乎。

○檢身

書伊訓曰。居上克明。為下克忠。與人不求備。檢身若不及。

○六沴

前孔光傳曰。六沴之作。註師古曰。沴惡氣也。音戾。

○寡過未能

見語憲問。

○皇穹寡婦賦曰。仰皇穹兮嘆息。註天也○作孽難追

見書太甲。

○黑簿

智論云。善惡業名黑白。經論諸說云。焰羅王記罪人之善惡業。有善業者載金札。有惡業者書鉄簿。

○壽福寧

見上。

○連比族

周禮曰。十國曰連。連有帥。五家為比。四閭為族。

一家禳瘟

瘴癘札瘥而為患。不勝切己之憂。戒謹恐懼在乎心。毋致噬臍之悔。仰塵紺目。俯罄丹衷。切念(某)鴻毛微命螢燭末光。言輕則辱行薄則辜。不念厥德。善小弗為。惡小弗去。速戾于躬。近觀疫氣之流行益甚。予心之戰兢。實懼延蔓。思趁徹桑。敬修釋典之科。冀脫瘟司之籍。(入佛事)伏願感之斯通宥其有過。一門協慶常安五運之和。四氣恒調永消六沴之禍。

○札瘥

左杜預註曰。夭死曰札。小疫曰瘥。

○戒謹恐懼

見中庸。

○噬臍

左莊六年三甥曰。亡鄧國者此人也。若不早圖。後君噬臍。註若齧腹臍。喻不可及。

○鴻毛

司馬遷傳曰。人固有一死。死有重于泰山或有輕于鴻毛。

○速戾于躬○戰兢○徹桑○六沴

並見上。

禳牛瘟

日觀牛疫孰勝南畝之耕。露布蟻誠爰薦西郊之禴。秉念小人之力穡。實資大武以施功。其可舍諸足以用矣。豈意札瘥之癘。甚於穀觶之憂漢京之喘。恐有所傷。齊堂之死若無其罪。謹仗緇衲特懇皇慈。(入佛事)伏願推其乾覆之恩。錫爾坤為之類。不災不害。縱情于草野之間或寢所訛。肆意于桃林之下俾之茁壯。助我耕鋤。

○南畝○蟻誠○西郊之禴○札瘥

並見上。

○穀觶之憂

孟子曰。齊宣王坐於堂上。有牽牛而過堂下者。王見之曰牛何之。對曰將以釁鐘。王曰舍之。吾不忍其觶觶若無罪而就死地。對曰然則廢釁鐘與。曰何可廢也以羊易之。

○漢京之喘

前漢丙吉。宣帝時為丞相。出逢人逐牛。牛喘吐舌。吉駐車使吏問逐牛者曰牛行幾里矣。或譏言道中群鬪死者前後失問。吉曰。方春少陽用事未可大熱。今牛而喘必熱盛矣。恐有傷害。宰相興。調陰陽。職當夏。故問之。

○齊堂之死

見前。

○或寢或訛

詩無羊曰。或降于阿。或飲于池。或寢或訛。註訛動也。

○桃林之下

書武成曰。放牛于桃林之野。示天下弗服。

保痼病

厥疾弗瘳實切一家之慮。唯佛普應能消六沴之災。乃殫微誠。特申懇禱。切念(某)頃以泡影之身。遽染札瘥之氣。辯明傳變孰為仲景之良醫。診視浮沉誰是叔和之妙手。豈曰天殃之致是。實關人事之有虧。既增黑簿之愆。宜取皇穹之譴。乃瀝心而陳懇。特請命以祈恩。(入佛事)伏願拯危急于膏肓。散冲和于經絡。赦其萬死毋煩起死之良方。賜以再生允賴好生之厚德。

○六沴

見上。

○泡影

見金剛經。

○札瘥

見上。

○仲景

張機。字仲景。東漢南陽人。作傷寒論。醫方大備。扁鵲倉公無以加焉。後世稱為醫聖。

○叔和

王叔和。西晉高平人。為大醫令。性度沉靜博通經史。精研醫道洞識修養。

○黑簿○皇穹

見上。

○危急

文選註。向曰危傾急迫也。

○膏肓

左成十年曰。晉公疾病求醫於秦。秦伯使醫緩為之。未至。公夢疾為二豎子曰。彼良醫也。懼傷我。我焉逃之。其一曰。居盲之上膏之下。若我何。醫至曰。疾不可為也。

○冲和

列子曰。輕清者上為天。重濁者下為地。冲和氣者為人。註陽氣輕清而上為天。陰氣濁重而下為地。陰陽之氣和合而為人。冲亦和也。

○經絡

前藝文志曰。醫經者。原人之血脉經絡骨髓陰陽表裡。起百病之本死生之分。又五臟六府有十二經十五絡。

祈恩門

祈嗣

寂而能應恭祈降岳之祥。感則必通願賜禱尼之吉。特陳象教。用冀鴻恩。切念(某)同妻(某)琴瑟久諧熊羆未夢。二親血脉毋容遽斬于我身。百世明禳詎忍頓捐於今日。必宿愆之作障。故生兆之未形。爰致凡夫之小心。特投我佛之大願。(入功德立願)伏願鸞鷲來翔圭璋載弄。紹宗不替頓消伯道之憂。當戶有光冀釀燕山之慶。

○降岳

毛詩曰。崧高維嶽。駿極于天。維嶽降神。生甫及申。維申及甫。維周之翰。四國于蕃。四方于宣。

○禱尼

史記曰。徵在禱于尼丘山而生孔子。

○象教

見上。

○熊羆

詩斯干曰。乃寢乃興。乃占我夢。吉夢維何。維熊維羆。維虺維蛇。大人占之。維熊維羆。男子之祥。維虺維蛇。女子之祥。

○明禋

書洛誥註。明潔禋祀也。

○鸞鷟

說文曰。鳳屬神鳥也。

○圭璋

詩斯干曰。乃生男子。載寢之牀。載衣之裳。載弄之璋。其泣喤喤。

○伯道

晉鄧攸。字伯道。為河東太守。沒于石勒。乃斫壞車以牛馬負妻子而逃。又遇賊掠其牛馬。步走擔其兒及其弟子。綏度不能兩全。乃謂妻曰。吾弟早亡。惟有一息。理不可絕止。應自弃我兒耳。幸而

得存我。後當有子。妻泣而從之。乃棄己子。後卒以無嗣。時人義而哀之曰。天道無知。使鄧伯道無兒。

○燕山

見上。

○琴瑟久諧

見下產後得男之註。

得嗣還願

熊羆未兆昔立祈恩之盟。弧矢方懸今修報德之典。克恭克敬誠忭誠歡。切念(某)同室(某)愆重如山德輕似翼。未見一索男之喜。深厪三不孝之憂。唯我佛垂悲能滿二求之願。故下凡有禱遂叨一子之恩。用踐宿盟。特酌萬庇。(入佛事)伏願蘭桂聯芳螽斯衍慶。既生既育玉枝之汗永收。俾壽俾昌金鎖之憂無阻。

○熊羆○弧矢

並見上。

○一索男

易說卦曰。震一索而得男。故謂長男。巽一索而得女。故謂之長女。

○三不孝

孟子曰。不孝有三。無後為大。註趙氏曰。於禮有不孝者三事。謂阿意曲從陷親不義一也。家貧親老不為祿仕二也。不娶無子絕先祖祀三也。三者之中無後為大。

○二求

成實論云。一得求。謂諸眾生欲得諸樂隨意求取。雖經險難不以為苦。如海吞流心無厭足。是名得求。二命求。謂諸眾生取樂生愛。不能如實觀察樂是苦因。反求長命受此諸樂。是名命求。

○蠡斯

毛詩曰。蠡斯羽詵詵兮。宜爾子孫振振兮。註蠡斯。蝗屬。一生九十九子。

○玉枝

前漢武帝紀。帝得西那國玉枝以賜近臣年高者云。病則枝汗。死則枝折。老聃得之七百年不汗。偃佺得之三千年不折。

○金鎖

智度論云。譬在囹圄桎梏所拘。雖復蒙赦更繫金鎖。人為愛繫如在囹圄。雖得出家更著禁戒如繫金鎖。

保胎

生育未形實切家人之慮。禱祈有應能消無妄之災。謹露章以陳情。恭演梵而請福。切念(某)孕妻(某)繫蘋賤質蒲柳微軀。將臨臥蓐之期。深軫徹桑之念。熊羆應夢且居猶豫之中。蛇虺呈祥亦在狐疑之域。惟冀保安之二字。敢忘致敬于三尊。(入佛事或立愿)伏願妻(某)臨盆有慶坐草無虞。瑞應掌珠俾作充閭之喜。芳開庭桂尚幾就館之寧。

○家人

易家人卦。家人利女貞。傳。家人之道利在女正。女正則家道正矣。

○無妄

見上。

○蒲柳

世說。顧愷之與簡文全年而髮早白。問其故。答曰。松柏之姿經冬愈茂。蒲柳之質望秋先零。

○徹桑○熊羆

並見上。

○猶豫

爾雅曰。猶獸名。形如[麀-土+盲]。善登木。性多疑慮。常居山中。忽聞有聲。即恐且來害之。每豫上樹。久之無人然後敢下。須與又上。如此非一。故今不決者稱猶豫焉。

○蛇虺

見上。

○狐疑

漢書文帝紀。註曰。狐之為獸。其性多疑。每渡冰河且聽且渡。故曰疑者稱狐疑。

○掌珠

杜寄漢中王詩曰。掌中探見一珠新。註馬梵賀人有子曰欣得掌中之玉。

○充閭

晉賈充始生。父言後當有充閭之慶。故以為名存焉。註古今之顯貴者。賓客填門充滿屋閭。言他日亦當如此。後果西晉武帝時為司空。封魯公。

○就館

記內則曰。妻將生子及月辰就側室。

產後得男還愿

熊羆在夢冀襁荊室之災。蟻蛭酌恩庸格覺皇之聽。切念(某)妻(某)質之甚弱命乃多迍。頃因誕月之降祥。實切履冰之加慮。璋期載弄莫安在寢之心。珠欲重擎未入捧觀之掌。特徼大聖之福。冀保小君之安。既荷新恩。敢忘宿誓。(入還愿佛事)伏願琴瑟韻調。桂蘭香遠。喜見克家之慶曰壽曰康。庶幾當戶之能俾昌俾熾。

○熊羆

見上。

○荊室

謂自稱妻曰荊室。

○蟻蛭

見上。

○履冰

詩小旻曰。戰戰兢兢。如臨深淵如履薄冰。

○璋期載弄

見上。

○琴瑟韻調

夫婦和曰琴瑟調。詩棠棣曰。妻子好合。如鼓瑟琴。

○桂蘭

謂稱人子曰桂蘭。事見上。

○克家

易蒙九二子克家。象曰。子克家。剛柔接也。

○當戶

晉李密表。內無應門五尺之童。註應當也。內無應當門戶五尺之童子。

產後生女還愿

昔孕棠花之夢爰叩覺皇。今申芹草之誠敬修梵典。切念(某)妻(某)頃以大期之至。深惟一己之憂。雖巽得女震得男各由造化。而乾稱父坤稱母曲遂生成。乃齋沐而立盟。果誕生之廸吉。爰陳象教。特謝鴻私。(入還愿事)伏願雲祉攸隆露恩永渥。載生載育既已諧家室之歡。以長以成願早遂閨門之秀。

○棠花之夢

見下附錄。

○芹草之誠○巽得女震得男

並見上。

○乾稱父坤稱母

見易說卦傳。

○廸吉○象教

並見上。

○載生載育

見詩生民。

○家室

見詩桃夭。

○閨門之秀

晉張玄。妹有才質。適顧氏。玄每稱以敵王凝之妻謝道韞。濟泥曰。王夫人神情散朗。故有林下風氣。顧家婦清新玉映。自是閨房之秀。註王夫人道韞也。顧家婦張玄妹也。

嬰兒祈安(寄姓立愿等通用)

爰鍾孺子先厪困蒙之憂。誠禱覺皇預消無妄之疾。恭陳尺楮。用白寸衷。切念(某)同妻(某)德不前人。事常先慮。幸得弄璋之慶。私期跨竈之能。然襁褓弗寧深恐五行有尅傷之咎。乳哺多窒切憂三命有形戰之災。爰軫徹桑之謀。特輸向日之悃。是以(入佛事)伏願愍其弱質衛其微生。命運無屯常逢無量壽佛。福基永固恒值熾盛光王。允為幹蠱之休。大作盈門之慶。

○孺子

書洛誥註。稚子也。

○困蒙

易蒙六四困蒙吝。象曰。困蒙之吝。獨遠實也。

○無妄○弄璋

並見上。

○跨竈

謂子過於父為跨竈。吳崇賀人生子云。寄語王渾防跨竈。阿戎清賞祇須臾。或云竈上有釜。故子過於父為跨竈。註釜與父音相同。借以為言也。

○襁褓

說文曰。小兒衣也。

○徹桑○向日

並見上。

○幹蠱

易蠱初六。幹父之蠱。有子考。無咎。厲終吉。九二。幹母之蠱。不可貞。

祈入學立愿

切念(某)草茅賤品佔畢寒儒。黃卷功勤未與明倫之列。青雲志切思為發軔之圖。茲當考案方臨試期在邇。虔備儀物。恭詣(某處某座下)告許(某愿)。伏願文炫五雲之彩。思涌萬派之波。瑞映黉宮功幸收于魯籍。光浮泮水名早著于周庠。

○佔畢

學記曰。今之教者。呻其佔畢多其訊。註佔視也。畢簡也。言今之教人但吟諷其所佔視之簡牘。不能通其蘊奧也。

○黃卷

遯齋閑覽曰。古人寫書皆用黃紙。以麩染之。所以辟蠹也。故謂之黃卷。

○青雲志

見滕王閣序。

○發軔

謂軔音忍。礙車輪之木也。去軔。輪動而車行。故凡初為則曰發軔。見楚辭。

○黌宮

謂黌音橫。學舍也。

○魯籍

謂籍音寂。簿書也。

○泮水

詩泮水曰。思樂泮水。註泮水。泮宮之水也。諸侯之學。鄉射之宮。謂之泮宮。其東西南方有水形如半璧。以其半於辟癰。故曰泮水。

○周庠

有虞及周之學名也。記王制曰。有虞氏養國老於上庠。孟子曰。周曰庠。

入學還愿

伏以榮被蓬門已作鵬程之發軔。光昭泮水冀為翰苑之先聲。乃竭蟻誠。用答鴻庇。切念(某)業專挾筴技習雕蟲。苦志鷄窓思與青錢之選。皈心猊座遂點黌序之班。弗敢久負于前盟。是用俯陳其下悃。(入還愿佛事)伏願蜚聲藝苑奮跡文場。幸作賓于主家觀光上國。喜登名于仕籍鼓翼天衢。

○蓬門

見上。

○鵬程

莊子曰。北冥有魚。其名為鯤。化而為鳥。其名為鵬。鵬之背不知其幾千里也。海運則將徙於南冥。

○發軔○泮水○蟻誠

並見上。

○挾筴

莊子曰。臧與穀二人相與牧羊而俱亡其羊。問臧奚事。則挾筴讀書。問穀奚事。則博塞以遊。註挾筴即執卷也。

○雕蟲

楊子法言曰。或問吾子好賦。曰然。童子雕蟲篆刻。俄而曰壯夫不為也。

○雞窓

幽冥錄曰。晉袁州刺史沛國宋處宗。買一長鳴雞。愛養甚至。常著窓間。後雞作人語。與處宗談論極有言說終日不輟。處宗因此功業大進。

○青錢

張鷟。字文成。高宗朝人以制舉皆中甲。科員半千。稱其文猶青銅錢。萬選萬中。時謂青錢學士。

○觀光

易觀六四。觀國之光。利用賓于王。

○天衢

郭有道碑文曰。將蹈鴻崖之遐跡。紹巢許之絕軌。翔區外以舒翼。超天衢以高峙。

秋科立愿

秋風初發正屬馮風之期。秋桂將芳喜懷折桂之想。願試場之有慶。冀聖力以加祥。切念(某)幼專魯誥。長濫周庠。困守雞窓屢屈登雲之志。苦摩蠹簡幾興奪錦之思。茲者奮翼時臨著鞭日邇。不憊萬間之庇。安收三戰之功。(入立願)伏願筆絢五雲之彩。思流萬斛之波。虎榜墨新喜作南閩之魁首。蟾宮香發快沾北闕之恩榮。更祈出途收利即次無虞。往返俱亨身心並泰。

○折桂

晉郗詵舉賢能射策為天下第一。武帝問。卿才何如。詵曰猶桂林一枝崑山片玉。註桂枝崑山猶如言士林中一耳。陳元老及第詩。桃花先透三層浪。月桂高攀第一枝。

○魯誥

謂誥告也。告上曰告。發下曰誥。周書五誥。古者上下有誥。

○周庠○雞窓

並見上。

○蠹簡

謂蠹木中虫也。又書中蠹魚。韓退之詩。豈殊蠹書虫。生死文字間。簡牒。詩小雅曰。畏此簡書。

○奪錦

唐武后遊龍門命群臣賦詩。先成者賜錦袍。東方虬詩先成。設拜賜坐未安。宋之間詩成。文理兼美。左右莫不稱善。乃就奪錦袍衣之。

○奮翼

馮異。字公孫。佐漢光武中興。蕪蕪亭上豆粥。至南宮復進麥飯。破赤眉。帝降璽書勞之曰。始雖垂翅回溪。終能奮翼澗池。可謂失之東隅収之桑榆。

○著鞭

東晉劉琨與祖逖為友。與親故書曰。吾枕戈待旦志梟逆虜。常恐祖先生先吾著鞭。

○萬間之庇

見上。

○五雲之彩

江淹。字文通。少時夢人授以五色筆。自是文藻日新。

○萬斛之波

東坡曰。吾之文如萬斛泉源。不擇地而出。

○虎榜

唐書歐陽詹。字行周。舉進士。與韓愈李絳崔群王涯馮宿庾承宣聯名登第。皆天下選。時稱龍虎榜。

○南閩

周禮注疏曰。八蠻在南方。閩其別也。

○魁首

謂凡為首者皆曰魁。

○蟾宮

謂及第之[廿/宋]比步蟾宮。張衡靈憲序。月者陰宗之精。積而為獸。象兔陰之類。其數偶。其後有窮后羿請不死之藥於西王母。其妻嫦娥竊以奔月。是為蟾蜍。又古送赴省。嫦娥剪就綠羅袍待來步蟾宮與換。

○北闕

漢高帝紀。蕭何治未央宮。立東闕北闕前殿。注未央宮雖南向。而上奏事謁見之徒皆謁北闕。是以北闕為正門。

秋捷還愿

喜辱賢書全藉聖慈之力。肅修梵典庶昭愚悃之衷。乃仗緇袍特申素楮。切念(某)試期在邇場事當行。脫穎青衿須賴夢中之糊眼。奮身白屋必憑暗裡之點頭。敬立良盟。特希慈庇。幸叨光于虎榜。敢忘報于獅臺。(人還愿佛事)伏願既搏秋風猶躍春浪。瓊林花發榮簪上苑之春。金榜墨鮮恩賜曲江之宴。

○青衿

毛詩曰。青青子衿。註青青純綠之色。父母俱存衣純以青。子。男子也。衿。領也。青衿者以青布作護領也。

○白屋

前漢書蕭望之傳曰。非周公相成王。躬吐握之禮。致白屋之意。注師古曰。白屋謂白盖之屋。以茅覆之。賤人所居。

○夢中糊眼○暗裡點頭

宋歐陽脩知貢舉考試卷。常覺坐後一朱衣人點頭。然後文入格。不爾則無復與考。始疑侍吏。及回視一無所見。因語同列三歎。嘗有句云。文章自古無憑據。惟願朱衣一點頭。又詩云。青夜夢中糊眼處。朱衣暗裡點頭時。

○虎榜

見上。

○瓊林

謂朝廷賜宴及第人謂瓊林宴。宋太平興國八年宋白等並賜及第賜宴。始就瓊林苑。後遂為定制。

○金榜

西京雜記曰。崔紹暴卒復生。見冥間列榜書人姓名。將相金榜。其次銀榜。州縣小官並是鉄榜。

○上林

上林賦註。良曰。上林苑名。

○曲江之宴

漢武帝造曲江池。其水西折。唐人上巳在曲江頭禊飲踏青。明皇封張九齡于此。號曲江公。後秀士登科賜宴於此。

春科立愿

赴試春官志取棘圍之捷。投誠秋禴思祈蓮座之恩。爰立良盟。用希慈鑑。切念(某)佔畢賤品樗櫟凡材。苦志螢光未達青雲之路。與名鶚薦幸叨丹桂之芳。尚希曜桃浪以飛騰。詎忍虛杏花之爛熳。乃仗緇流歸命皇覺。伏願楊文吐鳳李筆生花。金榜先登奚啻處囊之士。錦標首奪允稱入彀之英。更祈往返俱亨身心並泰。登途何慮即次無虞。

○春官

周禮云。春官宗伯掌禮。註春官卿。主邦禮。治天神地祇人鬼之事。和上下尊卑等。列春官於四時之序為長。故其官謂之宗伯。

○棘圍

通典云。選舉類禮部閱試之日。皆嚴設兵衛柙棘圍之以防假濫。註柙圍也。假濫假託泛濫。閱試之日用兵嚴衛以棘刺圍之。以防假才及濫入者。

○佔畢○樗櫟

並見上。

○螢光

晉車胤。字武子。南平人。恭勤不倦。博覽多通。家貧不常得油。夏月則練囊盛數十螢火以照書。以夜繼日。

○青雲之路

宋梁顥狀元及第。年八十二。謝啟云。皓首窮經少伏生之八歲。青雲得路多太公之二年。

○鶚薦

後禰衡始弱冠。孔融愛其才。上表薦之曰。鷲鳥累百不如一鶚。使衡立朝必有可觀。

○丹桂○桃浪

並見上。

○杏花

莊子曰。孔子遊淄澠之林。休坐杏壇之上讀書弦歌鼓琴。

○楊文吐鳳

後漢楊雄。字子雲。成帝時客有薦揚雄文似相如者。上召雄待詔承明之庭。還奏甘泉賦以勸。雄作甘泉賦成。夢吐白鳳。

○李筆生花

天寶遺事曰。李白少時夢筆頭生花。自是才思日進。

○金榜

見上。

○處囊之士

史平原君傳曰。平原君合從于楚。得食客十九人。毛遂自薦曰。臣得如錐之處囊中。乃脫穎而去。非特未見而已。

○錦標首奪

見上。

○入彀之英

唐太宗正觀中私幸端門。見進士綴行而出。喜曰。天下英雄入吾彀中矣。註。彀。張弓引備也。彀中猶言落圈套也。

登第還愿

杏苑春濃喜龍門之波煖。棘圍捷奏荷燕闕之寵新。昔藉鴻休。茲勤蟻報。切念(某)青燈志苦。黃卷功勤。矻矻暑寒豈垂涎于溫飽。孳孳晝夜思勵志于功名。幸沾鴈塔之光。悉屬猊臺之蔭。爰思報答。敢不精虔。(某)伏願帝恩益隆。臣職惟謹。青袍玉簡長環北極之尊。紫綬金魚永祝南山之壽。

○龍門

謂龍門以魚為喻也。龍門河水所下之口。在今絳州龍門縣。龍門水險不通。魚鼈之屬莫能上。江海大魚集龍門下者數千不得上。上即為龍。今士有被其容接者。名為登龍門。事見東漢李膺傳。

○棘圍○蟻報○黃卷

並見上。

○矻矻

文選李周翰註。勤作也。又軌範註健作。勞極白。

○溫飽

見孟子。

○孳孳

孟子註。勤勉之意。

○鴈塔

西域記。昔有比丘見雙雁飛翔。忽一雁投下自隕。眾曰此雁垂戒。宜旌彼德。于是[序-予+(((瞭-口)-小)-日+土)]鴈建塔。又古今詩話云。唐韋肇及第。偶於慈恩寺鴈塔題名。後人效之。遂成故事。

○紫綬

前百官表曰。丞相金印紫綬。註綬佩印之組也。

○金魚

唐書曰。高宗給五品已上隨身銀魚袋。以防召命之詐。出內必合之。三品以上金飾袋。垂拱中都督刺史始賜魚。天授二年改佩魚皆為龜。其後三品以上龜袋飾以金。四品以銀。五品以銅。中宗初罷龜袋。復給以魚。

○南山之壽

詩天保曰。如南山之壽。不騫不崩。

官員赴任祈安

帝恩方重敢憚跋涉之勞。臣職尤難實懷冰淵之慮。爇瓣香以致敬。露片楮以祈安。切念(某)叨登仕籍濫點臣班。既拜命以為榮。當俶裝而敢後。第恐舟車弗利盜賊方殷。猶慮風土各殊奸仇莫測。不懇聖慈之庇。安紓薄宦之憂。(入佛事)伏願客途無恙。官舍咸寧。常熙茂續之光毋忝厥職。快覩榮遷之命廣膺殊休。

○跋涉之勞

詩載馳曰。大夫跋涉。我心則憂。註草行曰跋。水行曰涉。

○冰淵之慮

見上。

○拜命

左莊十一年曰。拜命之辱。註謝辱厚命。

○俶裝

張平子思玄賦。簡元辰而俶裝。李善註曰。俶始也。

○無恙

神異經曰。北方有獸曰獐。獐恙也。黃帝殺之。由是人無憂疾。謂之無恙。

官員赴任祈安後還愿

仕途多險爰興利涉之思。聖力無方幸獲有常之吉。思酌慈廕。乃竭鄙誠。切念(某)觀光有愧。竊祿無能。萬里長途既切馳驅之懼。一朝顯命深懷踧踖之憂。乃立盟言果垂響應。思修昔年之款。爰罄今日之恭。(入佛事)伏願錫之大年介爾景福。如川方至。頻荷鳳勅之榮。如日斯升。快覩龍顏之喜。

○利涉之思

易曰。需。有孚光亨。貞吉。利涉大川。本義曰。需待也。以乾遇坎。乾健坎險。以剛遇險而不遽進以陷於險。待之義也。孚信之在中者也。

○觀光

見上。

○踧踖

語註。恭敬不寧之貌。

○響應

見過秦論。

○介爾景福○如川方至

並見毛詩。

○鳳勅之榮

鄴中記曰。石季龍與皇后在觀上。有詔書銜木鳳口中。放數百丈緋繩迴轉飛下。

○如日斯升

見詩天保。

○龍顏之喜

前漢高祖諱邦。字季沛。豐邑中陽里人。姓劉氏。母媪嘗息大澤之陂。夢與神遇。是時雷電晦冥。父太公往則見交龍於上。已而有娠。遂產高祖。隆準而龍顏也。

客商出外祈安

臥兩殮風圖取錐刀之利。望雲就日冀獬桴鼓之隨。謹涓穀辰。聿陳微悃。切念(某)耻為兔守。漫爾蠅營。斯邁斯征爰謀爰度。載念旅舍愁見侵侮之驚。抑念客舟恐致淪胥之苦。身之歷寒歷暑。貨之或滯或通。若非獬福于先難。何以成謀于後獲。(入佛事)伏願察翼翼之恭。垂皇皇之鑒。維車之運汎舟之役俱襲佳祥。垂橐而往載糶而歸得收微利。

○錐刀之利

左昭曰。錐刀之末將盡爭之。註錐刀之末至細。以喻細事。

○桴鼓○兔守

並見上。

○蠅營

毛詩曰。營營青蠅。註營營往來白。

○侵侮

曲禮曰。禮不踰節不侵侮。

○淪胥

詩小旻曰。如彼流泉。無淪胥以敗。註淪陷。胥相也。

○翼翼皇皇

見上。

○汎舟之役

左僖十三年。秦於是乎輸粟于晉。自雍及絳相繼命之曰。汎舟之役。註從渭水運入河汾。

○垂橐捆載

國語曰。諸侯之使垂橐而入。捆載而歸。註捆束也。

商歸還愿

利者義之和。爰致蠅營之利。誠者天之道。敢忘蟻報之誠。恭演梵儀。聿遵教法。切念(某)糊口四方置身千里。登途駕轍滔滔底足之津。濟渡浮舟汎汎回頭之岸。驚省人情之厚薄。間關世道之炎涼。莫敢或遑未知收濟。欲集客行之慶。唯憑聖庇之休。茲當返旆之時。庸致銜環之悃。(入佛事)伏願潤屋計成克家謀遂。行曰商坐曰賈咸無滯貨之憂。為者疾用者舒常有生財之道。

○蠅營○蟻報

並見上。

○糊口四方

左隱十一年鄭伯曰。寡人有弟名叔段不能和協。而使糊其口於四方。註使叔段寄食於四方之國。謂段元年奔共。

○間關

後漢荀彧傳論曰。荀君乃越河冀間關以從曹氏。註曰間關猶展轉也。

○返旆

左傳曰。令尹南轅返旆。註將返也。

○銜環

見上。

○潤屋

大學曰。富潤屋。德潤身。

○克家

見上。

○商賈

白虎通曰。居賣曰賈。通物曰商。

○為者疾用者舒○生財之道

並見大學。

商遇風浪後還愿

浮江無際淪胥可嘆于客舟。法海有緣登躋得乘于道筏。謹涓穀旦。爰報洪恩。切念某計切肯堂。謀深潤屋。比逐蠅頭之利。忽驚鯨浪之憂。眇眇幻軀幾葬江魚之腹。盈盈重貨將傾蛟冗之淵。爰叩調御之尊。遂免漂淪之苦。其恩希有。於意云何。(入佛事)伏願利源洋溢。福海淵淳。出入隨所之永遇妙吉祥之庇。交易得其所偕逢歡喜藏之休。

○淪胥○穀旦○肯堂○潤屋

並見上。

○眇眇

史武本紀曰。朕以眇眇之身承至尊。兢兢焉懼勿任。

○江魚之腹

見屈原漁父辭。

○洋溢

見中庸。

又(飯遇風浪)

飛廉漲波上之風曾申祈憫。我佛現水中之月立遂感通。乃露丹誠。用酌洪庇。切念(某)草茅賤品萍梗浮蹤。還歸比涉于長江。漂墮如居于巨海。號風戰雨激為恩地之雷。沃日吞雲翻作迷天之雪。欲脫龍淵之難。爰呼倪座之尊。果藉洪慈。即徼迪吉。將希草結乃效葵傾。(入佛事)伏願錢流地上。貨衍日中。玉積珠盈自見門庭之成市。川增雲委何須壟斷之頻登。

○飛廉○迪吉○草結○葵傾

並見上。

○錢流地上

前貸食傳曰。故貨寶於金。利於刀。流於泉。註如淳曰。名錢為刀者。以其利於民也。又流行如泉也。

○貨衍日中

易係辭曰。日中為市。致天下民。聚天下之貨。交易而退。各得其所。

○壟斷

孟子曰。有賤丈夫焉必求壟斷而登之。以左右望而罔市利。註左右望者欲得此而又取彼也。罔謂罔羅取之也。

妻為夫作商不歸立愿

念彼橐砧久作無依之旅。惟茲荆闥敬殫有感之誠。特立良盟。恭演梵務。切念夫主(某)計鷓夷利。為子長遊。日邁月征莫悉鴻鱗之寄。風殮雨臥可勝蠶足之勞。彼在天之涯。此居地之角。未得旋車之喜。徒深舉案之思。稽首祈恩志心歸命。(入佛事)伏願夫(某)動淵明松菊之懷。興張翰蓴鱸之念。不留不處行休轍迹之間關。言旋言歸得致刀頭之盟信。

○橐砧

古樂府云。橐砧今何在。山上更有山。註橐砧喻夫。問夫何在山上。又山乃出字。言夫出外也。

○鷓夷

史范蠡傳曰。范蠡浮海出齊。變姓名。自謂鴟夷子。皮耕于海畔。註索隱曰。范蠡自謂也。蓋以吳王殺子胥而盛以鴟夷。今蠡自以有罪故為號也。韋昭曰。鴟夷革囊也。或曰生牛皮也。

○日邁月征

見詩小宛。

○蠶足

謂足重皮也。楚欲伐宋。墨子自魯趣楚。十日十夜足腫如重蠶而不休息。謂足傷起皮如重蠶也。

○天涯地角

吳融盡山水歌曰。地角移來方寸間。天涯寫在筆鋒裡。

○舉案

列女傳曰。孟光。字德耀。隣里多求擇對不嫁。父母問其故。光曰。欲得賢如梁伯鸞者。鴻聞而娶之。及嫁以裝飾入門。七日而鴻不答。光曰妾者隱居之服。鴻喜曰此真梁鴻妻。貧賃後入霸陵山中以耕織為業。光每進食於鴻。必舉案齊眉。不敢仰視。

○淵明松菊

見陶明歸去來辭。

○張翰蓴鱸

張翰。字季鷹。有清才。善屬文。晉惠朝齊王冏辟為東曹掾。因秋風起。思吳中菰菜蓴羹鱸魚膾。歎曰。人生遺適志耳。富貴何為。即引去。

○間關

見上。

○刀頭

古樂府。何時大刀頭。破鏡飛上天。註謂夫還期在月。如破鏡時刀頭有環。故云。

因訟祈安

乖違互訟已慚忍辱之仙。休咎兩明實藉垂慈之佛。敬投皇覺。謹控丹誠。切念(某)艱苦一生。畏嚴三尺。近以仇讐之隙。遽興論訟之端。刻木之誓實我之憂。甘棠之聽伊誰是賴。唯求中吉。切慮終凶。不覬慈仁安底寧息。(入佛事)伏願慈雲覆護。慧日光明。無幽不察無願不成。惟余有請爾。有枉必伸有疑必釋。在吾無間然。

○忍辱仙

見大藏一覽。

○刻木之誓

前路溫舒傳曰。畫地為獄議不入。刻木為吏期不對。

○甘棠之聽

謂召伯舍甘棠之下聽訟也。見詩甘棠。

○三尺

小學註曰。三尺謂法律。古者以三尺竹簡書之。

○中吉終凶

易曰。訟。有孚窒惕。中吉終凶。傳。訟之道必有其孚實中。無其實乃是誣妄。凶之道也。卦之中實為有孚之象。訟者與人爭辯而待

決於人。雖有孚亦須牽塞未通不窒則已。明無訟矣。事既未辯。吉凶未可必也。故有畏惕。中吉得中則吉也。終凶終極其事則凶也。

○無間然

語泰伯曰。禹吾無間然矣。註間罅隙也。謂指其罅隙而非議之也。

橫遭官事祈安

非殃橫罹豈勝下險之憂。聖德弘仁爰致中孚之禱。切念(某)燕安兀兀。免守愚愚。豈期棘險之奸。妄肆株連之害。嗟嗟法網殆難頃刻以逃生。惻惻刑威若易須臾之置死。桎梏之憂既重。苞苴之費不輕。哀控告之無門。幸歸投之有佛。(入佛事)伏願三尺無干。五刑不濫。舉直錯諸枉永無誣誤之憂。作善降之祥尚冀曲全之庇。

○下險之憂

易訟卦。彖曰。訟。上剛下險。險而健訟。傳。訟之為卦。上剛下險。險而又健也。又為險健相接。內險外健。皆所以為訟也。若健而不險不生訟也。險而不健不能訟也。險而又健是以訟也。

○中孚

見上。

○兀兀

指南云。兀兀無知貞。

○兔守

見上。

○棘險之奸

毛詩曰。營營青蠅止于棘。讒人罔極。交亂四國。

○株連之害

前食貨志曰。廼徵諸犯。令相引數千人名曰株。送徒入財者得補郎。郎選衰矣。註應劭曰。株根本也。送致也。師古曰。言被牽引者為其根株。所送當充徒役。而能入財者即當補郎。

○桎梏

孟子曰。桎梏死者非正命也。註桎梏所以拘罪人者也。

○苞苴

補註云。苴所以藉履也。孫曰。包苴也。麻無子曰苴。

○控告

左襄八年曰。無所控告。

○三尺

見上。

○五刑

書舜典註曰。墨劓洵宮。大辟也。

○舉直錯諸枉

見語為政。

○誑誤

謂誑音卦。誤也。前景紀詔曰。吳王濞為逆。誑誤吏民。

○作善降之祥

見書伊訓。

○曲全

老子曰。曲則全。枉則直。註能曲而後能全。

官事受枉祈脫

暗裡擠排已橫遭其陷穽。急中呼禱願致應于鼓桴。切念(某)拙于守分昧于知幾。豈期狙詐之奸。竟致鼠牙之禍。讒謗成惡暫疑曾子之殺人。縲絏致憂安待晏嬰之知我。文乃曲斷。事實枉誣。欲飛鄒衍之霜。願致真卿之雨。唯切歸佛之愀。庶有回天之功。(人佛事)伏願覆盆有炤。明鏡無私。出之危置之安。永荷神明之宰。鋤其奸雪其枉。庶瞻昭回之天。

○陷穽

中庸。子曰。人皆曰予知驅而納諸罟獲陷阱之中而莫之知辟也。註陷阱坑坎也。皆所以撝取禽獸者也。

○鼓桴

見上。

○知幾

見易係辭。

○狙詐

列子曰。宋有狙公者愛狙。養之成群。能解狙意。狙亦得公之心。將限其食。先誑之曰。與若芋朝三而暮四足乎。眾狙皆起而怒。俄而曰。與若芋朝四而暮三足乎。眾狙皆伏而喜。

○鼠牙

詩行露曰。誰謂鼠無牙。何以穿我墉。

○曾子殺人

曾參。姓曾。名參。字子輿。孔子弟子。武城人。至孝。孔子因之作孝經。秦之甘茂曰。魯人與曾參同名者殺人。人告其母。母曰吾子不殺人。織機自若。少頃人又告曾參殺人。母又自若。又一人告之。其母投機杼。下機踰牆而走。臣賢不及曾參。王信臣又不及其母。疑臣者非特三人。臣恐大王投杼矣。

○晏嬰知我

史記晏平仲傳云。越石父賢在縲紲中。晏子出。遭之塗。解左驂贖之。載歸弗謝。人聞久之。越石父請絕。晏子懼然攝衣冠謝曰。嬰雖不仁。免子於厄。何子求絕之速也。石父曰。不然。吾聞君子詘於不知己而信於知己者。方吾在縲紲中。彼不知我也。夫子既以感寤而贖我。是知己。知己而無禮。固不如在縲紲之中。晏子於是延人為上客。

○鄒衍霜

燕鄒衍事燕惠王。左右譖之被繫於獄。仰天而哭。盛夏天為之降霜。

○真卿雨

唐顏真卿為監察御史。使河隴時。五原有冤獄久不決。天且旱。真卿辯獄而雨。郡人呼御史雨。

○回天功

張玄素傳曰。玄素諫太宗修洛陽宮。魏徵嘆曰。張公論事。遂有回天之力。

○覆盆

王充論衡云。天平與地無異。若覆盆之狀。

○昭回之天

毛詩曰。倬彼雲漢。昭回于天。

官事息還愿

昔訟公庭爰致望雲之禱。今歸私室敢忘傾日之誠。罪消鼠牙。恩酌
猊座。切念(某)煩惱根深。塵勞業重。偶因小人之債。遂履君子
之庭。荆棘林深跣足無非窒礙。冰淵境險捫心已自驚惶。敬投大覺
之尊。遂免終凶之慮。欲酌鴻庇。仍竭蟻誠。(入佛事)伏願鑒昔時乃
無妄之灾非予得已。幸今日底有常之吉惟芘是依。狐疑之隙弗生。
雀角之憂永杜。

○望雲○傾日○鼠牙○捫心

並見上。

○大覺

見名義。佛陀下。

○終凶○蟻誠○與妄○狐疑

並見上。

○雀角

毛詩曰。誰謂雀無角。何以穿我屋。

保重病

身為眾苦本乃有采薪之憂。佛作大醫王能愈孔棘之疾。披心致懇。稽首陳情。切念(某)幻形靡堅。塵障實重。比因四大之蹇。遽為一身之憂。藥加瞑眩之投甚于冰炭。命切危亡之迫凜若風燈。冀逢三折肱之良。庸致九頓首之請。(入佛事)伏願四肢鬯適。六脉均調。注生藉之長年。俾爾綿延之壽。堅福基於不壞。錫予穰簡之休。

○采薪之憂

孟子曰。王使人問疾。醫來。孟仲子對曰。昔者有王命。有采薪之憂。註言病不能采薪。謙辭也。

○大醫王

維摩經佛國品云。為大醫王。善療眾病。應病與藥。令得服行。

○孔棘之疾

詩桑柔曰。多我覯瘠。孔棘我圉。

○四大之蹇

維摩經云。四大合故假名為身。四大無主身亦無我。易蹇卦。象曰。蹇難也。

○瞑眩

書說命曰。若藥弗瞑眩。厥疾弗瘳。

○三折肱

左定十三年。晉范氏中行氏將伐晉定公。齊高強曰。三折肱知為良醫。唯伐君為不可。民弗與也。我以伐君在此矣。

○九頓首

左襄四年曰。九頓首而坐。注頓首下首也。拜頭叩地也。

○四肢

群書拾唾曰。頭身手足。又云兩手兩足也。

○六脉

謂浮沉遲數滑濇也。

○穰簡

見上。

保長病

惟疾之憂幾無出纏之日。實我之咎庸有謝過之門。特懇大覺于茲時。願起沉疴于一旦。切念(某)積愆未雪。宿障難融。頃以速壞之身。遽沾難愈之疾。炎帝既嘗之藥已失其靈。倉公久驗之方亦虧厥效。思弗消罪于既往。豈能離苦于來今。(入佛事)伏願業垢冰消。病緣霧散。快遇諾迦之水俾壽俾康。喜逢董奉之醫何思何慮。

○謝過

左襄。晉人其將謝過之不暇。敢不納乎。

○沉疴

韓愈詩。大華峯頭玉井蓮。開花十丈藕如船。冷比雪霜甘比蜜。一片入口沉疴痊。註沉疴痼疾也。如今之癆瘵深病也。

○炎帝

帝王世紀曰。炎帝神農氏。嘗味草木藥療疾。

○倉公

史記曰。太倉公者。齊太倉長。臨菑人也。姓淳于氏。名意。少而喜醫。方術受其脉書上下經。五色診。奇咳術。揆度陰陽。外變藥論石。神接陰陽禁書。受讀解驗之可一年所。明歲即驗之有驗。然尚未精也。要事之三年所。即嘗已為人治診。病決死生有驗精良。

○諾迦之水

詳稽古略及三昧水懺序。

○董奉之醫

廬山記曰。董奉。字君異。侯官人。每治人病。病愈令種杏五株。遂成林。後上昇。

保身弱多病

病形靡一屢傷委弱之軀。業鍵既深少遇清寧之日。披露丹悃。特投覺皇。切念(某)色身羸弱。命運屯遭。寒暑屢侵每失節宜之力。痒疴迭至常勤醫治之方。恐有甚于斯焉。將不保其往也。是以(入佛事)伏願頓清業海。速越病關。三百六十骨節之中永無疾痛。八萬四千毛孔之內常遇吉祥。

○清寧

老子曰。天得一以清。地得一以寧。註一者道也。

○屯遭

謂難行不進貞。見易屯卦。

○痒疴

克己銘曰。痒疴疾痛。舉切吾身。

○骨節毛孔

江湖集註。人身具八萬四千毛竅。三百六十骨節。

病後還愿

攻之不可。達之不及。曾深抱疚之憂。視之弗見。聽之弗聞。嘿感扶危之德。俯殫凡悃。仰答佛恩。切念(某)比因無妄之災。遽劇有生之苦。膏肓屢急不勝豎子之憂。命脉載回莫覩醫師之效。爰禱能仁之聖。許陳克敬之儀。有感必通。果沐洪休之賜。無德不報。敢塞白水之盟。(入佛事)伏願慈雲廣覆。慧日炳臨。寒暑常調永享亨嘉之會。往來多慶長消災沴之侵。

○視之弗見聽之弗聞

見中庸。

○無妄之災○膏肓豎子

並見上。

○醫師之效

周禮曰。醫師掌醫之政。令聚毒藥以共醫事。歲終則稽。其醫人十全為生。十失一次之。十失四為下。

○白水之盟

左僖二十四年春王正月。秦伯納重耳也。及河。子犯以璧授公子曰。臣負羈絏從君巡於天下。臣之罪甚多矣。臣猶知之而況君乎。請由此亡。公子曰。所不與舅氏全心者。有如白水投其璧于河。註子犯。重耳舅也。言與舅氏全心之明如此。白水投璧于河。質信於河也。

又

有疾弗瘳實切遭如之慮。無德不報庸修顛若之誠。切念(某)頃干
榮衛之和。爰致痒疴之苦。百藥俱試既無君臣佐使之功。五技俱窮
徒有卜祝醫巫之請。爰叩猊臺而立愿。果蒙鷲嶺之加祥。用酌慈
恩。乃竭愚悃。(入佛事)伏願五官效職何須肘後之方。六氣召和永杜
目前之患。椿萱蘭桂厥休未艾。琴瑟埙篪其樂且耽。

○遭如○顛若

並見上。

○榮衛

靈樞。榮衛生會篇。岐伯曰。人受氣於穀。穀入於胃。以傳於肺。
五藏六府皆以受氣。其清者為榮。濁者為衛。榮在脉中。衛在脉
外。榮周不休。難經曰。血為榮。氣為衛。

○痒疴

見上。

○君臣佐使

謂藥有君臣佐使以相宣攝合和。君一臣三佐五使六。可一君三臣九
佐使也。

○五技俱窮

見上。

○卜祝

見孟子。

○醫巫

見論語。

○五官

荀子曰。心居中虛。以治五官。註謂耳目鼻口形。

○肘後之方

葛洪。字稚川。東晉人。抄金匱方百卷。肘後要急方四卷。註肘手臂節也。

○六氣

左昭元年曰。天有六氣。註曰陰陽風雨晦明也。

○椿萱○蘭桂○琴瑟

並見上

○塤箎

詩何人斯曰。伯氏吹塤。仲氏吹箎。註伯仲兄弟也。樂器。土曰塤。竹曰箎。

保嬰兒病

病侵赤子深惟坎坷之憂。誠叩覺皇庸效童蒙之志。切念(某)男(某)頃居弄璋之慶。頗期跨竈之能。豈謂保抱之失宜。遽爾痒疴之作障。如泣如訴難明受病之因。不識不知徒切求醫之請。三世之良未遇。十全之效鮮聞。乃懇調御之尊。願消幼穉之苦。(入佛事)伏願驚啼自止若逢昔日之張遼。醫療無艱再遇今時之盧扁。得繼繼繩繩之幸。降穰穰簡簡之休。

○赤子

見書康誥。

○坎坷

謂不平白。

○童蒙○弄璋○跨竈

並見上。

○保抱

書召誥曰。夫知保抱携持厥婦子。

○如泣如訴

見前赤壁賦。

○不識不知

見詩皇矣。

○三世之良

記曲禮曰。醫不三世。不服其藥。

○張遼

魏志曰。張遼。字文遠。鴈門馬邑人。武力過人。數有戰功。累轉前將軍。江東小兒啼怖之。曰遼來遼來。無不止者。

○盧扁

史記曰。扁鵲者。勃海郡鄭人。姓秦氏。名越人。少時為人舍長舍客長桑君過扁鵲獨奇之。常謹遇之長桑君。亦知扁鵲非常人也。出入十餘年。乃呼扁鵲私坐間與語曰。我有禁方年老欲傳與公。公毋泄。扁鵲曰敬諾。乃出其懷中藥予扁鵲飲。是以上池之水三十日當

知物矣。乃悉取其禁方書盡與扁鵲。忽然不見。殆非人也。扁鵲以其言飲藥三十日。視見垣一方人。以此視病。盡見五藏癥結。正義曰。家於盧國。因命之曰盧醫也。

○十全之效

見上醫師註。

○繩繩

毛詩註。不絕貞。

○穰穰簡簡

見上。

嬰病愈還愿

嬰兒無知忽致有生之疾。大覺有感遂臻無恙之休。敬闡微誠。特酌厚德。切念(某)男(某)頃染一朝之患。遽為四體之憂。襁內携提實切疾首痛心之慮。暗中摸索誰為觀形察脉之良。爰立心盟。遂脫病鍵。茲循報恩之典。乃勤獻曝之儀。(入佛事)伏願弱質恒堅。壽元永固。秀如王衍譽夙負于寧馨。慧若韓符詩早明于瑟僖。

○無恙

見上。

○疾首痛心

文選楊中武誅曰。哀哀慈母。痛心疾首。

○暗中摸索

唐史曰。許丞宗惟輕見人多忘之。或謂其不聰。乃曰。卿自難記。若遇曹劉沈謝。暗中摸[打-丁+索]著亦可識。

○察脉

韓文曰。善醫者不視人之肥瘠而察其脉。

○獻曝

見上。

○王衍

晉王衍。字夷甫。神情明秀。風姿詳雅。嘗造山濤。既去。濤目送之曰。何物老嫗生寧馨兒。

○韓符

韓文曰。符公之子。按公墓銘及登科記。公之子曰昶。登長慶四年進士第。符豈昶之小字耶。

保痲痘

伏以痘疹為灾已極有生之苦。修禳有術須歸無上之尊。特具短章。聊申鄙悃。切念(某)近因天行遂染痘疫。誠慮宿愆之有障乃爾傾危。復憂命運之多屯長茲疢疾。不憑聖典。曷度病關。恭展螻蟻之誠。懇叩獅狔之座。(入佛事)伏願(某)五行俱順三命無虞。不須越人之方居然痊愈。喜見老萊之戲于以愉恬。

○屯

易屯。本義曰。屯難也。

○疢疾○螻蟻○越人○老萊

並見上。

痘後還愿

昔沾痘疹曾極仰禱之勤。今竭葵忱思答垂慈之力。恭陳梵典。用踐良盟。切念(某)頃因天運之灾。驟染色身之疾。隨茲苦鍵難免危疑之憂。爰立良盟遂獲平康之喜。恩酌厚德。乃展微誠。(入佛事)伏願鑒其宿誠。錫之介福。不灾不害。劃禳疹以冰消。曰壽曰康。藹吉祥而雲委。

○葵忱

見上。

○禳疹

文選宋文皇帝元皇后哀策文云。象物方臻。眡禳告疹。

○雲委

坡詩註。雲委言其多也。

禪林疏語考證卷之二

薦悼門

薦父首七(諸七切念俱可通用)

無父何怙悲風慘一七之辰。有佛可依湛雲覆三千之界。負肩酌德。繞足投誠。切念(亡考某)四生凡品。五濁浮軀。頃嬰無妄之灾深期有永。豈意有為之幻遽作無常。嗟嗟撒手以便行。切切承顏而莫得。雖娑婆海上載乘明月以旋歸。然痴慢山前恐礙飛雲之來往。爰痛南垓之念。敬修西竺之緣。(入佛事)伏願(亡父)空空了了解除久久之愆尤。是是非非結絕初初之公案。長揖穢土以超生。頓開妙蓮而見佛。

○無父何怙

詩蓼莪曰。無父何怙。無母何恃。

○負肩酌德

父母恩難報經曰。父母於子有大增益。乳哺長養隨時將育。四大得成。設若右肩負父左肩負母。經歷千年。正使便利背上。未足報父母恩。

○繞足投誠

圓覺經曰。於是文殊師利菩薩在大眾中即從座起。頂禮佛足右繞三匝長跪叉手。

○四生○五濁○無妄之灾

並見上。

○切切

家語六本曰。切切而悲。

○承顏

雋不疑見暴勝之曰。竊伏海瀕。聞暴公子舊矣。今乃承顏接辭。

○南垓之念

毛詩有南垓篇。有聲無詞。晉束皙補亡詩序曰。南垓孝子相戒以養也。

二七

一十四日幽陰莫侍嚴君之訓。千百億身顯化可勝調御之悲。假佛慈以報父慈。必佛道乃成子道。切念(亡父某)苦海浮漚塵寰幻蹟。因際齧藤之厄。遽驚曳杖之歌。肅然容。愾然聲。莫返幽都之魄。發是心。作是念。敬修淨土之因。(入佛事)伏願先君(某)渡初江之巨浪。登法海之慈舟。七寶池中盡洗業障報障煩惱障。九蓮臺上常聞妙音梵音海潮音。

○嚴君

易下象曰。家人有嚴君焉。父母之謂也。

○調御

謂如來十號之一也。

○齧藤之厄

見上慶生之註。

○曳杖之歌

記檀弓曰。孔子蚤作。負手曳杖消搖於門。歌曰。泰山其頽乎。梁木其壞乎。哲人其萎乎。既歌而入當戶而坐。子貢聞之曰。泰山其頽則吾將安仰。梁木其壞哲人其萎則吾將安放。夫子殆將病也。遂趨而入。夫子曰。賜爾來何遲也。夏后氏殯於東階之上則猶在阼也。殷人殯於兩楹之間則與賓主夾之也。周人殯於西階之上則猶賓之也。而丘也殷人也。予疇昔之夜夢坐奠於兩楹之間。夫明王不興而天下其孰能宗予。予殆將死也。蓋寢疾七日而沒。

○肅然容愾然聲

記祭義曰。祭之日。入室僂然。必有見乎其位。週還出戶。肅然必有聞乎其容聲。出戶而聽。愾然必有聞乎其歎息之聲。

○幽都之魄

楚辭曰。魂兮歸來。君無下此幽都。註幽都地下后土所治也。地下幽冥故稱幽都。

○初江

謂十王第二初江王也。

三七

父止於慈已參宋帝之陞。子竭其孝宜闡覺皇之規。作般若因。成涅槃果。切念亡父(某)有凡夫名。無壽者相。槐柯國內忽迷夢蝶之魂。棗葉世間遽絕蝸廬之影。眼看白璧曷勝忍死之情。魄入黃泉孰是超昇之所。爰懇佛力。用資冥途。(入佛事)伏願亡父(某)禮十號之慈尊。悟一乘之妙道。好著脚處超登解脫之樓。是轉身時直入光明之藏。

○父止於慈

大學曰。為人父止於慈。

○宋帝

謂十王第三宋帝王也。

○般若○涅槃

並見名義。

○槐柯國內

異聞集曰。淳于棼家居廣陵。宅南有古槐樹。棼醉臥其下。夢二使者曰。槐安國王奉邀。棼隨使入穴中。見榜曰大槐安國。其王曰。吾南柯郡政事不理。屈卿為守理之。棼至郡凡二十載。使送歸遂覺。因尋古槐下穴洞然明朗。可容一榻。有二大蟻乃王也。又尋一穴直上南柯。即棼所守之郡也。

○夢蝶之魂

莊子曰。昔日莊周夢為胡蝶。栩栩然胡蝶也。自喻適志與不知周也。俄然覺則蘧蘧然周也。註栩栩。蝶飛之白。蘧蘧。僵直之白。

○棗葉世間

六祖壇經云。譬如天龍下雨於閻浮提。城邑聚落悉皆漂流如漂棗葉。若雨大海不增不減。

○蝸廬

見上。

○眼看白壁

黃魯直哭邢惇夫詩曰。詩到隨州更老成。江山為助筆縱橫。眼看白壁埋黃壤。何況人間父子情。

○黃泉

文選曰。朝發高堂上。暮宿黃泉下。註高堂生所居。黃泉死所葬。又左傳註。天玄地黃。泉在地中。故言黃泉。

四七

嗟我父兮正屬五官之考劾。為其子者敬投萬佛之慈悲。聊以輸誠。詎云報德。切念亡父(某)生我鞠我恩斯勤斯。載我形勞我生。莫永椿庭之壽。幽之出冥之人。曷明槐國之魂。欲冀超昇須勤懺悔。(入佛事)伏願亡父(某)業障冰消。塵緣雪淨。黃金殿內常瞻紫磨之容。紅藕花心時聽苦空之偈。

○五官

謂十王第四五官王也。

○生我鞠我

詩蓼莪曰。父兮生我。母兮鞠我。

○載我形勞我生

莊子曰。大塊載我以形。勞我以生。俟我以老。息我以死。故善吾生者乃所以善吾死也。

○椿庭之壽○槐國之魂

並見上。

五七

三思嚴父之云亡曷其有所。五歷冥官之考劾欲見無由。用闡鴻規。敬陳象教。切念亡父(某)眯目于塵緣影裡。置身于石火光中。蝶夢蟻酣竟棄三千之世。烏飛兔走倏驚五七之辰。向往之方謂何。超

昇之路安在。輒憑佛果。少贊仙遊。(入佛事)伏願光浮于業鏡臺前。霧散于閻羅殿下。高高山上往來不礙白雲飛。深深海中出入自然明月現。

○象教

見上。

○眯目

莊天運曰。播糠眯目。

○石火光中

杜甫詩。蝸牛角上爭何事。石火光中寄此身。

○蝶夢

見上。

○蟻酣

山谷詩。風急啼鳥未了。雨來戰蟻方酣。又錢昭度夏晚詩。黃蜂衙退海潮上。白蟻戰酣山雨來。

○烏飛兔走

張衡序曰。日者太陽之精。積而成鳥象烏。月者陰精之宗。積而成獸象兔。

○仙遊

謂有德之人死。以仙遊之語美之詞也。舒梓溪弔松岳于琦詩曰。舊愛應留鶴。仙遊豈化猿。

○閻羅

謂十王第五閻羅王也。

六七

椿殞燕山徒切百千之恨。奠觀堯砌倏驚六七之臨。欲資冥途。乃修道筏。切念不孝(某)罪積于躬。禍延所怙。踣高躋厚嗟遺體之遑安。出幽入冥嘆營魄之奚往。既被六塵之胃難免黑愆。況生五濁之區誰為白淨。特效三歸之敬。致懇十力之尊。(入佛事)伏願地藏借往生之光。變成碎見在之案。瑤池萬仞金風動而水上生花。寶閣千尋珠簾捲而雲中見佛。

○奠觀堯砌○禍延所怙○踣高躋厚

並見上。

○遺體

記祭義。曾子曰。身也者父母之遺體也。

○營魄

老子曰。載營魄抱一能無離乎。註營魄也神也。魄精也。

○六塵

謂色聲香味觸法也。

○黑愆○十力

並見上。

○變成

謂十王第六變成王也。

七七

嚴君見背泰山當七七之期。善逝垂慈蓮國開三三之品。不弘象教。曷報鴻恩。切念不孝(某)德慚後嗣禍及先君。星隕露晞悲慘遽形于莊蝶。日征月邁荏苒已歷于曦烏。想居東嶽之幽陰。莫訴南垓之痛苦。謹依法炬。冀破幽關。(入佛事)伏願亡父(某)業海枯而功德山高。障雲散而菩提月現。光浮蓮宇豁開雙眼見如來。風動寶林驟聽一音宣妙法。

○嚴君

見上。

○見背

李令伯陳情表曰。生孩六月慈父見背。文選註曰。背死也。

○泰山

謂十王第七泰山王也。

○善逝

謂十號之一也。

○象教

見上。

○星殞

令孤楚卒之夕。有大星隕於寢室之上。其光燭庭。又宋儀望弔友人詩。忽爾傳星殞。憑欄涕泗紛。

○露晞

通典曰。田橫死吏不敢哭。但隨柩敘哀。後代相承以為挽歌。名薤露蒿里。後李延年分為二。薤露送王公貴人。蒿里送士庶人。歌曰。薤上露。何易晞。露晞明朝更復落。人生一去何時歸。又云。蒿里誰家地。聚斂精魄無賢愚。鬼伯一何相催促。人命不得少踟蹰。

○莊蝶

見上。

○日征月邁

見詩小宛。

○荏苒

見上。

○曦烏

事苑曰。曦光謂日也。堯命羲氏和氏掌之。故以日為曦光。烏謂日。曰陽烏。中有三足烏。

○南垓之痛

見上。

六句

椿樹煙迷已茹六句之苦。奈河浪闊豈勝九迴之悲。乃闡雷音。用資雲路。切念亡父(某)自棄諸孤莫知其所。沉沉苦海孰為駐足之津。渺渺愛河莫識回頭之岸。不憑道筏。安抵故鄉。(入佛事)伏願亡父(某)駕般若舟。登涅槃岸。兩月之哭泣既卒於此。七重之文案願赦除之。

○九迴之悲

司馬遷報少卿書曰。腸一日而九迴。又崔魯春日長安即事曰。玉樓春暖笙歌夜。肯信愁腸日九回。

○諸孤

左僖九年曰。初獻公使荀息傅奚。齊公疾召之曰。以是藐諸孤。辱在大夫。其若之何。註言其幼賤與諸子縣藐。欲屈辱荀息。使保護之。

小祥

父棄塵寰既適小祥之日。佛臨濁國是名大覺之尊。用歸佛慈。乃酌父德。切念亡父(某)蟻穴浮生蝸居潛迹。曩驚大故嗟嗟飛雀之散瓶。今屆小祥惻惻迅駒之過隙。欲資吾父之雲路。須憑我佛之風規。(入佛事)伏願都市庭前破三百六旬之苦具。彌陀國內放八萬四千之光明。得聞大事之因緣。獲證無生之法忍。

○蟻穴○蝸居

並見上。

○大故

孟子曰。今也不幸至於大故。註大故大喪也。

○飛雀之散

七賢女經云。雀來入瓶中。以穀覆其口。穀穿雀飛去。識心隨業走。

○迅駒過隙

史記魏豹傳曰。人生一世間。如白駒過隙耳。小顏云白駒謂日影也。隙壁隙也。

○無生法忍

稜嚴云。無生法忍。註真如實相名無生法忍。無漏真知名之為忍。得此智時忍可印持法無生理。決定不謬。境智相宜名無生忍。瑜伽論云。何名忍。自無憤勃。不報他怨。故名忍。

大祥

凶經三年痛失綵衣之侍。吉蠲一日告成禫服之祥。欲盡餘哀。爰修勝會。切念先君(某)頃以熊屏之夢遽為蟻穴之遊。嗟無淚之可揮。雖有身而莫贖。倚廬切切可勝曦馭之馳。陟岵哀哀倏屆孔琴之御。擬破後後之冥關。須仗空空之妙覺。(入佛事)伏願(某)絕轉輪樞。契常住法。不生不滅直空當下之身心。若住若來大咲從前之夢幻。

○綵衣之侍

見上。

○禫服之祥

謂禫除服祭名大祥。後間一月而禫。見禮記。

○熊屏之夢

晉平公夢朱熊窺其屏。惡之而疾。問於子產。對曰昔共工之卿曰浮游。敗於顓頊。自沉於淮。其色赤。其言善笑。其行善顧。其狀如熊。為天王崇。見之堂則王天下者死。見之堂下則邦人駭。見之門則近臣憂。見之庭則無傷。今窺君之屏。病而無傷。其祭顓頊共工乎。從其言而病間。

○蟻穴之遊

見上。

○有身莫贖

詩黃鳥曰。如可贖兮人百其身。註贖買也。若可買以他人則人皆願百其身以易之矣。

○倚廬

記問喪曰。不敢入處室居於倚廬。哀親之在外也。寢苦枕塊哀親之在土也。故哭泣無時。服勤三年。思慕之心。孝子之志也。

○切切

見上。

○曦馭

謂日也。見上杜詩。羲和冬馭近。愁畏日車翻。

○陟岵

詩陟岵曰。陟彼岵兮瞻望父兮。註山無草木曰岵。孝子行役不忘其親。故登山以望其父之所在。

○孔琴之御

記檀弓曰。孔子既祥。五日彈琴而不成聲。十日而成笙歌。

忌日

以卒日而為諱日。嗟嚴父之何之。轉業風而作釋風。仰世尊之如在。聊申一日之悃。庶服終身之喪。切念先君(某)精魄往而不還。音容邈而莫覩。雖一日二日乃奄而亡。實千年萬年莫消此恨。

露晞薤葉風動木枝。永言孝思不遑啟處。適衣黑衰之日。敬邀緇服之流。(入佛事)伏願無邊煩惱海徹底乾枯。無量智慧花廓然開發。悟無所悟之法。證無所證之門。

○終身之喪

記祭義曰。君子有終身之喪。忌日之謂也。

○精魄○薤葉

並見上。

○風動木枝

韓詩外傳曰。孔子出行。聞有哭聲甚悲。至則臯魚也。被褐擁劍哭於路左。孔子下車而問其故。對曰吾少好學周流天下而吾親死。一失也。高尚其志不事庸君而晚無成。二失也。少失交遊寡於親友而老無所託。三失也。夫樹欲靜而風不止。子欲養而親不逮。往而不可返者年也。逝而不可追者親也。吾於是辭矣。立哭而死於是。孔子之門人歸養親者一十三人。

○不遑啟處

見詩四牡。

安葬

死則充如實切倚廬之念。葬者藏也幸安歸窆之魂。爰建道場。用資冥路。切念先君(某)劬勞德重。教育恩深。昔夢黃熊遽入絕迹消聲之域。今封白馬幸依歸魂掩魄之鄉。用報罔極之恩。敬遵大慈之典。(入佛事)伏願先君(某)見清淨身于山色之間。聽廣長舌于溪聲之內。本來面目恍然相逢。無始命根曝地頓斷。

○死則充如

記檀弓曰。始死充充如有窮。

○倚廬

見上。

○塋者藏也

檀弓曰。塋也者藏也。藏也者欲人之弗得見也。是故衣足以飾身。棺周於衣。槨周棺。土周於槨。反壤樹之哉。

○歸窆

謂葬曰歸窆。檀弓曰。縣棺而封。註封作窆。

○夢黃熊

左昭鄭子產聘于晉。晉侯有疾。韓宣子逆客私焉曰。寡君寢疾於今三月矣。並走群望有加而無瘳。今夢黃熊入于寢門。其何厲鬼也。對曰。以君之明。子為大政。其何厲之有。昔堯殛鯀於羽山。其神化為黃熊。以入于羽淵。實為夏郊三代祀之。晉為盟主其或者未之祀也乎。韓子祀夏郊。晉侯有間。賜子產莒二方鼎。

○封白馬

范式。字巨卿。張邵。字元伯。相與為友。元伯寢疾而卒。范式忽夢元伯呼曰。巨卿吾已某日死。某日葬。子未我忘。豈能相及。式更服朋友之服馳往赴之。式未及到而喪已發引。既至壙將窆而柩不肯進。其母撫之曰。元伯豈有望耶。遂停柩移時。乃見素車白馬而來。母曰是必巨卿也。式因執紼而引。柩於是乃前。

○罔極之恩

見詩蓼莪。

○清淨身廣長舌

蘇軾。字子瞻。號東坡居士。初參東林總禪師。與論無情話有省。遂獻投機偈云。溪聲便是廣長舌。山色豈非清淨身。夜來八萬四千偈。他日如何舉似人。

○恍然

見老子。

○曝地

莊子曰。神農隱几擁杖而起。曝然放杖而笑。註曝然放杖聲。

薦父通用

南山無橋木之親終天抱痛。西域有妙蓮之主易地歸仁。欲報親恩。須求佛力。切念先君(某)既作幽泉之夢。豈勝逝水之悲。陟岵興嗟傷音容之何在。蓼莪托咏痛精魄之安歸。既追攀無從。豈修薦而敢闕。(入佛事)伏願先君(某)塵勞蠲淨廓爾而雲散天清。業障頓除豁然而冰消雪釋。寶網玲瓏之下獲禮慈尊。天花縹緲之中得聞妙樂。

○橋木之親

世說曰。伯禽與康叔見周公。三見三答之。乃問商子。商子曰。南山之陽有木名橋。南山之陰有木名梓。何不往觀之。二子往觀。見橋木高而仰。梓木實而俯。還告商子。商子曰。橋者父道。梓者子道也。註為子者見父。不能卑下遜順。如梓木實而俯。是以遭撻也。

○易地○幽泉

並見上。

○逝水之悲

論語。子在川上曰。逝者如斯夫不舍晝夜。

○陟岵○蓼莪○精魄

並見上。

○追攀

杜甫詩。昔在洛陽時。親友相追攀。

○玲瓏

揚雄甘泉賦曰。前殿崔巍兮和氏玲瓏。註玲瓏明貞。

○縹緲

木玄虛海賦曰。群仙縹緲餐玉清涯。註向曰縹緲高遠貞。又善曰遠視之貞。

薦母首七

悲驚萱背俄經七日之臨。憂鬱草心莫盡三春之報。欲超冥苦。爰叩佛慈。切念亡母(某)恭處北堂。職謹南澗。未悟空花之幻。遽驚風木之悲。迨想慈容孰化歸來之鶴。靜思厚德慚觀返哺之烏。既欲報德于慈闈。敢後輸誠于覺苑。(入佛事)伏願(同父首七)。

○萱背○三春○北堂○南澗

並見上。

○空花

見圓覺經。

○風木悲

見上。

○歸來之鶴

述異傳曰。荀環事母孝。好道術。潛棲却粒。嘗東游憩江夏黃鶴樓上。望西南有物飄然降自霄漢。俄頃已至。乃駕鶴之仙也。鶴止戶側。仙者就席。羽衣虹裳。相與欸對已乃辭去。跨鶴騰空妙然烟滅。

○返哺之烏

事文後集引禽經云。慈烏曰孝。烏長則返哺其母。山谷詩。看盡林烏反哺兒。

二七

二七日中莫侍慈闈之側。三尊座下願修聖教之科。思報鴻恩。特昭蟻悃。切念亡母(某)泡影浮生。塵勞幻質。奈井蛇之傷齧。致瓶雀之分飛。淚眼欲枯瞻徒嗟于陟岵。愁腸如割望莫遂于倚門。躋地奚容。籲天何及。幸有竺天之教。堪為冥地之資。(入佛事)伏願(全父二七)。

○蟻悃○井蛇○瓶雀○陟岵

並見上。

○倚門

戰國策曰。王孫賈之母謂賈曰。汝朝出而晚來。吾則倚門而望。暮出而不還。吾則倚閭而望。

○躋地○籲天

並見上。

三七

歷觀奠砌倏經三七之辰。塵鎖萱庭實切百千之恨。追悼欲通于幽壤。莊嚴特建于道場。切念亡母(某)未悟浮漚之幻。遽興逝水之悲。黑地冥途孰是回光之法炬。漲天苦海誰為出險之慈航。唯依我佛之洪庥。庶拔吾親之滯魄。(入佛事)伏願(同父三七)。

○萱砌○萱庭○逝水之悲

並見上。

四七

三聖移司已定罪功之籍。五官考案復明輕重之權。欲掄慈親于既往。須投皇覺以資生。切念亡母(某)六陰弱質五濁浮生。意謂百年可盡躍水之養。豈期一旦遽驚墮月之悲。萱庭塵迹之悠悠。槐國夢魂之杳杳。嗟冥關之莫測。幸佛法之可憑。(入佛事)伏願(全父四七)。

○三聖移司

謂十王第一秦廣王。第二初江王。第三宋帝王也。

○五官

見上。

○躍水之養

後漢姜詩廣。漢人。事母至孝。妻龐氏。奉順尤篤。母性好飲江水。妻出汲而奉之。母嗜魚膾。每召鄰母同食之舍側。忽有涌泉味如江水。每旦輒出雙鯉魚。常以供二母之膳。

○墮月之悲

錦綉萬花谷前集南齊王融豫章王墓誌曰。半嶽摧峯。中河墜月。鯨驂惋慕。葆吹徘徊。

○槐國

見上。

五七

三十五日遊冥司莫見封人之母。千萬億生離業網惟依大覺之尊。還以事之。匪以報也。切念亡母(某)全蘭蕙之夙心。抵桑榆之晚景。不知不覺遽興鶴弔之悲。何往何之實切狐疑之想。欲追悼於冥地。敬致懇于覺天。(入佛事)伏願(全父五七)。

○封人之母

左隱元年。莊公寘姜氏于城潁而誓之曰。不及黃泉無相見也。既而悔之。潁考叔為潁谷封人。聞之有獻於公。公賜之食。食舍肉。公問之。對曰。小人有母未嘗君之羹。請以遺之。公曰。爾有母遺。繄我獨無。潁考叔曰。敢問何故。公語之故。且告之悔。對曰君何患焉。若闕地及泉隧而相見。其誰曰不然。公從之。遂為母子如初。君子曰。潁考叔純孝也。愛其母施及莊公。

○桑榆

見上秋科之下。

○鶴弔

晉書曰。陶侃丁母憂在墓下。忽有二客來弔。儀服鮮異。禮畢遣人尋之。但見雙鶴飛天而去。

○狐疑

見上。

六七

變成殿下想深亡母之驚憂。調御座前堪滅眾生之業垢。乃弘大教。用展哀誠。切念亡母(某)節誓柏舟香浮萱砌。報之罔極。期于供菽之勤。倏爾無常。乃作夢槐之戚。諸子深憂其無恃。黃泉相見以何之。謹依竺乾之風規。用作東震之几杖。(入佛事)伏願(全父六七)。

○變成○調御

並見上。

○柏舟

毛詩曰。汎彼柏舟。在彼中河。髡彼兩髦。實維我儀之。死矢靡他。母也天只。不諒人只。

○萱砌

見上。

○供菽之勤

禮記子路曰。傷哉貧也。生無以為養。死無以為葬。子曰。啜菽飲水盡其歡。斯之謂孝。

○夢槐○黃泉○竺乾○東震

並見上。

七七

雲渺泰山痛親容之何在。月懸鷲嶺喜佛力之堪依。罔極之報云何。不孝之罪至矣。切念亡母(某)質備純坤。志懷幹蠱。奈纔嬰疾疢遽如厚地之傾摧。雖欲報劬勞莫盡昊天之覆燾。日月之徂難駐。霜露之感彌深。爰啟法筵。用資冥福。(入佛事)伏願(全父七七)。

○泰山○純坤○幹蠱○疾疢○覆燾

並見上。

○霜露之感

漢公孫弘病篤。上書乞骸骨。上報曰。君不幸罹霜露之疾。何恙不已。註罹者遭也。霜露之疾。傷寒小疾也。恙憂也。已止也。言遭小疾何乃憂患不能止也。

六旬

屈指六旬實切蓼莪之恨。投誠諸佛願憐刻木之哀。特設慈航。用超苦海。切念亡母(某)浮生偶寄。幻疾遽歸。恩斯勤斯感德莫酌于厚地。棄我忘我祈哀徒籲于旻天。茲臨卒哭之期。實切瀝心之困。(入佛事)伏願(全父六旬)。

○蓼莪之恨

見上。

○刻木之哀

孝子傳曰。丁蘭事母孝。母亡。刻木為母事之。

○卒哭

檀弓曰。卒哭而諱。生事畢而鬼事始已。註卒哭而諱其名。事生之禮畢。事鬼之事始矣。

小祥

雲鎖萱庭已屆小祥之日。光浮蓮沼願歸大覺之尊。尺疏敷宣。寸誠懇切。切念亡母(某)命驚逝水魂入重泉。白雲遽失于孤飛。黃壤安從而再見。哺烏懷感豈堪樹木之風聲。駕鶴來歸空誦蓼莪而兩泣。茲適周朞之歲。特修梁武之儀。(入佛事)伏願(全父小祥)。

○萱庭○逝水○重泉

並見上。

○白雲孤飛

唐狄仁傑登太行山。反顧見白雲孤飛曰。吾親舍其下。瞻悵久之。

○黃壤○哺烏○駕鶴○蓼莪

並見上。

○梁武之儀

見前誦經完滿之註。

大祥

萱花萎謝綵衣方嘆于凝塵。桑蔭逡巡素服忽驚于易色。謹修梵典。聊表孝思。切念先妣(某)婦道克全母儀綽著。深冀椿齡之永。可沾茨社之榮。奈法味有為莫出娑婆之網。而災嬰無妄遽翻般若之舟。永言孝思。不遑啟處。靡依靡恃。適值周公報政之時。以禱以祈。載闡梁武修齋之法。(入佛事)伏願(全父大祥)。

○綵衣

見上。

○逡巡

杜甫歌云。後來鞍馬何逡巡。說文曰却退白。

○椿齡

見上。

○茨祉

詩瞻彼洛矣曰。君子至止福如茨。註君子指天子也。茨積也。

○災嬰無妄

見前。

○周公報政

史魯世家曰。魯公伯禽之初受封。之魯三年而後報政周公。周公曰何遲也。伯禽曰變其俗革其禮。喪三年然後除之。故遲。

○梁武修齋之法

見上。

忌日

忌日載臨悵望萱花之秀。釋風播誕聿修蘭竺之緣。特竭孝誠。用嚴生品。切念先妣(某)自棄蝸廬幾經曦歷。念喪雖有制而哀豈有盡。縱理或可裁而恩詎可忘。臨追遠之辰。愈極時思之感。(入佛事)伏願(全父忌日)。

○萱花○蝸廬○曦歷

並見上。

安葬

路慘背萱痛音容之莫見。日嚴翼柳幸魂魄之有歸。資象法以莊嚴。藉龍神之擁護。切念不孝(某)釁積厥躬。禍延先妣。周于衣。周于棺。周于槨。幸真宅之永藏。歸依佛。歸依法。歸依僧。冀冥途之可拔。謹啟法筵用展悠思。(入佛事)伏願(全前安葬)。

○背萱

見上。

○翼柳

記檀弓曰。人死斯惡之矣。無能也。斯倍之矣。是故制絞衾。設萋翼。為使人勿惡也。註絞衾以飾其體。萋翼以飾其棺。則不見死者之可惡矣。又周禮曰。衣翼柳之材。註葬車曰柳車。

○周于衣周于棺周于槨

見禮記。

○魂魄

淮南子曰。天氣為魂。地氣為魄。禮記註。魂者神也陽也氣也。魄者精也陰也。魂氣歸於天。體魄復于地。

薦母通用

萱堂月冷空餘刻木遺蹤。蘭砌雲愁遽起感鄰別恨。一生一死之抱痛。三薰三沐以輸誠。切念先妣(某)凡籠廁跡世網纏身。偶忘彩服之歡。遽作黃梁之夢。呱呱而泣念無恃以何依。杳杳之容痛有身而莫贖。恭延緇侶用展丹哀。(入佛事)伏願(全父通用)。

○萱堂○刻木

並見上。

○感隣

晉王隱之。字處默。濮陽鄆城人。事母孝謹。及其執喪哀毀過禮。與大常韓康伯鄰居。康伯母賢明婦人。每聞其哭。輟餐投筋為之悲泣。

○一生一死

史鄭當時傳。翟公乃大署其門曰。一死一生乃知交情。

○三薰三沐

韓愈答呂醫山人書云。方將坐足下。三薰而三沐之。

○彩服之歡

見上。

○黃粱之夢

枕中記曰。開元中呂翁經邯鄲。有盧生同邸。主人方蒸黃粱。盧具言處世困厄。翁取囊中枕以授之曰。枕此當榮適如願。盧適枕。未幾登第。出入將相五十年。榮盛無比。忽寤。呂翁在旁。黃粱尚未熟。

○呱呱而泣

書益稷曰。啟呱呱而泣。註呱呱泣聲。

○無恃○莫贖

並見上。

雙薦父母

父云配天既極天摧之苦。母者猶地復深地裂之悲。爰建道場。用資冥路。切念不孝(某)雙親傾逝。五內分崩。因愆尤銖積於無知。致禍變貫仍之叵測。悲風慘慘悵椿樹之空庭。墮月沉沉慨萱花之殞砌。不假薦修之力。曷酌鞠育之恩。(入佛事)伏願二親俱乘正修之因。各指往生之路。紅蓮臺上不妨步步相隨。碧玉堦前管取頭頭尋著。寧拘曰男曰女。儘教同號同名。

○愆尤

杜詩。功成身不退。自古多愆尤。

○貫仍

語先進。閔子騫曰。仍舊貫如之何。註仍因也。貫事也。

○椿樹○隨月○萱花○鞠育

並見上。

薦祖父

祖父云亡實重配天之感。伽婆垂憫敢忘投地之恭。少展微誠。用酌厚德。切念祖父(某)抱孫愛篤貽嗣謀深。慮切移山方起愚公之志。憂忘負壑遽興莊子之悲。分甘之報謂何。茹苦之哀益甚。爰啟法務。用資冥途。(入佛事)伏願祖父沾白毫光。禮紫金相。九蓮臺畔永蕩百劫之愆。七寶堦前頓受一生之記。

○伽婆

見圓覺經。

○抱孫

記曲禮曰。君子抱孫不抱子。此言孫可以為王父尸。子不可以為王父尸。

○貽嗣

毛詩曰。豐水有芑。武王豈不仕。詒厥孫謀以燕翼子。註仕事詒遺燕安翼敬也。

○愚公之志

列子曰。北山愚公年且九十。面山而居。懲山北之塞。出入之迂也。遂率子孫荷擔扣石懇壤。箕畚運於北海之尾。河曲智叟笑而止之。愚公長息曰。我之死有子存焉。子又生孫。孫又生子。子又生孫。子子孫孫無窮匱也。而山不加增。何若不平于是。河曲知叟無以應之。

○莊子之悲

莊子曰。夫藏舟於壑。藏山於澤。謂之固矣。然而夜半有力者負之而走。昧者不知也。註壑中之舟。澤中之山。可謂藏之固密。而有時乎失之。夜半有力。言造化也。負之而走。失也。言人之為計雖至深密。而時有不得自由者。

○分甘

晉王羲之牽諸子抱弱孫。一味之甘割而分之。以娛目前。

又

遺我以安方致龐公之喜。息我以死遽興莊子之悲。啟竺國之遺規。作幽都之法炬。切念祖父(某)幸享龜疇之福。方深燕翼之謀。豈期二豎之為妖。遽成永訣。遂使諸孫之失望。徒切深悲。茲集僧

倫。聿修善果。(入佛事)伏願祖父(某)摧煩惱山斬愛慾冑。金繩月映光搖八德蓮池。玉樹風鳴聲徹七重寶網。(薦父諸七伏願俱可用)。

○遺我以安

漢龐德公輟耕於隴上。妻子耘於前。荊州刺史劉表問曰。先生苦於畎畝而不肯官祿。後世何似遺子孫乎。龐公曰。世人皆遺之以危。我今遺之以安。雖在遺不同。未為無所遺也。表嘆而去。

○息我以死

見上薦父四七之註。

○幽都

見上。

○龜疇之福

書洪範曰。天乃錫禹洪範九疇。彝倫攸敘。註洪大。範法。疇類也。孔氏曰。天與禹神龜負文而出列。於背有數至九。禹遂因而第之。以成九類。易言。河出圖。洛出書。聖人則之。蓋治水功成。洛龜呈瑞。如簫韶奏而鳳儀。春秋作而麟至。亦其理也。

○燕翼之謀

見上。

○二豎為妖

見上保痼病之註。

○永訣

文選。夏侯常侍誅曰。存亡永訣。註良云。訣永別也。

○金繩○八德池

並見上。

薦祖母

祖母云亡莫遂陳情之念。婆伽立教庸申哀慕之思。冀破冥關。用登覺地。切念祖母(某)恩深劉母。行守班姬。意謂壽齡可享龐洪之福。豈期永訣徒懷烏鳥之私。杳然逝魄未審何之。寂若慈容不堪回想。爰請法侶特弘聖規。(入佛事)伏願(已下伏願俱用荐父荐祖父的)。

○陳情之念

晉李密。字令伯。犍為武陽人也。父早亡。何氏改醮。密時年數歲。感戀彌至。烝烝之情遂以成疾。祖母劉氏躬自撫養。密奉事以孝謹。聞晉帝。徵為太子洗馬。密以祖母年老無人奉養。遂不應。乃上表陳情。

○婆伽

見圓覺經。

○劉母

見前。

○班姬

漢書。班婕妤。班況之女。成帝朝為婕妤。帝游後庭。嘗欲同輦載。辭曰。觀古圖畫。賢聖之君皆有名臣在側。三代末主廼有嬖女。今欲全輦得無近似之乎。上善其言而止。太后聞之喜曰。古有樊姬。今有班婕妤。

○龐洪之福

漢司馬相如傳曰。湛恩龐洪。註師古曰。龐洪皆大也。龐音龍。

○永訣

見上。

○烏烏之私

文選註。善曰。葛龔喪伯父還。傳曰。烏烏之情誠竊傷痛。毛詩蓼莪。孝子不得終養。翰曰。烏烏反哺其母。言我有烏烏之私情。乞畢祖母之養。

又

鍾情祖母痛皈地府之幽。皈命慈尊願荷覺天之庇。幽苦莫述。佛蔭無方。切念祖母(某)龜木方浮。鼠藤遽斷。有百身而莫贖。無一念之敢忘。覩影自怜曷勝李密之苦。捫心獨痛實切元卿之哀。少報含飴。略申獻曝。(入佛事)伏願(全前)。

○鍾情

晉王衍嘗喪幼子。山簡弔之。衍悲不自勝。簡曰懷抱中物何至於此。衍曰。聖人忘情最下不及情。然則情之所鍾正在我輩。簡服其言。更為之慟。

○龜木方浮

阿含云。佛告諸比丘。譬如大海中有一盲龜。壽無量劫。百年一過出頭。浮有一木。正有一孔。漂流海浪隨流東西。盲龜百年一出。得遇此孔。至海東浮木或至海西。圍繞亦爾。雖復差違。或復相得。凡夫漂流五趣之海。還復人身。甚難於此。

○鼠藤遽斷○百身莫贖○李密之苦○捫心

並見上。

○元卿之哀

齊宗元卿早孤。為祖母所養。祖母病。元卿在遠輒心痛。大病則大痛。小病則小痛。以此為常。卿里號宗曾子。

○含飴

漢明德后曰。含飴弄孫。不能復關政。

○獻曝

見上。

薦伯叔父

引而進之矜恤素勤於諸父。死者漸也超昇實藉于鴻慈。爰建殊因。用申哀緒。切念故伯(某)賦形蟻磨。寄跡蝸廬。忽興負壑之悲。遽作摧峯之慘。嗟爾浮生空成夢夢之夢幻。顧予忍死徒切殷殷之殷憂。不憑大覺之光。曷度冥關之苦。(入佛事)伏願。

○引而進之

檀弓曰。喪服兄弟之子猶子也。蓋引而進之也。

○死者漸也

釋名曰。死者漸也。消漸也。

○蟻磨

晉天文志云。日月本東行。天西旋入於海。牽之以西。如蟻行磨上。磨左旋蟻右行。磨疾蟻遲不得不西。

○蝸廬○負壑

見上。

○摧峯之慘

見上薦母四七墮月之註。

○夢夢

詩註。不明也。

○殷殷

詩正月。憂心殷殷。註疾痛也。

又

憂心孔亟痛傷諸父之淪亡。願力弘深庸闡佛乘而薦拔。切念故伯(某)慨思諸父遽入黃墟。引而進之從子之恩莫報。宛其死矣亡靈之魄奚之。欲申追挽之思。爰展慈悲之教。(入佛事)伏願。

○淪亡

陳子昂詩。朝雲無處所。荊國亦淪亡。

○黃墟○引而進之

並見上。

薦伯叔母

懷從母之深恩。悲忽興于逝水。闡覺皇之妙教。澤祈滲于重泉。切念故伯母(某)蘭蕙貞心。蘋蘩素志。豈意天年之凋喪。倏驚地魄之沉迷。從姪興思盡是傷心之淚。諸孤追想無非泣血之聲。爰建道場。用資冥福。(入佛事)伏願。

○蘋繁素志○逝水○重泉○諸孤

並見上。

○泣血

檀弓曰。高子臯之執親之喪也。泣血三年未嘗見齒。君子以為難。

又

幽泉迥隔莫追從母之慈容。淨土超昇實藉法王之巨力。切念故伯母(某)常切相夫之助。素深猶子之恩。近聞虵鏡之驚憂。已見鹿車之促召。雲愁煙慘忍觀見日之花。雨淚風悲痛悼并藤之樹。不闡大教。安展悲誠。(入佛事)伏願。

○幽泉○猶子

並見上。

○法王

法華云。我為法王。於法自在。

○虵鏡之驚

見上慶生之註。

○鹿車促召

謂鹿車者。以鹿挽車故名鹿車。車即運載之義。喻三乘之人。各以所乘之法。運出三界而至涅槃也。法華云。如彼諸子。為求鹿車出於火宅是也。

○見日之花

按莊子曰。朝菌不知晦朔。註犬芝也亦名曰及。生於糞土。暮生。見日則死。不知是否。

○井藤

見上。

薦兄弟

鴿原日永素深同氣之恩。鴈陣風寒俄起斷聲之慘。爰殫一誠。用叩十力。切念亡兄(某)孔懷念切。孝友情深。俱忘衲鑿之謀。允叶墳簾之韻。荊花庭畔常嬉春砌之風。棣萼樓間幾對夜床之雨。忽釁鍾于蝸舍。乃夢入于蟻柯。爰修釋氏之儀。用篤天倫之眷。(入佛事)伏願。

○鴿原

詩棠棣曰。脊令在原。兄弟急難。每有良朋。況也永歎。

○同氣

稜嚴。佛告阿難。汝我全氣。情均天倫。穀梁傳曰。兄弟天倫也。何休註。兄先弟後。天之倫次。

○鴈陣

滕王閣序。鴈陣驚寒。聲斷衡陽之浦。

○孔懷

詩棠棣曰。死喪之威。兄弟孔懷。

○衲鑿

見上。

○易簣

記檀弓曰。曾子寢疾病。樂正子春坐於牀下。曾元曾申坐於足。童子隅坐而執燭。童子曰。華而睨大夫之簣與。子春曰止。曾子聞之瞿然曰。呼曰華睨大夫之簣與。曾子曰。然斯季孫之賜也。我未之能易也。元起易簣。曾元曰。夫子之病革矣。不可以變。幸至於旦。請敬易之。曾子曰。爾之愛我也。不如彼君子之愛人也以德。細人之愛人也以姑息。吾何求哉。吾得正而斃焉。斯已矣。舉扶易之。反席未安而沒。

○挈挈營營

毛詩註。契契憂苦也。營營往來白。

○鴿原○蝶夢○棣華○薤葉○苾芻○伊蒲

並見上。

薦姊妹

生則同胞常軫天倫之愛敬。死而異處深憂地魄之沉淪。惟我三界尊。能揅一切苦。切念亡姊(某)未離有漏。遽入無常。靜思手足之情。豈勝萬感。載念音容之逝。莫得一瞻。不憑四智之慈。曷揅九幽之苦。(人佛事)伏願。

○同胞○天倫

並見上。

○四智

成唯識論曰。一大圓鏡智。二平等性智。三妙觀察智。四成所作智。

○九幽

見上。

又

痛割天倫實殷同氣之念。哀投佛寶敬致齋心之誠。切念亡姊(某)蝶夢迷真。鳳拳成讖。惆悵連枝之秀遽爾凋零。淒涼拱木之魂杳然知識。爰陳梵典。用資冥途。(入佛事)伏願。

○同氣○蝶夢

並見上。

○鳳拳

集異記曰。孫氏求官。夢雙鳳集拳。後喪母。

○連枝

蘇子卿詩。況我連枝樹。與子全一身。

○拱木

事文前集曰。秦伯襲鄭。百里子與蹇叔子諫。秦伯怒曰。若爾之年者。宰上之木拱矣。公羊僖三十二年。宰。冢也。拱。可以手對抱。

薦夫

交歡二姓本期奉箕箒之勤。俄別千秋難使效蘋蘩之托。庸仗竺天之力。敬資冥地之光。切念亡夫(某)甫及壯年偶嬰微疾。遽作邯鄲

之夢。倏為幽壤之遊。乘乘兮無皈。空期百年之願。皇皇兮何在。永訣千歲之容。不祈佛恩。曷利苦趣。(入佛事)伏願。

○箕箒

前高帝記。單父人呂公。好相人。見漢高祖狀貌重之曰。臣相人多矣。無如季相。臣有息女願為箕箒妾。卒與季。註高祖姓劉。名邦。字季。

○二姓

謂唐時朱陳一村二姓。世為婚姻。

○蘋蘩○邯鄲

並見上。

又

無夫曰寡。可勝伉儷之情。有佛可依。爰致超昇之禱。庶憑法炬。用破幽關。切念亡夫(某)汨沒愛河。沉淪幻海。一疾弗瘳遽識鳳拳之集。百年永訣空嗟鸞影之孤。營魄漫漫。怨懷戚戚。敢因佛果。用報大恩。(入佛事)伏願。

○無夫曰寡

見孟子。

○伉儷

左傳曰。齊侯請繼室于晉。韓宣子使叔向曰。寡君未有伉儷。君有辱命。惠莫大焉。註伉儷匹耦也。

○鳳拳

見上。

○鸞影

異苑曰。昔罽賓王獲一鸞鳥。王甚愛之。欲其鳴而不能致。乃飾以金樊。饗以珍羞。對之逾戚。三年不鳴。其夫人曰。嘗聞鳥見其類而後鳴。何不懸鏡以映也。王從其意。鸞覩形悲鳴。哀響中霄。一奮而絕。

○營魄

見上。

薦妻

百年偕老深期舉案之歡。一疾弗瘳忽致鼓盆之嘆。嗟死者不可生也。非至尊孰能掇之。切念亡室(某)克宜其家來皈于室。豈意兆困宮之厄。居然為坤壤之遊。琴瑟斷弦伊誰能續。珠璣遺珮安得重拈。不勝炊臼之憂。須假獻芹之薦。(入佛事)伏願。

○舉案之歡

見上。

○鼓盆之嘆

莊子妻死。惠子弔之。莊子箕踞鼓盆而歌。惠子曰不亦甚乎。莊子曰。人且偃然寢於巨室。我嗷嗷然隨而哭之。自以為不通乎命。故止也。

○琴瑟斷弦

續韻府曰。夫婦和合如詩所謂鼓琴。中道之喪如琴之斷弦。

○炊臼之憂

酉陽雜俎曰。江淮王生善卜。有賈客張瞻將販。夢炊臼中。問王生曰。君歸不見妻矣。臼中炊無釜也。瞻販妻已卒。註釜與婦人之婦音同。所以詳字音之意而言也。

○獻芹

見上。

又

蘭臺人寂徒興舞鏡之悲。鳳閣香銷爰有斷弦之慘。特鑿小心。用投大覺。切念亡(某)夙勤婦道。素稔閨儀。本期月滿秦樓。詎意雲
販巫峽。謂之何哉。鼓盆之嘆尤甚。曷其有所。墜劍之憂殊深。爰
啟法延。特申菲供。(入佛事)伏願。

○舞鏡○斷弦

並見上。

○秦樓

列仙傳曰。蕭史者秦穆公時人。善吹簫。能致白鶴孔雀。公女弄玉好之。公遂以女妻焉。因教弄玉吹簫作鳳凰鳴。公為作鳳凰臺。夫妻在其上。一旦鳳至皆隨鳳飛去。又李白詩。簫聲咽秦娥。夢斷秦樓月。

○巫峽

宋玉高唐賦曰。昔楚襄王與宋玉遊雲夢臺。望高唐視氣。王問玉曰此何氣。對曰所謂朝雲也。王曰何謂朝雲。玉曰。昔者先王常遊高唐。怠而晝寢。夢見一婦人曰。妾巫山女也。為高唐客。聞王遊高唐。願薦枕席。王因幸之。去而辭曰。妾在巫山陽高丘北。旦為朝雲。暮為行雨。朝朝暮暮在陽臺之下。

○鼓盆

見上。

○墜劍

呂氏春秋曰。楚人有涉江行舟。自舟遺劍。遽刻其舟曰。我於此墜劍。求必得之。其迷有如此者也。

薦產厄

血河浩渺可勝業網之憂。法海弘深能滌罪根之穢。謹投三寶。用罄一誠。切念(某)形忝坤儀。業纏震旦。載生載育方欣坐蓐之期。不待不停遽抱夢槐之戚。念厥容之杳杳。痛彼魄之茫茫。雪涕盈襟。痛心疾首。欲消孕育之苦。須仗調御之光。(入佛事)伏願引出黑漫漫地。來瞻碧湛湛天。血池頓乾花輪之光浮五色。地獄忽破寶樹之韻演三乘。

○坤儀○載生載育○夢槐○痛心疾首

並見上。

薦子

愁結燕山無奈桂枝之摧折。誠傾淨土庸冀蓮蘂之開敷。乃啟法筵。用展悲思。切念男(某)當戶謀深。肯堂念切。偶味藏舟之讖。遽成易簣之悲。聲聞九天復無鶴鳴而子和。魂遊九地空憐蝶是而人非。不假佛臂之光。安破幽都之暗。(入佛事)伏願。

○桂枝

謂稱人子曰桂子。見上。

○當戶○肯堂○藏舟○易簣

並見上。

○鶴鳴子和

易係辭曰。鳴鶴在陰。其子和之。又劉禹錫吟白君哭崔兒詩悽然寄題詩。庭梧已有雛棲處。池雀今無子和聲。

○九地○蝶是○幽都

並見上。

又

蘭凋玉砌沉沉之愁露迷空。鳳出丹霄寂寂之悲風匝地。一生一死之致恨。載祈載禱以陳情。切念(某)偶以少年皈于厚夜。楊彪之懷舐犢。實切深憂。仲尼之哭伯魚。奈何永訣。倚門失望合室致驚。欲資去程。乃陳大教。(入佛事)伏願。

○蘭凋玉砌

謝玄與從兄朗。為叔父安所器。因戒約子姪曰。子弟亦何豫人事。而正欲使其佳。玄曰。如芝蘭玉樹欲使生於庭階耳。

○一生一死

見上。

○楊彪

魏志。漢大尉楊彪。子脩為曹操所殺。見彪問曰。公何瘦之甚。曰。悔無日殫先見之明。猶老牛舐犢之愛。操為改容。

○仲尼

家語曰。孔子十九娶于宋之并官氏。生伯魚。魯昭公以鯉魚賜。孔子榮君之賜。故名曰鯉。而字伯魚。伯魚年三十。先孔子卒。

○永訣○倚門

並見上。

薦女

賤息云亡未獲超生之地。慈皇護念弘開揀死之門。謹以寸忱。寓之尺疏。切念女(某)早作無常之夢。遽傾有漏之身。淚眼欲枯空望音容之愈邈。愁腸幾絕徒嗟魂魄之弗皈。蘭房寂寂而雲愁。泉路悠悠而日暗。特憑佛果。少贊仙遊。(入佛事)伏願。

○賤息

史趙世家左師公曰。老臣賤息。舒祺最少。註息子也。

○仙遊

見上。

又

謝庭蘭殞曷勝遺體之悲。楚峽雲收徒切遊魂之望。茲欲超昇于賤息。敢忘皈向于慈尊。切念(某)稟性惟和。賦質甚弱。幻身纔疾悠然忽棄于蘭房。真魄何之意者尚滯于槐國。苦海之沉淪莫度。愛河之浩渺難昇。乃延緇衣之流。特懇皇覺之庇。(入佛事)伏願。

○謝庭○遺體○楚峽○賤息○槐國

並見上。

薦岳父

東坦恩深方借泰山之庇。南柯夢斷遽為坤壤之遊。欲超淨土而往生。須仗慈尊以追悼。切念岳父(某)處塵勞海。受幻妄身。深期有永之年托茲河潤。豈謂無常之寂遽爾山頽。達者即電影而觀。我則失冰清之映。思酌厚德。乃闡洪規。(入佛事)伏願。

○東坦

晉王羲之。王導從子也。郗鑒使門生求女壻於導。導今就東廂偏觀子弟門生。皈曰。王氏諸少並佳。然聞言各自矜持。惟一人在東床坦腹食。獨若不聞。鑒曰此佳壻。訪之乃羲之。遂妻以女。

○泰山

歐陽永叔嘗曰。今人呼妻父為嶽公。以泰山有丈人峯。呼妻母為泰水。不知出何書也。註泰山。山名。在魯地東嶽也。以其上有丈人峯。故以嶽為稱焉。

○南柯

見上。

○冰清

謂婦翁曰冰清。女壻曰玉潤。晉衛玠妻父樂廣皆有重名。議者以為婦翁冰清。女壻玉潤。註言若冰之清潔。如玉石之潤澤。

○電影

見金剛經。

又

泰山其頽乎子壻之情奚忍。黃泉無色也婆伽之果可憑。特設蒲饑。俯申芹獻。切念岳父(某)兩間尚貌萬事營心。意謂百年可盡冰清

之映。云何一旦遽成墜月之悲。冥冥之往何之。岩岩之瞻徒切。謹邀淨侶特建法筵。(入佛事)伏願。

○泰山○黃泉○婆伽○芹獻

並見上。

○兩間尚貌

前刑法志曰。人宵天地之貌。註宵與尚同。

○水清○墜月

並見上。

薦岳母

親同泰岳驟驚獨逝之懿魂。愛重門闌猶痛無依之半子。欲酌廣庇。乃集良因。切念岳母(某)纔嬰病痾遂及大故。五漏之身遽殞。一靈之性何存。顧予東坦之誠心豈勝忍死。藉我西方之法力克遂往生。乃請僧伽。爰陳法務。(入佛事)伏願。

○泰岳

見上。

○門闌

杜贈李令問詩。門闌多喜色。女壻近乘龍。

○大故○東坦

並見上。

又

雲愁半岳痛懿魄以何之。淚洒中庭皈慈尊而投困。無以為報。乃盡厥心。切念(某)夙全婦道。綽著母儀。克諧室家之歡。尤篤門闈之愛。奈何龜齡數歉。遽爾蝶化夢長。曉山黯黯結愁雲。夜壑茫茫奔逝水。特建西來之教。用申東坦之誠。(入佛事)伏願。

○半岳

見上。

○中庭

記檀弓曰。孔子哭子路於中庭。

○門闈○蝶化○夜壑○逝水○東坦

並見上。

薦女婿

東床佳婿忽興逝水之悲。西土聖人能救重泉之苦。爰修象教。特罄蟻誠。切念(某)廁迹凡籠。置身塵網。夤緣有幸曩諧中雀之因。幻化無常今叶鏡蛇之讖。安得金剛之不壞。欲瞻玉潤以無從。不資物外之善緣。安薦門中之嬌客。(入佛事)伏願。

○東床○逝水○重泉○象教○蟻誠

並見上。

○中雀

唐高祖寶皇后。父毅。嘗謂妻曰。此女有奇相。何可妄與人。因畫二孔雀於屏間。請婚者射二矢。陰約中目則得之。射者閱數十皆不合。高祖最後射。各中一目。遂皈之。

○鏡蛇○玉潤

並見上。

○嬌客

謂稱女婿曰嬌客。東坡和王子立風雨敗書屋有感曰。婦翁不可撾。王郎非嬌客。

又

門闌愁結忽傷坦腹之親。衣袂淚零痛切齋心之禱。切念(某)頃以夤緣之幸。得諧子婿之觀。嗟爾三生奈椿齡之有限。俄然一夢使荆闔之無依。變歡聲為墮月之愁。轉喜氣作悲風之慘。爰修西教。用薦東床。(入佛事)伏願。

○門闌○坦腹○夤緣

翰墨全書曰。深念夤緣。註自有夙昔之緣。非偶然耳。

○椿齡○荆闔○墮月○東床

並見上。

薦大沙門

示寂雙林法身本無來往。言旋葱嶺幻體乃有滅生。欲崇本師之因。須藉我佛之果。切念本師(某)戒月孤圓法雷普震。依作昏途之炬。用為苦海之舟。奈何齧斷鼠藤。遽爾打穿雀穀。悠悠明月夜載孤帆。慘慘寒煙晝迷丈室。少申孺慕。乃演金科。(入佛事)伏願德山益峻。生生披如來之衣。悲海彌深。世世處諸佛之室。普作無邊佛事。常轉無盡法輪。

○雙林

見上。

○葱嶺

初祖達磨坐少林九年。先傳法及袈裟於惠可。乃住禹門千聖寺。十月五日端坐而逝。葬態耳山定林寺。明年使者宋雲西域還。於葱嶺遇師。手携隻履而往。雲皈為言。門人啟墳視之。唯空棺隻履。

○鼠藤○雀穀○孺慕○金科

並見上。

入塔

靈骨已藏。嘆師容之益邈。全身不散。冀道脉之恒昌。爰啟法筵。用酌慈蔭。切念本師(某)佛門柱石。法窟爪牙。幻疾纔沾遽到火滅煙飛之地。覺靈如在幸托埋光鑿彩之區。已失先輩之典型。安存後昆之模範。乃集淨侶。聿弘清規。(入佛事)伏願品位彌崇。光明益著。混入堪忍界若耀海之驪珠。高坐涅槃城似當空之桂魄。

○柱石

漢由延年謂霍光曰。將軍為國柱石。今謂柱石者欲掌拄宗門令法久住也。

○爪牙

詩祈父曰。祈父予王之爪牙。註爪牙鳥獸所用以為威者也。

○埋光鑿彩

唐史曰。埋光鑿彩。使之不耀。

○典型

孟子曰。大甲顛覆湯之典刑。

○後昆

尚書曰。垂裕後昆。

○模範

楊子曰。師者人之模範也。

○驪珠桂魄

圓覺經序。處生死流。驪珠獨耀於滄海。踞涅槃岸。桂輪孤朗於碧天。

生忌

涅槃海湛本無漩復之波。幻化門開乃有往還之迹。爰遵大教。少展時思。切念本師(某)自斂形聲。幾經歲月。慧燈晦焰不蒙破暗之光。法雨屯膏未見潤枯之澤。茲逢示(降寂)之日。益動永言之思。乃集方袍。聿修淨供。(入佛事)伏願興大法雲。注甘露雨。乘願船而行慧海。滿帆風過家鄉。觀緣相而遊寂場。一片月明古道。

○漩復

說文曰。漩回泉也。復水回流。

○屯膏

易屯卦。象曰。屯其膏。施未光也。傳。膏澤不下及。是以德施未能光大也。人君之屯也。

○願船

淨土文云。菩薩乘大願船。住生死海。呼引眾生上大願船。

薦師(禪僧用)

昔入空門已禮真如之佛。今皈寂境遽拋假合之身。爰依大教之規模。用報我師之法力。切念(某)脫迹凡籠。委身淨刹。已悟有為之幻。思修無漏之因。本冀僧臆之彌增。詎意妄身之頓棄。雖黃梅子熟未明向上玄機。然紅藕花香須問現前受用。欲嚴往生之駕。恭修追薦之功。(入佛事)伏願不離濁邦而生淨邦。不出魔界而入佛界。彌勒彈指之處認取千聖之門。迦葉破顏之時頓悟一乘之理。

○規模

謂規所以為圓者。是一個大圈子。模。鑄金之模空廓也。皆以其大綱言。

○彌勒彈指

華嚴云。爾時善財童子敬達彌勒菩薩。合掌白佛言。唯願大聖開樓觀門。令我得入。爾時彌勒菩薩即彈指。門自然開。善財即入。入已還閉。

○迦葉破顏

見上。

又(禪僧用)

空室雲寒驚覺靈之頓逝。虛堂月冷傷德範之何存。欲報洪恩。乃陳象教。切念(某)出家離父母。與佛作兒孫。蜂鑽故紙未知所出之因。鼠齧枯藤忽際無常之苦。既涉生死之海。孰識升沉之方。乃集同倫。恭陳法務。(入佛事)伏願(某)破除三惑。清淨六根。空即色色即空。炤見本來之面目。死亦生生亦死。得安現在之身心。

○象教

見上。

○蜂鑽故紙

傳燈錄。神瓚禪師見蜂子投窗求出。師曰。世界如許濶不肯出。鑽他故紙。

○鼠齧枯藤

見上。

○三惑

天台四教儀集註云。一見思惑。二塵沙惑。三無明惑。

薦徒(禪僧用)

久侍巾瓶擬作當家之種。遽捐衣鉢遂為逝水之波。稽首祈恩。洗心致悃。切念(某)濫入僧倫忝為佛子。每思沉淪之苦。擬作出離之因。奈何善願方堅而幻形弗駐。苦功未就而世數已終。欲助往生。須憑法力。(入佛事)伏願頓破無明之殼。永斷煩惱之根。寶樹林中伎樂聲聲聞般若。金沙地上天花色色見真如。

○逝水

見上。

○洗心

稜嚴云。洗心非正。落於邪見。註修妙觀智滌內垢障。故云洗心。

薦寺院赴應僧師徒通用(未落發者亦通用)

幻影非真忽滅風燈之焰。佛慈莫量庸修水月之功。竊念(某)已入空門未諳戒律。豈修不壞之法。遽有無常之驚。苦海波深孰是涅槃之岸。冥途路險誰為般若之光。乃引竺國之清規。用作幽都之寶

筏。(入佛事)伏願善根不昧。魔障速清。迥脫塵勞。直破重重之罣。默融妙法。頓增種種之光。

○空門

見要覽。

○清規○幽都

並見上。

又

生入空門難留幻妄之體。死皈冥境須憑薦拔之功。庶脫濁邦。方超淨界。切念(某)身居梵剎。心醉塵緣。律儀之訓未閑。昏迷卒歲。福慧之功莫習。苒荏一生。不憑我佛之慈仁。曷救下凡之沉沒。(入佛事)伏願破業罣而出冥關。掃魔風而消怨敵。慈光遠暨快逢甘露之濡。苦具頓除喜見花輪之現。

薦出家居士有齋戒者

幻影難留便爾恁麼而去。真皈有在奄然順化而遊。欲往淨方。特修梵典。切念(某)置身白業。謝跡紅塵。善願方隆思熟黃梅之米。善根未就空栽破嶺之松。嗟岸樹之難存。痛井藤之易絕。一靈遽往。(某)七俄臨。(入佛事)伏願捨業報身出塵勞海。金臺晃耀光浮水面之蓮。寶網玲瓏韻奉空中之樂。

○白業

見上。

○紅塵

事苑。塵本不紅。以言其染也。

○黃梅

壇經云。次日五祖潛至碓坊。見能腰石舂米。語曰。求道之人為法忘軀。當如是乎。乃問曰米熟也未。能曰。米熟久矣。猶欠篩在。祖以杖擊碓三下而去。

○破嶺

林間錄云。四祖大師居破頭山。山中有無名老僧。唯植松。人呼為栽松道者。

○岸樹○井藤

並見上。

和尚誕日

切念(某)是名凡夫濫居人道。幼尊魯誥未得求仁之方。晚皈佛乘豈究明心之旨。虛彼歲月。愧此形骸。俯思生育之恩。未盡犬馬之報。況諸男蚤逝一孫僅存。家堂之享祀久虛。墳坵之祭掃何日。不孝之罪已日積而日深。哀慕之衷實彌久而彌切。茲值懸弧之旦。益動寸草之心。謹請僧伽用陳法務。(入佛事)以茲功德專薦考妣超生淨域者。伏願冥關立破。獲覩清淨之光。業網頓空。永脫幽沉之境。瑠璃地上時聞天樂鏗鏘。菡萏花間每見玉毫燦爛。并冀血屬共出苦輪。(某)無任瞻仰聖慈。激切懇禱之至。

○魯誥

見上。

○犬馬之報

漢汲黯傳曰。臣常有狗馬之心。師古曰思報效也。

○懸弧○寸草

並見上。

○考妣

虞書曰。如喪考妣。爾雅。父曰考。母曰妣。

○瑠璃

見名義集。

○菡萏

爾雅曰。荷芙蓉別名。芙蓉江東呼荷。其莖茄。其葉蓮。其木蓊。花菡萏。其實蓮。其根藕。其中的的中薏。

禪林疏語考證卷之三

附錄

大藏恭聞

恭聞道體幽玄靡容指標之力。佛慈廣大爰啟方便之門。四十九年張開教網。三百餘會瀝盡婆心。大小頓漸之殊方同闢一法。藏通別圓之異教並益群機。雖曠劫而難逢。實無遠而弗屆。

法華經恭聞

恭聞經談心妙。華喻法微。眾生具三乘之機。如來演一味之雨。援諸子于火宅並駕白牛。出眾商于化城同趣寶所。是為諸佛之印允。作群經之王。法利靡窮。讚揚莫盡。

華嚴經恭聞

恭聞毗盧海未可名言。華藏門不容窺測。最圓最頓乃稱諸佛之懷。互入互融實顯自心之妙。萬行之因華遍發。一真之果體全彰。幸大教之躬逢。竭鄙誠而頂戴。

金剛經恭聞

恭聞般若明空寂之慧。金剛喻堅利之能。妙體本瑩淨有無之雙執。靈光獨朗炤人法之兩亡。斷四相而顯四心。徹三空而滅三障。誠為破有之法將。堪作度苦之慈舟。纔得受持。難量厥效。

藥師經恭聞

恭聞九界之深迷唯佛光始克破暗。六凡之痼疾非聖藥難以除殃。[田/卅]眾生之繁祉悲願弘開。洗歷劫之深尤慈仁廣被。三途仰長明之焰。九橫藉續命之旛。允冀十力之庥。敢忘一心之敬。

盂蘭盆經恭聞

恭聞孝獨先於百行儒典攸崇。恩莫隆于二親釋經首重。身淪鬼趣。青提之饑苦何堪。果證聲聞。尊者之哀情益懇。妙通獨顯難遏業火之然。聖力群加斯脫焦喉之厄。由是教興竺土作滅苦之玄猷。經著蘭盆垂報母之遺範。凡有血氣。敢不修持。

心經恭聞

恭聞般若精要大乘玄猷。真俗俱忘單示真空之相。有無不二深入法性之源。須臾而破暗還明。剎那而轉凡成聖。永度諸苦。真證一心。

五大部經恭聞

恭聞法藏分三。經部成五。五千餘卷之大綱。三百餘會之精要。引群靈於濁土。卓哉最勝之法輪。攝九界于佛乘。允矣無上之甘露。倘逢斯典。必獲殊休。

預修通用恭聞

恭聞預之時義甚大。修之功用貴先。理事同源。事廢則其理弗實。因果一致。因立則其果必圓。幸有善利之堪憑。庶無苦波之胥及。

平安道場大榜結尾(炷事意寫到敘功德完處)

上來所修功德。專為(某)蕩滌前愆。莊嚴後報。今則肅啟壇場。將修法務。預申露布。普覬風聞。伏願象馭遙臨。龍車戾止。似陽春之有脚處處發生。若明月之分身家家委炤。謹榜。

又

上來所修功德。專為(某)釋除宿殃。請延新祉。今則法筵肇建。聖馭將臨。冀私忱之遠孚。布明文以昭告。伏願諸佛垂愍。萬靈[田/卅]矜。昏霧廓清獲覩當天之日月。祥光奄映得觀特地之乾坤。謹榜。

薦亡道場大榜結尾

上來所修功德。特為正薦(某)頓超冥途往生淨國。今則佛事方陳。慈光載賁。潔蓬居以俟降。懸墨榜以陳情。伏願啟方便門。現毗盧境。青黯黯地掃開萬里之塵。碧湛湛天露出千光之日。謹榜。

平安活用榜(先寫伏以鄉貫至所申意者接下)

蓋為(某)事。筮取(某)年(某)月(某)日。就于(某)處。仗僧啟建(某)道場一晝夜。潔淨壇宇陳設供儀。梵音演無上之宗。法樂奏無生之曲。燈聯寶炬光冲牛斗之間。香爇金爐氣靄煙霞之表。宣揚聖號而念念集祥。修禮懺摩而聲聲滅罪。行平等之檀度。誦秘密之伽陀。普享聖凡。遍資幽顯。(用前大榜結尾)。

薦亡活用榜(先寫伏以鄉貫至所申意者接去)

蓋為正薦(某)。茲當(某七)之辰。延僧于(某)處啟建(某)道場一晝夜。恭清塵宇(在菴中改梵宇)。恪備凡儀。燈燭煒煌。香雲縹緲。法樂和鳴于三界。天花遍布于十方。玉典宣時頓破冥關之鑰。金科演處普開淨國之門。禮懺而端恪一心。修齋而遍享十界。均資品彙。回向菩提。(用前大榜結尾)。

禮懺誠眾榜文

大道虛玄。真性湛寂。本無生滅之迹。安有罪福之形。祇因翳眼未除以故空花亂墜。著境生心因心造業。善惡由之迥異。升沉乃爾頓

殊。果必有因。似鐵定而難易。罪本無性故幻妄而可消。由是諸佛示懺悔之門。列祖陳懺悔之法。聖凡共稟今古同遵。歷代高流多獲現證。天台智者因懺而見靈山未散。慈雲懺主因懺而獲甘露沁心。或曰無上大寶我今已得。或見普賢蓮花忽在其手。功利殊常神應匪一。但法由聖建。道在人行。故修懺大德在會勝流。須發無上願。斷相續心。將當下妄情一刀兩斷。無始習氣徹底拔除。擇火拈香冥般若之妙行。唱名頂禮歸菩提之正因。則本有光明從茲透露。而百千功德默自圓成。豈比有漏之凡因及半途之小果哉。若視為赴應之會。徒勤唱誦之勞。七種之禮何歸。五悔之文無謂。非徒虛檀那之供養。實乃增自己之愆尤矣。茲者特因善緣啟茲勝會。但願各竭精心同依妙範。請為就琢之玉。毋為躍冶之金。謹榜。

大施食榜

蓋聞騎牛覓牛痴錯底安知滌漉。夢蝶非蝶瞌睡漢枉自喜歡。著娘袴子謾包纏。借婆衫兒虛禮數。逐艷隨喧而沒些著實。做模打樣而強作風流。動七情交戰之戈。磨六賊相攻之刃。心念念牽枝引蔓。口喃喃著葉安花。費盡幾多經營。弄成許般伎倆。三寸氣纔方斷絕。七尺軀便莫施為。數堆土塊盡休休。兩帖紙錢都了了。子喪孫亡無主者年深歲久有孤墳。自受恓惶。誰能憐惜。棠開似醉。空迷妃子之魂。荷語還嬌。漫想仙郎之色。秋雨落兮滴滴怕到黃昏。冬雪飄兮紛紛難禁清夜。惆悵四時之景。淒涼萬種之愁。幸今夜齋主(某)特為(某事)設齋。做個古籠頭。仗僧宣揚秘密呪。汝等既已趨赴當作麼生。寧龍頷下急穿珠。鷄子殼中緩尋骨。雲門餠餅可啖便當細嚼細吞。廬陵米價何如元是不增不減。切宜自悟。莫被他謾。故榜。

又

蓋聞知生悟死雖鐵漢也自成灰。逐影迷真縱金佛亦難度火。蓋此理大來顯著。奈夫人只自冥頑。求珠入海費經營。堆玉成山終委棄。投河落井只自擔當。塞窟填坑伊誰顧惜。慘慘于荒寒之野。哀哀于寂寞之濱。菊徑梅林側耳吟蟲聲往恨。楊園柳岸傷心啼鳥說來由。鳥猿總是知音。蠅蚋常為弔客。以刻為歲度日如年。饑喉焦細日生花。瘦骨稜層形類木。個樣愁端誰告。此中方便難施。幸有今宵齋主(某)特為(某事)延僧于家。大開解脫之門。聿啟賑濟之會。汝等便好將自己思量。切莫待他人檢點。遇冤家則各相解免。聞善法則大家喜歡。心即佛。佛即心。且自回光返照。色即空。空即色。切莫認假為真。故榜。

小施食榜

凡曰人心俱有佛性。光明無限迥超日月之輝。遼廓難名遠越虛空之量。奈何奔逐于外境。遽爾自喪其家珍。六賊之愆益深。三途之苦彌甚。業緣何有。識破則當下開交。報障本空。迷時而歷劫難免。幸有今宵齋主(某)特為(某事)延苾芻僧。設酥[西*宅]供。汝等既來赴會。切宜肅恭三業。端恪一心。悔從前非。尋今日是。木札羹鐵釘飯正好留心。雲門餅趙州茶只須開口。如違戒約。益取沉淪。自作難違。伊誰之咎。故榜。

又

嗟爾佛子墮此冥途。苦具固非一端皆由己作。哀情豈容盡訴決非人為。只因一念貪嗔。便爾歷生苦惱。既知從前錯悞。何須頓足搥胸。要取當下逍遙。急宜更弦易轍。今宵齋主(某)為(某事)設此斛食。茲逢善會須領嘉猷。罪性本空更有何作何受。妄緣非有只如幻生幻滅。倘能悟入一心。便可掀翻九地。若違明訓曷出苦輪。莫仍前非宜存正念。故榜。

禪教平安修懺佛事(疏內切念畢。即入佛事者此也。喜長者平安修懺疏內已詳)

虔向(某)年(某)月(某)日恭詣淨刹(在家改恭掃塵室)。廣請僧伽。嚴飾壇儀。敷陳供養。瀝一心而發露。勤五體以歸依。禮諸佛之洪名罪花頓謝。誦三昧之懺法業垢悉蠲。稟金剛之上師。行瑜伽之密典。普施一器之法食。廣濟六道之冤魂。上來所修功德。專為(某)作淨土因。下菩提種(隨事改二句)。伏願(用疏內的)。

禪教薦亡修懺佛事

由是恭掃蝸廬(在寺改恭詣精藍)。廣延僧侶。嚴淨壇室。追召亡靈。修三昧之懺文頓除業垢。設禪悅之法供普享聖凡。仍開甘露之法筵。廣濟焦喉之鬼類。梵音舉處蓮花開七寶之池。聖號宣時鐵網碎九幽之獄。上來所修功德。專薦(某)迴脫業緣。超生淨刹。伏願(接疏內的)。

○頓漸藏通別圓

見四教集解。

○三乘

見上。

○窺測

東方朔傳曰。以管窺天。以蠡測海。

○四相

見起信論。

○四心

見上。

○三空

刊定記曰。一我空。二法空。三俱空。

○三障

涅槃經曰。一煩惱障。二業障。三報障。

○九界

見上。

○九橫

九橫經曰。佛告比丘。有九因緣命未盡便橫死。一不應飯而飯。二不量食。三不習食。四不出食。五止熟。六不持戒。七近惡知識。八入里不時。九可避不避。

○十力

見上。

○陽春之有脚

開元遺事。人謂宋璟為有脚陽春。言所至之處如陽春及物也。

○牛斗之間

豐城有劍曰干將莫耶。其光射斗牛。雷[怡-台+(夙-大+(一/八))]
得之。張華分其一焉。

○翳眼

見上。

○天台智者

通載曰。天台智者禪師。諱智顛。字德安。姓陳氏。潁川人。詣光州大蘇山南嶽禪師受業心觀。乃於北山行法華三昧。始住三夕。誦至藥王品。心緣苦行至是真精進句。解悟便發。見共思師處靈鷲山七寶淨土聽佛說法。思為印可。後師躬率禪門行光明懺。

○慈雲懺主

天竺慈雲法師遵式。字知白。葉氏。台州寧海人。母王氏。夢嚙明珠而生。稍長不樂隨兄為賈。潛往東掖山出家。年二十往禪林受具。明年習律學于守初。式繼入國清普賢像前燼一指誓傳天台之教。

○七種之禮

法苑珠林曰。一我慢禮。二求名禮。三身心禮。四發智清淨禮。五徧入法界禮。六正觀修誠禮。七實相平等禮。

○五悔之文

天台四教儀曰。一懺悔。二勸請。三隨喜。四回向。五發願。

○躍冶之金

莊子曰。今大冶鑄金。金踊躍曰我。且必為鑄。大冶必以為不祥之金。

○騎牛覓牛

會元曰。長慶大安禪師參百丈。禮而問曰。學人欲求識佛。何者即是。丈曰大似騎牛覓牛。

○夢蝶非蝶

見上。

○犯子之魂

楊妃傳曰。明皇登沉香亭召楊妃。妃被酒新起。命力士從侍兒扶掖而至。明皇笑曰。此真海棠睡未足耶。

○擥龍頷下

莊子曰。河上有家貧恃緯蕭而食者。其子沒於淵。得千金之珠。其父謂其子曰取石來鍛之。夫千金之珠必在九重之淵。而擥龍頷下。子能得珠者。必遭其睡也。使擥龍而寤子尚奚微之有哉。註緯織也。蕭蘆草也。

○雲門餠餅

雲門因僧問。如何是超佛越祖之談。師云餠餅。

○廬陵米價

會元。青原思章。僧問如何是佛法大意。師云廬陵米作什麼價。

○六賊○苾芻

並見上。

○木札羹鐵釘飯

會元曰。肯堂彥充禪師首參大愚宏智正堂大圓。後聞東林謂眾曰。我此間別無玄妙。祇有木札羹鐵釘飯。任汝齧嚼。

○蝸廬

見上。

道場聯

門聯

樓閣弘開天瑞漫隨猊座下。

旛花交映佛光遠向鷲峰來。

法雨洒時塵世于今皆淨國。

佛光臨處道場何事不西方。

無門乃解脫之門南北東西祇要識個路頭入處。

非心即自心之佛天人鬼畜都來同一鼻孔通風。

挽靈

天地客途亭坐見往來多少客。

春秋人道磨行驚旋復幾何人。

勘破斷常心任你百年渾是夢。

了知生滅事看渠世界總如漚。

幻夢幾何門外白雲生復滅。

禪心無住峰頭明月去還來。

了知覺性絕往還示滅本來歸寂滅。

勘破閻浮都幻化有生脫却證無生。(以上俱僧用)

椿樹忽凋芝萼雙雙歸大覺。

蓮花正茂金渠朵朵現全身。(父)

秋色滿林巒誰謂椿容暗改。

愁雲彌院落頓令桂子深悲。(秋間父用)

戲彩無從寂寂萱堂成夜夢。

擇隣何托紛紛蘭苑動秋風。(母)

熊膽味難忘愁聽杜鵑啼夜月。

機系聲暫歇忍看弱木動春風。(母)

結髮情空望斷歸雲徒化石。

畫眉事別夢回拜月只空亭。(夫出外妻亡)

舐犢愛難亡對境時憂心益痛。

篋書香乍散傷情處血淚何窮。(子)

泰山俄頽萬壑悲雲添別恨。

東床發嘆千秋暗雨續離音。(岳父)

佛日炤瑤函百寶光中呈瑞色。

檀煙籠月相千花臺畔繞祥雲。

五部多羅體性元空徹底翻來無隻字。

一切功德自心本具全身拶入有千祥。(完經)

華藏莊嚴等太虛悟入者三身圓顯。

雷音普震週沙界獲聞處四德全彰。

瞻花座而禮慈容須要逢渠真面目。

擊金鐘而歌梵唄休教昧却反聞機。

法雨入萱林春色映華堂之錦。

慈風飄桂萼天香接碧沼之蓮。(子為母修福)

若據底事不涉修成何須轉經禮佛。

曲為今時豈無方便正好酌水獻花。

眾會

不二門開共入時天空海濶。

同歸路闢並遊處日煖風和。

慶壽

瑞氣擁南山一朵曇花開壽域。

祥雲扶曉日千年玄鶴舞華辰。

禮千佛

感應難思三世不離于當念更說甚若逢不逢。

往來無迹十方同現于毫端直須忘能禮所禮。

上元

千門燈火夜嬋娟熾盛光如來特垂隻手。

十里綺羅春富貴大莊嚴菩薩現出全身。

九陌笙歌九陌春共慶太和之景。

千家燈火千家月長嬉不夜之天。

中元

聚僧力以報親恩暗室喜千燈之耀。

依佛慈以修懺法寒崖回萬劫之春。

誰人無親也是男是女大家齊辦肯心。

那個非佛乎同號同名管取一時受記。(眾會)

完報母齋

功德林中萱草艷長春之色。

血盆池內蓮花開不斷之香。

華嚴堂諷經

八十一卷真詮須知本來具足。

五十三員知識不妨直下同參。

薦亡

觀罪性之本空杼乾大海成金地。

悟淨邦之不遠扭合虛空架鐵橋。

甘露方濡頓使花輪開五色。

法雷驟震直教鉄網碎千重。

業鏡臺前一筆春風吹宿霧。

琰魔界裡三乘法雨蕩昏塵。(五句)

迷處即幽關須假破幽之炬。

悟來成淨國安庸入淨之舟。(六句)

浴佛

佛體無生應機而度六道之生方知妙權莫測。

法身何垢設化而滌萬靈之垢始覺玄澤恒滋。

佛成道日

六載辛勤纔見明星無箇事。

一朝勘破悔來雪嶺太多生。

祈嗣

祖有百世之禋非索震何以嗣其事。

佛妙二來之應冀幹蠱始克振其家。

禱尼有吉已欣擎掌上之一珠。

跨竈多祥猶願舞庭前之三鳳。

保官事

事弗慎謀已愧爽盟于刻木。

孚而有室惟願借蔭于甘棠。

始而有言實僅質有孚之室。

中乃逢吉願永安無訟之休。(還愿)

客商出外

地上流泉首思涉川之利濟。

日中聚貨唯冀登壘之成謀。

官員赴任保安

客路無虞萬里祥雲隨日轉。

官衙多慶九天恩露及時濡。

謝雨

望望惜雨乾久苦朱輪之赫赫。

鱗鱗致雲起喜看銀竹之垂垂。

禳火

抱火未然實切于隣之慮。

遇災知懼容先徹土之防。

結制

一期內奪來髻上之珠直堪陶凡鑄聖。

四眾中指出臺前之月管取鑑地輝天。

流功德海于無何有之鄉莖草咸沾化雨。

立光明幢于不思議之境幽崑並荷慈輝。

諷經通用

如是我聞前更有打前一句掀翻此句直使燈籠點額露柱揚眉那個眾生未成佛。

信受奉行後猶有末後一關透過此關儘教酥酪為河黃金作地誰家淨土不唯心。

丈室

七尺枯藤雲外倚 一燈懸祖燄。

一枝朽拂月中揮 半榻臥秋風。

長披一衲傲溪山那問雲舒雲捲。

只捻數珠消歲月誰知花落花開。

客堂

相逢須向機前鑑 已到方知格外玄。

十方堂

佛法似大冶紅爐是鐵皆堪鑄。

禪衲如孤雲野鶴何天不可飛。

佛殿

敷陳物色作莊嚴即莊嚴離莊嚴當下便登寶所。

劈破虛空呈相好非相好名相好現前頓見如來。

無邊誓願海合百千香水而莫況其深故九界咸資聖澤。

無盡光明幢併萬億日月而難並其炤故十方悉耀慈輝。

淨業堂

一念頓空方許渠彌陀出現。

諸塵本寂須知我淨土全彰。

觀音閣

真觀炤處諸苦從來本空是則名為自在之功常常救苦。

正法明時眾生久已成佛此乃識得普門之業處處利生。

窗外月窺松色色盡呈真般若。

檻前風響竹聲聲都入大圓通。

三門

諸天花雨翠微中嗅著更須仔細。

徧地金繩蒼藹裡行來切莫遲疑。

世態莫須猜剎畔浮雲依落炤。

禪機如可覓溪中皎月帶孤帆。

祖師堂

少室庭前千丈白雲寒立雪。

黃梅林裡一輪明月夜傳衣。

伽藍堂

開遮有妙權直使僧倫歸覺域。

順逆多方便潛扶聖化泐凡區。

韋陀祠

密運神功開覺路 逆行慈忍衛僧園。

雲堂

五觀若明金易化 喫茶要識茶中有骨。

三心未了水難消 喫飯須得飯裡有渣。

○椿容○桂子○戲彩○萱堂

並見上。

○擇隣

古列女傳曰。孟軻之母。其舍近墓。軻嬉戲為墓間之事。乃徙舍市旁。其嬉戲乃賈人之事。復徙舍學傍。其嬉戲乃設俎豆進退揖遜。母曰此真可以居子矣。孟子學業而歸。母問何所至。孟子自若也。母以刀斷機曰。子之廢學若吾斷機。孟子懼。勤學不忽。

○熊膽

唐柳仲郢。母善訓子。仲郢嗜學。常命粉苦參黃連熊膽和為丸使夜嚼助勤。

○結髮

謂夫妻曰依依結髮之情。蘇武詩。結髮為夫婦。恩義兩不疑。

○化石

神異記曰。武昌山北一貞婦。送其夫從役。至此山立望其夫。死化石。

○畫眉

前漢張敞。字子高。平陽人。為婦畫眉。長安中傳張京兆眉撫。有司以奏。宣帝問之。對曰。臣聞閨房之內夫婦之私。有過於畫眉者。上愛其能。弗備責也。

○舐犢○泰山○東床○梵唄○明星○雪嶺○索震○幹蠱○禱尼○掌上珠○跨竈

並見上。

○三鳳

後賈彪傳曰。彪兄弟三人並有高名。而彪最優。故天下稱之曰賈氏三鳳。

○刻木○甘棠○涉川○日中聚貨○登壘○銀竹○抱火

並見上。

○無何有之鄉

莊子註。言造化自然。至道之中自有可樂之地也。

○金繩

見上。

○立雪

魏神光學解冠世。達磨大師自西域至。往師之。磨未嘗與語。一夕大雪。光立庭砌。及曉雪過其膝。後傳法為二祖。

○傳衣

見上。

續錄

崇禎皇帝遐升禮懺表

伏以貞元運變古今之局何常。天澤分彰上下之名素定。寸心具不磨之義。大易有無妄之災。欲効犬馬之微忠。聊申蟻蜂之薄悃。(臣某)等誠惶誠恐稽首頓首上言。竊惟域中首崇三大。敢忘修敬之心。釋典猶重四恩。深懷報德之念。蠅飛蠕動誰能背化日光天。澗草崑花亦盡沾和風甘雨。普天在宥。易地歸仁。茲蓋伏遇 皇帝陛下神明天縱。英武性成。視民如傷類周文之至德。律身以儉同夏禹之丕謨。夫何國運方衰。遂爾天災沴至。百千萬變拮据惟屬於一人。一十七年焦勞豈紓于半日。痛丁陽九之厄。苦遭龍亢之殃。禍起潢池叛賊布衽金之綱。機深社鼠逆璫開授首之門。致使龍馭驟升。棄萬機而弗顧。天容益邈。悲九土之何依。(某)等田衣賤品髣髴遺氓。痴蠢何知出俗甘同于野鹿。貧寒苟活無家實類于飄蓬。借潤恩波愧寸長之無補。偷生草野欲百贖而何從。徒有梵竺之科。少殫緇流之敬。上仗佛天之洪願。下集僧行之精誠。七日勤渠演梁皇之懺法。午夜秘密行古佛之瑜伽。用茲善因上嚴 聖駕。伏願睿德日隆天禧益盛。遊神金闕還映佛日于諸天。毓德蓮臺仍播皇仁于九有。再祈勿靳宜照之光。仍[田/升]否傾之吉。廓清妖孽重見宇宙之清寧。默鞏皇圖共喜山河之帶礪。(臣某)無任瞻天仰聖激切屏營之至。謹具表稱進以聞。

○天澤

易履卦。象曰。上天下澤。履。君子以辯上。下定民志。傳。天在上。澤居下。上下之正理也。人之所履當如是。故取其象而為履。君子觀履之象以辯別上下之分。以定其民志。夫上下之分明然後民志有定。民志定然後可以言治。民志不定天下不可得而治也。古之時。公卿大夫而下。位各稱其德。終身居之。得其分也。

○不磨

論語曰。不曰堅乎。磨而不磷。

○無妄之災

見上。

○犬馬微忠

異苑曰。符堅為慕容冲所襲。堅馳騶馬墮而落澗。追兵幾及。計無由出。馬即踟躕臨澗垂鞵與堅。堅不能及。馬又跪授焉。堅攀之得岸而走廬江。幽明錄曰。華隆好獵。畜一犬。號的尾。出入自隨。隆後至江邊伐荻。忽為大蛇圍繞周身。犬見便咋蛇。蛇死隆僵無所知。犬彷徨涕泣。還船復反草中。同伴怪。所以隨。往見隆悶絕。將歸家二日。犬為不食。隆復蘇始進飯。由是隆愈愛惜。同于親戚。

○蟻蜂薄悃

南越志曰。元嘉元年。建安郡山賊百餘人掩破郡治。抄掠百姓資產子女。遂入府庫掠財寶。先是郡公養蜂別置一室。賊破戶。忽有蜜蜂數萬頭。從衣籠同時噬螫。群賊身首腫痛兩眼盲合。先諸所掠皆棄而走。蟻悃之事見上。

○蠓飛蠕動

淮南原道訓曰。蠓飛蠕動待而後生。註蠓音宣。蠕音軟。虫行動貌。

○在宥

莊子曰。聞在宥天下。不聞治天下也。註在者優游自在之意。宥者寬容自得之意。

○易地

見上。

○天縱

論語。子貢曰。固天縱之將聖。註縱猶肆也。言不為限量也。

○視民如傷

孟子曰。文王視民如傷。

○律身以儉

論語。子曰。禹吾無間然矣。菲飲食而致孝乎鬼神。惡衣服而致美乎黻冕。卑宮室而盡力乎溝洫。禹吾無間然矣。

○拮据

詩鴟鴞曰。予手拮据。註拮据手口共作之貌。

○陽九之厄

左太仲吳都賦曰。徇蹲鴟之沃。則以為世濟陽九。劉曰。易無妄曰。災氣有九陽厄。一元之中四千六百一十七歲。有九厄。陽厄五。陰厄四。合為九。

○龍亢之殃

易乾卦上九。亢龍有悔。象曰。亢龍有悔。盈不可久也。

○衽金

中庸曰。衽金革死而不厭北方之強也。而強者居之。註衽席也。金。戈兵之屬。革。甲冑之屬。北方風氣剛勁。故以果敢之力勝人為強。強者之事也。

○社鼠

齊景公問晏子曰為人何患。曰患社鼠出切於外。入託於社。灌之恐壞墻。薰之恐燒木。今君之左右。出則賣君以効利。入則託君以避害。此社鼠之患也。

○龍馭

史封禪書曰。黃帝採首山銅鑄鼎於荆山下。鼎成有龍垂胡髯下迎黃帝。黃帝上騎。群臣後宮從上者七十餘人。餘小臣不得上。

○百贖○否傾○清寧

並見上。

○山河帶礪

前功臣表序封爵之誓曰。使黃河如帶。泰山若礪。以永存。爰及苗裔。

○屏營

楊子註曰。旁皇失措之貌。

又上佛疏

伏以堯天久運八紘載覆育之恩。舜日驟沉四海失依怙之主。思修報國之典。聊陳用禱之誠。竊惟(某)四依托活六事隨身。山密林深甘作釋氏之子。天高地厚容為聖世之民。躍冶頑金亦是乾坤之陶鑄。不材凡木誰非雨露之資成。歌帝力而未能。沐皇仁而思報。雖乏股肱効忠之力。尚有晨昏致祝之勤。夫何禍起綠林敢揮戈而犯闕。變生宮掖忍鬻國而啟關。驚軒轅之上昇徒仰龍車而莫及。悲放勳之徂落欲攀天仗而無從。鬼哭神號孤憤上干于白日。天崩地裂深痛直徹于赤心。空懷寸草之哀誠。罔答三春之大化。用遵古皇遺範。特申虎拜之恭。徧舉善逝洪名。屢罄嵩呼之悃。提瑜伽之秘印兩法財于空中。顯紇哩之妙光破鐵城於地下。修茲圭撮之微善。仰答洪濛之巨恩。伏願天祚彌隆皇居仍固。神威廣運再造不壞之河山。睿德益昌重揭大明之日月。挽回殺運躋蒼生于仁壽之天。殲滅妖氛轉洪鈞于清寧之宇。(某)無任激切懇禱之至。謹具疏上奏以聞。

○依怙○用禱之誠

並見上。

○四依

四分律藏曰。一著糞掃衣。二常行乞食。三樹下坐。四用陳腐藥。

○六事

謂一衣。二鉢。三坐具。四紙被。五拂子。六手鑪。

○躍冶頑金

見上。

○歌帝力

壤父者堯時人。年五十而擊壤於道中。觀者曰。大哉帝之德也。壤父曰。吾日出而作。日入而息。鑿井而飲。

○股肱効忠

書益稷帝曰。臣作朕股肱耳目。予欲左右。有民汝翼。註君元首也。君資臣以為助。猶元首須股肱耳目以為用也。

○綠林

古今合錄曰。天鳳四年丁丑。莽性躁擾法令煩苛。繇役煩劇旱蝗相仍。獄詔不決吏。旁緣侵刻。富者不能自保。貧者無以自存。於是並起為盜賊。荊州新市人王匡王鳳。南陽馬武。潁川王常成丹共聚藏於綠林山中至八千人。

○軒轅上昇

見上。

○放勳徂落

書舜典曰。二十有八載帝乃殂落。註殂落。死也。

○孤憤

陸機辯亡論曰。雖忠臣孤憤列士效死。將奚救哉。

○干于白日

史荊軻傳曰。軻為燕太子丹謀刺秦王。于時白虹貫白日。

○寸草三春

見于上。

○虎拜

詩江漢曰。虎拜稽首。注虎召。穆公名也。

○嵩呼

見上。

○圭撮

前律曆志曰。不失圭撮。註應劭曰。圭自然之形。陰陽之始。四圭曰撮。三指撮之。

○清寧

見上。

聞賊勢猖獗諷經護國疏

鼓山涌泉禪寺傳法住持比丘(某)。謹卜今年三月朔旦。躬率僧眾諷誦仁王護國經二十四部。祈靖寇氛以綿國祚者。伏以勢居坎[穴/臼]誰為出險之援。禍至堅冰安得回春之力。仰干大覺俯[田/卅]洪慈。切念(某)誕躬塵世寄跡空門。木食草衣滴水悉濡於聖澤。岩居穴處寸土並覆於天庥。捐頂踵而難酌。捧涓埃而莫報。何意日中之運遽逢薄蝕之災。饑饉洊臻老稚盡轉於溝壑。干戈數起士農半入於潢池。鯨波未靖於海南。鐵馬正驕於塞北。中原板蕩陣雲染戰血成黃。全楚陸沈原草將枯骨同白。秦關既破兵投刃而鼠奔。晉險亦逾官奉檄而草偃。害將及乎宗社。勢必迫於神京。近因南北之耗不通。以致上下之憂特甚。緇衣既弱徒懷獻曝之誠。佛德可憑恭宣護國之典。伏願金輪永鎮鼇極嘗安。鋒鏑頓消四郊之呻吟驟息。寇兵遠遁萬姓之疲困盡紓。日月代明長懸無外之炤。地天交泰共釀太和之休。匝地而大有書年。普天而太平垂象。(某)無任激切懇禱之至。

○居坎[穴/臼]

易習坎初六。習坎入于坎[穴/臼]凶。傳。初以陰柔居坎險之下[穴/臼]坎中之陷處。巳在習坎中。更入坎[穴/臼]。其凶可知。

○至堅冰

易坤初六。履霜堅冰至。傳。履霜則當知陰漸盛而至堅冰矣。猶小人始雖甚微。長則至於盛也。

○頂踵○涓埃

並見上。

○日中

易豐亨王假之勿憂宜日中。彖曰。日中則昃。月盈則食。天地盈虛與時消息。

○薄蝕之災

唐類函曰。日月薄食。天地之災。

○轉溝壑

孟子曰。凶年饑歲。君之民老弱轉乎溝壑。

○板蕩

毛詩註曰。板板反也。蕩蕩法度廢壞貌。

○獻曝之誠

見上。

○鼈極

列子曰。昔者女媧氏鍊五色石以補天闕。斷鼈足以立四極。

○地天交泰

易泰象曰。泰小往大來吉亨。則是天地交而萬物通也。

○大有○垂象

並見上。

中元普度疏為顧兵憲作

伏以聖典弘開值諸佛歡喜之日。心精仰格効大慈兼濟之仁。用滌昔日之愆尤。普拔幽關之苦毒。欲修善果必假凡儀。今據某處信官某切念業風飄動智月昏迷。居官日久難無悞殺之冤。任事孔艱亦有過傷之咎。況值殺運之邁臨。備覩斯民之塗炭。橫尸遍野一任鼠噉鴉食。白骨連天儘教風吹日炙。殺戮之災未息。涿水之禍併生。田廬半入于波濤。士女多化為魚鱉。要出九幽之劇苦。須憑三寶之洪慈。由是謹卜某年七月某日就於某寺啟建中元賑幽拔苦道場七晝夜。頂禮梁皇懺法二十四部。清晨諷演秘章嚴淨壇宇。祈天將之冥力俯鎮魔軍。叩普賢之願王下臨象馭。多生罪相歷十卷以敷揚。萬德洪名極一心而頂禮。摘葵烹茗聊以陳及物之儀。酌水焚檀僅以彰盈缶之敬。既畢懺摩之典。仍演地藏之文。日午廣設三德之香饌。普享十方之僧寶。至於紅輪西墜皎月東升。延金剛上師高登法座。運瑜伽密旨廣布玄功。法食雲屯饑虐之苦頓息。甘露雨霽焰熱之虐驟除。惟茲微誠仰冀慈鑑。伏願沉魂滯魄假懺力以超升。業鎖罪花賴呪功而頓謝。黃金殿內常瞻紫磨之容。碧沼波心時聽苦空之偈。再祈信官某介爾景福錫之大年。常熙茂績之光益隆天寵。快覩榮遷之命廣膺殊休。繁祉集於盈門如川方至。善慶流之奕世似日常升。某不勝瞻仰金容投誠懇禱之至。

○塗炭

尚書註曰。塗泥也。炭火也。桀為民主而反行昏亂。陷民於塗炭。既失其所以為主矣。

○殺戮

書呂刑曰。殺戮無辜。

○洚水

孟子曰。當堯之時。天下猶未平。洚水橫流。汜濫於天下。

○士女多化為魚鼈

左昭元年劉子曰。美哉禹功。明德遠矣。微禹吾其魚乎。

○象馭○盈缶○天寵○如川方至○奕世○似日常升

並見上。

禪林疏語考證卷之四(終)

禪林疏語者明永覺禪師所撰也。而此書中多用事實。是以(予)偶考一二。自書鈔梓。如其闕誤。俟來哲云。

沙門超然書于逍遙軒

[CBETA 贊助資訊](#)

(<https://www.cbeta.org/donation/index.php>)

自 2001 年 2 月 1 日起，CBETA 帳務由「財團法人西蓮教育基金會」承辦，並成立「財團法人西蓮教育基金會」－ CBETA 專戶，所有捐款至 CBETA 專戶皆為專款專用，歡迎各界捐款贊助。

您的捐款本協會皆會開立收據，此收據可在年度中申報個人或企業的綜合所得稅減免。感恩諸位大德的善心善行，以及您為佛典電子化所做的一切貢獻。

信用卡線上捐款

本線上捐款與聯合信用卡中心合作，資料傳送採用 SSL (Secure Socket Layer) 傳輸加密，讓您能夠安全安心地進行線上捐款動作。

[前往捐款](#)

信用卡（單次 / 定期定額）捐款

本授權書可提供單次捐款或定期定額捐款之用途。

請於下載並填妥捐款授權書後，請傳真至 02-2383-0649，並請來電 02-2383-2182 確認。

或掛號寄至 10044 台灣台北市中正區延平南路 77 號 8 樓 R812 財團法人西蓮教育基金會收。

請在此下載 [授權書](#) (MS Word 格式)

劃撥捐款

郵政劃撥帳號: 1 9 5 3 8 8 1 1

戶名: 財團法人西蓮教育基金會

欲指定特殊用途者, 請特別註明, 我們會專款專用。

線上信用卡 / PayPal 捐款

PayPal 是一個跨國線上付款機制的公司, CBETA 引用其服務, 提供網友能在線上使用信用卡或 PayPal 帳戶贊助 CBETA 。

PayPal is an online system of a global payment solution. CBETA uses its service to provide the uses to donate by using the credit cards or PayPal account to support the CBETA project.

相關收據開立事宜, 由於付款幣別為美元, 我們除了會依您所贊助之美元金額開立收據外, 另我們會依捐款當日公告匯率開立台幣收據, 此收據為國內正式合法報稅憑證。

Since the donation made is in US currency, hence all the receipts will be issued in the US dollars consequently. However for the domestic donators, a Chinese official receipt will also be made according to the foreign exchange rate for the purpose of tax deduction.

[線上信用卡 / PayPal 贊助](#)

支票捐款

支票抬頭請填寫「財團法人西蓮教育基金會」。

CBETA is part of Seeland Educational projects, any donation (ex- cheques, remittance, etc.,) please entitle to "The Seeland Education Foundation".
